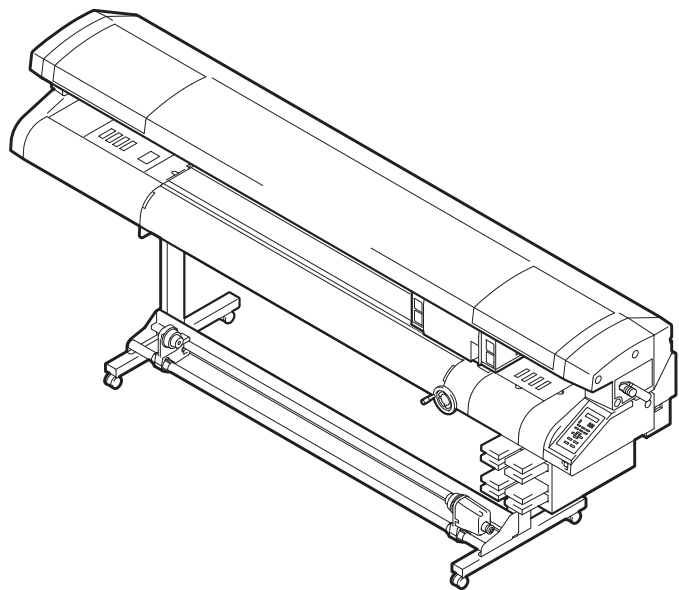


UV INKJET PRINTER

UJV-160

取扱説明書



OPERATION MANUAL

目次

ご注意	vi
ご注意	vi
おねがい	vi
電波障害自主規制	vi
テレビ/ラジオの受信障害について	vi
はじめに	vii
取扱説明書について	vii
本機のご紹介	viii
安全にお使いいただくために	ix
マーク表示について	ix

第1章 ご使用の前に

本機を設置する	1-2
設置場所について	1-2
使用環境温度について	1-3
本機の移動	1-3
各部の名称とはたらきについて	1-4
装置前面/側面	1-4
装置背面/主電源スイッチ側	1-5
サポートテーブル(前/後)	1-6
操作パネル	1-7
キャリッジとUV LED ユニット	1-8
ワイパ	1-8
フラッシングトレイ	1-8
ヒータ	1-9
メディアセンサ	1-9
ケーブルを接続する	1-10
USB2.0 インターフェイスクーブルを 接続する	1-10
電源ケーブル接続について	1-10
インクカートリッジについて	1-11
使用可能なインク	1-11
メディアについて	1-13
使用可能メディアサイズ	1-13
メディア取り扱い上の注意	1-13
静電シートについて	1-14
<ローカル><リモート>について	1-15

第2章 基本的な使い方

作業の流れ	2-2
電源を入れる/切る	2-4
電源を入れる	2-4
電源を切る	2-5
起動時のメンテナンス動作	2-6
電源オフ時のノズル抜けを防止する	2-8
メディアをセットする	2-12
ロールメディアをセットする	2-12
リーフメディアをセットする	2-18
リジッドメディアをセットする	2-20
ヘッド高さを調整する	2-26
メディア幅を検出する	2-28
原点を変更する場合	2-30
ヒータの準備をする	2-32
ヒータの温度設定を変更する	2-32
ヒータの温度を確認する	2-33
テスト作図をする	2-34
ヘッドクリーニングをする	2-36
“ノーマル”または“ハード”でクリーニング するとき	2-36
“ワイピング”でクリーニングするとき	2-37
データを作図する	2-38
作図を開始する	2-38
作図を中止する	2-39
サブタンクメンテナンスをする	2-40

第3章 便利な使い方

ドットの位置がずれたら	3-2
UV硬化が弱くなったときのチェック方法	3-4
作図条件をまとめて登録する	3-6
作図条件を設定する	3-7
メディア補正を設定する	3-9
ヒータの設定値を変更する	3-11
ヒータの温度設定を変更する	3-11
メディア送りを設定する	3-12
作図方式を設定する	3-13
UV LEDの光量を設定する	3-15
メディアの吸着力を設定する	3-16
優先順位の設定をする	3-17
メディア幅の設定をする	3-18

設定を初期状態に戻す	3-19
マシン設定	3-20
時刻設定	3-20
情報	3-21
電源電圧の確認	3-22
パターン硬化スキンの設定	3-23
紙幅センサの感度設定	3-24
その他の便利な機能	3-25
表示する言語を切り替える	3-25
データクリア	3-25
本機の情報を表示する	3-26

第4章 お手入れのしかた

日常のお手入れ	4-2
長期間使用しない場合は	4-2
お手入れ上のご注意	4-2
外装のお手入れ	4-3
プラテンの清掃	4-3
紙幅センサの清掃	4-4
インクカートリッジについて	4-5
新しいインクカートリッジに交換する	4-5
カートリッジ異常が発生したら	4-7
フラッシングトレイのクリーニング	4-8
作図中のインク滴の垂れを防ぐ	4-10
廃インクが溜まったら	4-12
廃インクトレイのインクを処分する	4-12
ワイパタンクのインクを処分する	4-14
ノズル面の清掃頻度を設定する	4-16
電源を入れたときに自動でクリーニングを 行う	4-17
電源オフ時のメンテナンスを設定する	4-18
電源オフ中のリフレッシュ動作を設定する	4-18
電源オフ中のクリーニング動作を設定する	4-19
白インク(ホワイト)の定期メンテナンス	4-21
かすれや抜けが改善しない場合は	4-24
サブタンク メンテナンス	4-24
ヘッドワイプ機能	4-26
ワイパのクリーニング	4-28
不凍液を補充する	4-30
不凍液混合水を補充する	4-31
UV LED フィルタを交換する	4-32

第5章 困ったときは

故障?と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
作図ができない	5-2
ディスプレイにメッセージが表示される	5-2
作図結果に問題があるときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
メッセージを表示するトラブル	5-4
ワーニングメッセージ	5-4
エラーメッセージ	5-6

第6章 付録

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
警告ラベルについて	6-4
お問い合わせシート	6-5
機能フローチャート	6-6

ご注意

株式会社ミマキエンジニアリングの保証規定に定めるものを除き、本製品の使用または使用不能から生ずるいかなる損害（逸失利益、間接損害、特別損害またはその他の金銭的損害を含み、これらに限定しない）に関して一切の責任を負わないものとします。

また、株式会社ミマキエンジニアリングに損害の可能性について知らされていた場合も同様とします。

一例として、本製品を使用したメディア等の損失や、作成された物によって生じた間接的な損失等の責任負担もしないものとします。

本機を使用したことによる金銭上の損害および逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

おねがい

- この取扱説明書は、内容について十分注意しておりますが、万一ご不審な点などがありましたら、販売店または弊社営業所までご連絡ください。
- この取扱説明書は、改良のため予告なく変更する場合があります。

電波障害自主規制

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭で使用すると、電波妨害を引き起こすことがあります。この場合は、使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

本機の接続において、当社指定のケーブルを使用しない場合、VCCI 基準の限度値を超えることが考えられます。必ず、当社指定のケーブルを使用してください。

テレビ/ラジオの受信障害について

本機は、使用時に高周波が発生します。このため、本機が不適切な条件下で設置または使用された場合、ラジオやテレビの受信障害が発生する可能性があります。したがって、特殊なラジオ/テレビに対しては保証しておりません。

本機がラジオ/テレビ受信の障害原因と思われる場合は、本機の電源を切り、ご確認ください。電源を切り受信障害が解消すれば、本製品が原因と考えられます。

次の手順のいずれか、またはいくつかを組み合わせることでお試しください。

- テレビやラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してください。
- この製品から離れた場所にテレビやラジオを設置してください。
- この製品とは別の電源供給路にあるコンセントにテレビやラジオを接続してください。

はじめに

この度は、UV インクジェットプリンタ UJV-160 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

「UV インクジェットプリンタ UJV-160」は、紫外線硬化インク (UV インク) を使って作図するプリンタです。

本書をよくお読みになり、お客様のニーズに合わせた作図にお役立てください。

取扱説明書について

- 本書では、「UV インクジェットプリンタ UJV-160」(以後本機と呼びます) の操作やメンテナンスなどの取り扱いについて説明いたします。
- 本書をお読みになり、十分理解してからお使いください。また、本書をいつも手元に置いてお使いください。
- 本書は、本機をお使いになる担当者のお手元に確実に届くようお取りはからいください。
- 本書が焼失／破損などの理由により読めなくなった場合は、新しい取扱説明書を弊社営業所にてお買い求めください。
- 取扱説明書の最新版は、弊社ホームページからもダウンロードできます。

本書の内容を無断で転載することは禁止されています。

© 株式会社ミマキエンジニアリング

All Rights Reserved. Copyright

本機のご紹介

本機の特長をご紹介します。本書で説明する操作方法と併せて、作図のご理解にお役立てください。

紫外線硬化インクを使用

新開発の紫外線硬化インクの使用により、メディアに直接作図できます。プリントできるメディア素材の幅が広がりました。

作図後のインクの硬化・定着が可能

UV LED 装置により、作図後、インクの硬化・定着ができます。また、ヒータ機能も搭載しています。それぞれ独立して温度が設定できるプリヒータとプリントヒータが、周囲の温度を検知して温度を制御するため、お使いになるメディアに最適な加熱温度を設定できます。メディアを加熱し、微少なドット制御をすることで、より高画質の作図を実現します。

最大 10mm の厚さのメディアに対応

本機は、Yバー上下機構により最大 10mm の厚さのメディアを使用できます。

高速インターフェイスを使用

高速インターフェイス「USB2.0」の使用により、コンピュータからのデータ受信を高速に行えます。

ワイドな作図幅

1600mm（63 インチ）のワイドな作図幅を備えています。

メディア送り量一定制御機能









メディアエンコーダを搭載し、設定したメディア送り量でメディアを一定して搬送し、安定した高品質の作図を実現します。

安全にお使いいただくために

マーク表示について

本書では、マーク表示により操作上の注意内容を説明しています。注意内容により表示するマークは異なります。各マーク表示の持つ意味を理解し、本機を安全に正しくお使いください。

マーク表示の例

	内 容
	「警告」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。必ずよくお読みになり、正しくお使いください。
	「注意」マークは、指示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。
	「重要」マークは、本機をお使いいただく上で、知っておいていただきたい内容が書かれています。操作の参考にしてください。
	「ヒント」マークは、知っておくと便利なことが書かれています。操作の参考にしてください。
	関連した内容の参照ページを示しています。
	△マークは、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり、指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

使用上の警告

警告



- 換気の悪い部屋、または密閉された部屋で使用する場合は、必ず換気装置を設けてください。

排気口施工時について

本機の故障を防ぐため、下記の注意を必ずお守りください。

- 排気口の開口部の面積はダクトの50%以上を確保してください。
- 排気口に閉鎖弁等を設置する場合、本機の使用時は必ず閉鎖弁を開けてください。



- 本機で使用するインクは、危険物第4類第3石油類に該当します。よって、引火する可能性があるため本機を使用する場所は、火気厳禁としてください。



- インクステーションやヘッドをクリーニングする際は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インク、メンテナンス用洗浄液が目に入る場合があります。



- 誤ってインク、メンテナンス用洗浄液を飲み込んだ場合は、安静にして直ちに医師の診断を受けてください。嘔吐物は、飲み込ませないください。その後、毒物管理センターに連絡してください。
- 蒸気を大量に吸い込んで気分が悪くなった場合は、直ちに空気の新鮮な場所に移り、暖かくして安静にしてください。また、直ちに医師の診察を受けてください。
- 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。
- 本機には、警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり、剥がれた場合は、販売店、または弊社営業所にて新しい警告ラベルをお買い求めください。

分解・改造はしない



- 本機やインクカートリッジの分解・改造は、絶対に行わないでください。感電や故障の原因になります。

湿気の多い場所では使用しない



- 湿気の多い場所では使用しないでください。また、装置に水をかけないでください。火災や感電、故障の原因になります。

異常事態の発生



- 万一、煙が出ている、変な臭いがするなどの異常事態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。すぐに、電源スイッチをオフにして、その後必ずプラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認してから、販売店または弊社営業所に修理をご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

インクカートリッジの取り扱い










- 一部成分において（光重合開始剤）、水生生物に対する毒性があります。自然水系、生活排水への漏洩流出を防止してください。
- インクカートリッジや廃インクトレー/タンクは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- インクが皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに石けんや水で洗い流してください。万一インクが目に入った場合は、直ちにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

電源ケーブルの取り扱い





















- 付属の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理したソケットに差し込んでください。火災・感電の原因になります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。


警告


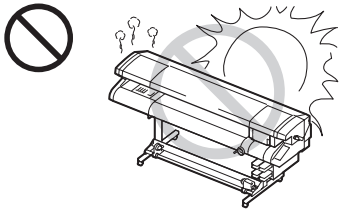
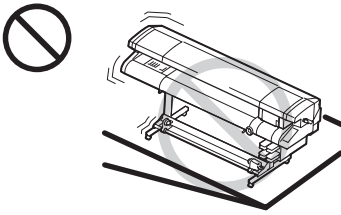

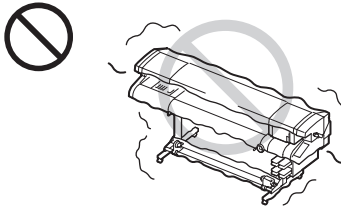
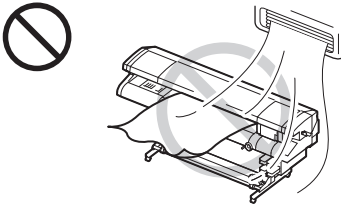
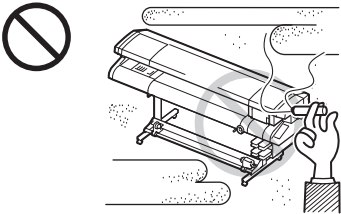
電源、電圧について	UV LED 装置の取り扱い
 <ul style="list-style-type: none"> 本機には、高電圧が発生している部分があります。電気工事は、電気工事士の免許を持った人以外が行うことを禁止します。 接地工事は、感電事故防止のため必ず行ってください。 表示された電源仕様で使用してください。 本機の主電源スイッチの投入作業も、本機の操作方法を熟知した人以外は行わないでください。 電圧セレクトスイッチの切り替えを間違えないようにしてください。本機を使用する電源電圧に合わせて、電圧セレクトスイッチを切り替えてください。 110V 位置→本機 100 ~ 120V 220V 位置→本機 200 ~ 240V 	 <ul style="list-style-type: none"> ガラス製品のため、落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズをつけたりしないでください。破損の原因となります。 点灯中のランプは絶対に直接肉眼で見ないでください。目の痛みや視力障害の原因になります。必ずゴーグルを着用してください。 紫外線 (UV) を皮膚に直接あてないでください。皮膚の炎症を起こす原因となります。  <ul style="list-style-type: none"> UV LED 装置の性能、寿命は UV LED 装置、UV 電源装置によって大きく左右されます。弊社推奨の UV LED 装置、UV 電源装置以外は絶対に使用しないでください。弊社推奨の UV LED 装置、UV 電源装置以外を使用して生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いません。
不凍液の取り扱い	
 <ul style="list-style-type: none"> 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。温水ユニットが故障する恐れがあります。 不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）は、直接肌に触れないようにしてください。 万一、皮膚や衣服に触れてしまった場合は、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。 万一、不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）が目に入った場合は、大量の流水で洗い、医師の診断を受けてください。 また高温の温水タンク水（不凍液混合水）に触れた場合は、直ちに石けんや水で洗い落とし、氷水で十分冷やしてから、医師の診断を受けてください。 不凍液をご使用前に、必ず製品安全性データシート (MSDS) をお読みください。 	 <ul style="list-style-type: none"> 誤って不凍液または温水タンク水（不凍液混合水）を飲み込んだ場合は、直ちに吐かせ、医師の診断を受けてください。 不用となった不凍液または使用済みの温水タンク水（不凍液混合水）は以下の方法で処分してください。 ●おがくず、ウエス等に吸着させて、焼却炉で焼却する ●免許を持った産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託する 静電気・衝撃火花などの着火源が生じないように注意してください。 不凍液を取り扱う場合は、必ずゴーグルおよび手袋を着用してください。  

使用上のご注意

 注 意	
<p>ホコリから守る</p> <p> ・できるだけホコリの少ない部屋で利用してください。</p> <p>・夜帰宅する際は、メディアをセットしたままにしないでください。メディアの上にホコリが付着してしまいます。</p> <p>・メディアはホコリがつかないように保管してください。メディアに付着したホコリを拭き取ると、静電気により逆効果になってしまいます。</p> <p>・ホコリが原因で、作図中に突然インクの雫がヘッドからメディアに落ちる場合があります。この場合は、ヘッドをクリーニングしてください。 (☎ P.2-36)</p>	<p>定期交換部品があります</p> <p> ・本機には、別に定める定期交換部品があります。保守契約をしていただくことをお勧めします。</p>
	<p>装置を水平に保つ</p> <p> ・本機を水平に保つようにしてください。</p>
	<p>メンテナンス用洗淨液について</p> <p> ・メンテナンス用洗淨液は、冷暗所で保管してください。また子供の手の届かない場所に保管してください。</p>
<p>インクカートリッジについて</p> <p> ・カートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、使用する場所に3時間以上放置してから使用してください。</p> <p>・カートリッジは、取付直前に開封してください。開封した状態で長時間放置しておくと、正常に作図できない場合があります。</p> <p>・カートリッジは、冷暗所で保存してください。</p> <p>・カートリッジを開封後は、早めに使い切ってください。開封後、長時間経過したものは、作図品質が低下します。</p> <p> ・専用インク以外を使用すると、故障の原因になります。専用インク以外を使用して故障した場合の修理は、お客様の負担になりますのでご了承ください。</p> <p>・カートリッジ内のインクを詰め替えないでください。</p> <p>・インクカートリッジを強くたたいたり、激しく振り回さないでください。カートリッジからインクが漏れる場合があります。</p>	<p>不凍液について</p> <p> ・不凍液は冷暗所で保存してください。</p> <p>・不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。</p>
	<p>ヒータについて</p> <p> ・プラテンに液体をかけないでください。ヒータの故障や発火の原因になります。</p> <p>・ヒータが熱いうちに、プラテンを素手で触らないください。火傷の原因になります。</p> <p> ・本機を移動する場合は、ヒータの温度が十分下がった状態で行ってください。目安として、電源を OFF にしてから 30 分以上お待ちください。なお、本機の移動は、段差のない同一フロア内とします。移設の場合は、弊社営業所、または販売店にご連絡ください。</p>

 注 意	
紫外線について <ul style="list-style-type: none">  • UV LED 装置周辺から多少の紫外線漏れがあります。紫外線を皮膚や目に浴びると、炎症や皮膚ガンを起こす可能性があります。弱い紫外線で炎症を起こさない場合でも、反復暴露により慢性障害に発展する場合があります。紫外線を皮膚や目に浴びないようにしてください。  • 紫外線の目への障害として、異物等、とう痛および涙が流れる等があります。また、白内障等があります。本機を使用する場合、手袋、長袖の服、顔面部は遮光面、目は付属の遮光メガネ等で保護してください。 	高温について <ul style="list-style-type: none">  • 万一、高温部に触る時は、断熱性のある手袋等で手の皮膚を保護してください。
清掃について <ul style="list-style-type: none">  • 長年の使用により装置導電部や絶縁部にゴミ、ホコリが溜まり漏電する場合があります。定期的に清掃をしてください。 • 清掃は圧縮空気の吹き付けで行わないでください。ゴミ、ホコリが飛散するだけでなく、導電部に侵入して動作不良を起こします。必ず掃除機を使用して、ゴミ・ホコリを吸い取ってください。 • 水のかかる場所での使用は、漏電の可能性が非常に高くなります。水のかかる場所での使用は避けてください。 • 万一、漏電が発生すると、作業員の感電や火災に発展する場合があります。 • 事故防止のため、定期点検、定期交換部品の交換等は必ず行ってください。 	発火、発煙について <ul style="list-style-type: none">  • UV LED 装置等の高温部に可燃物が触れると、発火、発煙の可能性があります。また、UV LED 装置の下に数秒間、可燃物を放置すると、発火、発煙の可能性があります。  • 長年の使用で、安定器やその他部品にゴミやホコリによる漏電、絶縁劣化が原因の発火、発煙の可能性があります。定期的な清掃、絶縁抵抗測定による劣化部品の交換をしてください。 • 長年の使用で、導電部のネジ等が緩むことが原因で、発火、発煙の可能性があります。定期的な増し締めを行ってください。 • 異臭・発煙・スパーク跡など装置に異常が見られた場合は直ちに電源をオフにして弊社まで連絡してください。
UV LED 装置について <ul style="list-style-type: none">  • UV LED 装置下面のガラスは、必ず付属の手袋をはめて取り扱い、素手で触れないでください。UV 硬化が著しく低下する原因になります。汚れがついた場合には、アルコールを湿らせた清潔なガーゼ等で拭いてください。（外側カバーは、アルコールで拭かないでください。塗装がはげます。） • UV LED 装置前面のフィルタをこまめに清掃してください。 	

設置上のご注意

 注 意		
直射日光が当たる場所	水平でない場所	温度や湿度の変化が激しい場所
		 <ul style="list-style-type: none"> • 次の環境下でお使いください。 • 使用環境： 15 ~ 35 °C (使用可能温度) 20 ~ 25 °C (精度保証温度) 30 ~ 65 % (Rh)
振動が発生する場所	エアコンなどの風が直接当たる場所	火を使う場所
		

第1章 ご使用前に



この章では ...

各部の名称や設置方法など、ご使用前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本機を設置する.....	1-2	ケーブルを接続する.....	1-10
設置場所について.....	1-2	USB2.0 インターフェイスケーブル	
使用環境温度について.....	1-3	を接続する.....	1-10
本機の移動.....	1-3	電源ケーブル接続について.....	1-10
各部の名称とはたらきについて.....	1-4	インクカートリッジについて.....	1-11
装置前面 / 側面.....	1-4	使用可能なインク.....	1-11
装置背面 / 主電源スイッチ側.....	1-5	メディアについて.....	1-13
サポートテーブル (前 / 後).....	1-6	使用可能メディアサイズ.....	1-13
操作パネル.....	1-7	メディア取り扱い上の注意.....	1-13
キャリッジと UV LED ユニット.....	1-8	静電シートについて.....	1-14
ワイパ.....	1-8	< ローカル > < リモート > について.....	1-15
フラッシングトレイ.....	1-8		
ヒータ.....	1-9		
メディアセンサ.....	1-9		

本機を設置する

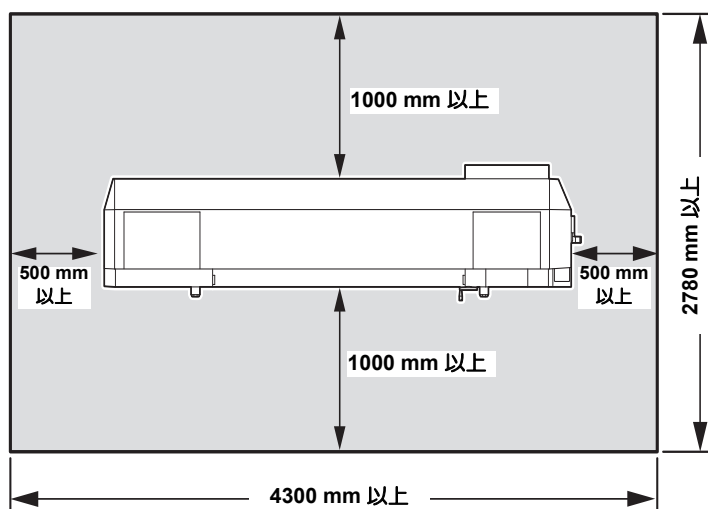
設置場所について

本機を組み立てる前に、設置するスペースを確保してください。
本体の大きさと作図のために必要なスペースを考慮して設置します。

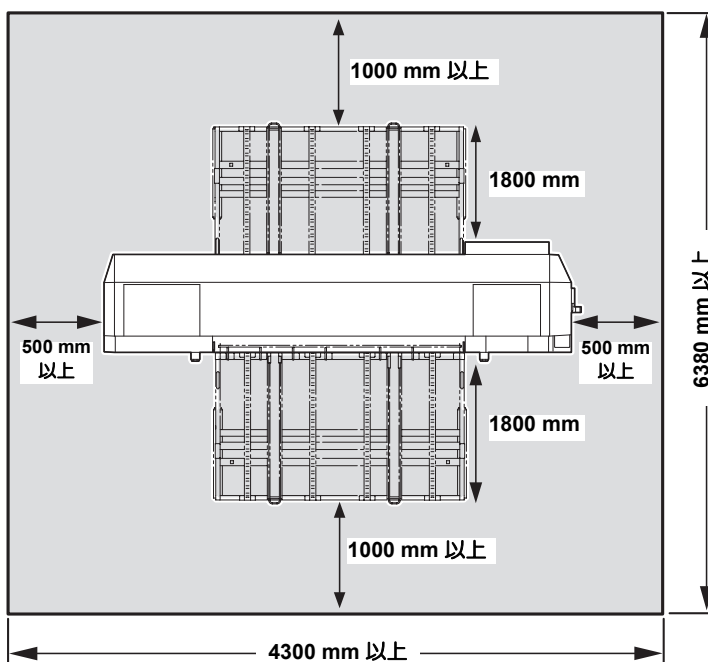
幅	奥行き	高さ	全体重量
3300 mm	780 mm	1290mm	約 260 kg

設置場所については、「設置上のご注意」もご覧ください。(P.xiv)

本機のみ設置時



サポートテーブル設置時



使用環境温度について

本機は安定した作図を行うために、15～35℃の環境でご使用ください。
周囲の温度条件により、ヒータ温度が設定値まで上昇しない場合があります。

本機の移動

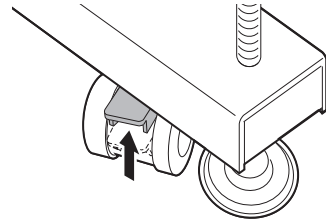
本機をやむを得ず、段差のない同一フロア内で移動する場合は、下記のように行ってください。



- 移動するときは、大きな振動を与えないでください。
- 移動後は、必ずキャスターをロックしてください。

1

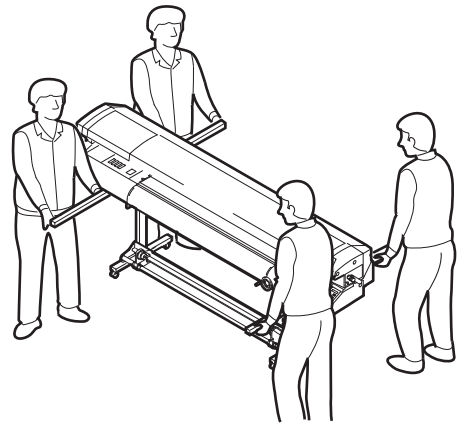
キャスターのロックを解除する



2

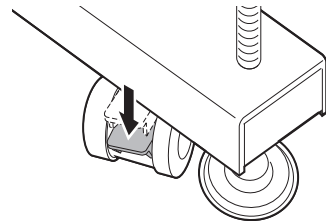
図のようにして、移動する

- 本機を移動するときは、必ず4人以上で行ってください。
- カバーを押して移動すると、カバーが変形する可能性があります。



3

キャスターをロックする

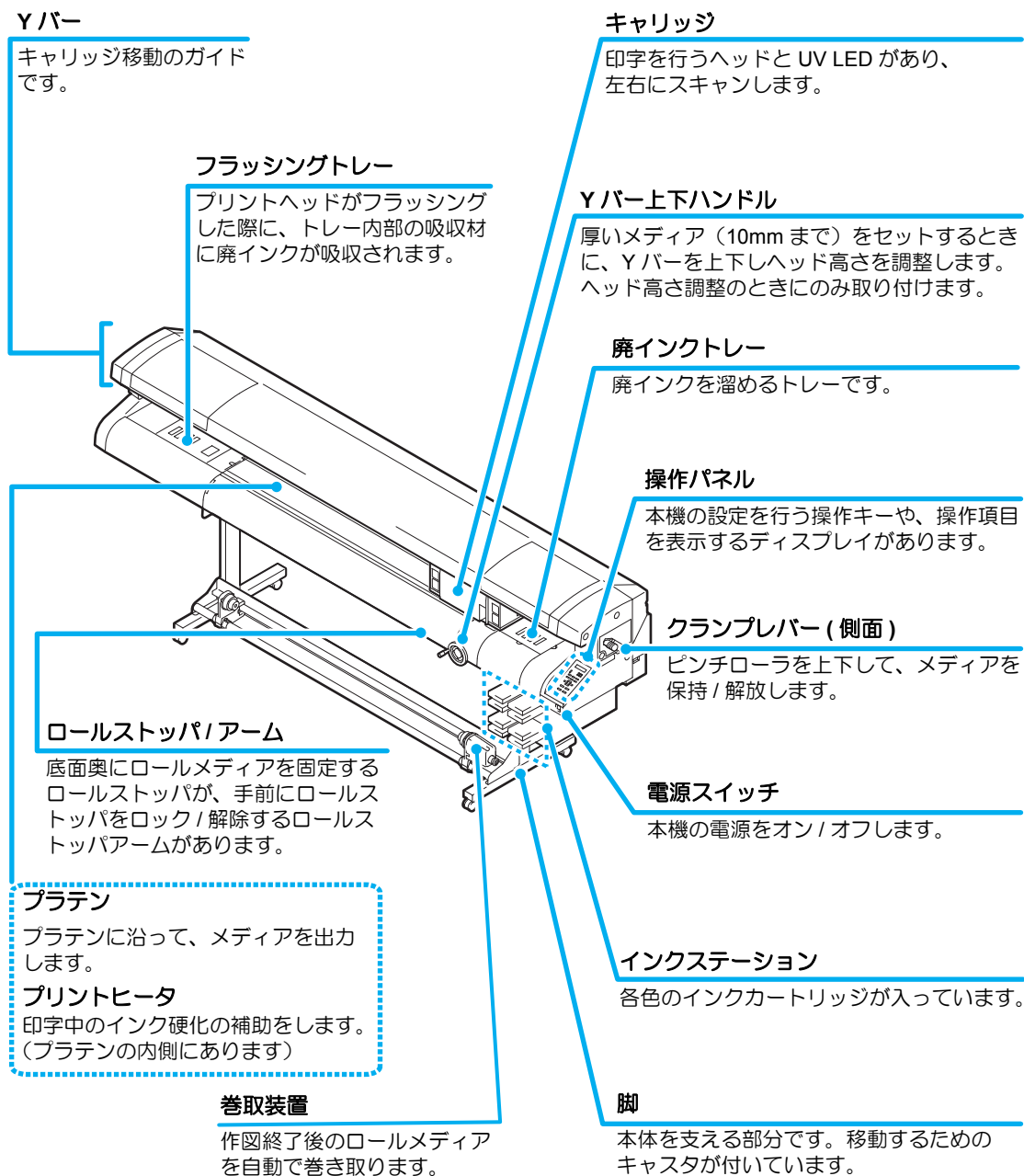


1

1 使用の前に

各部の名称とはたらきについて

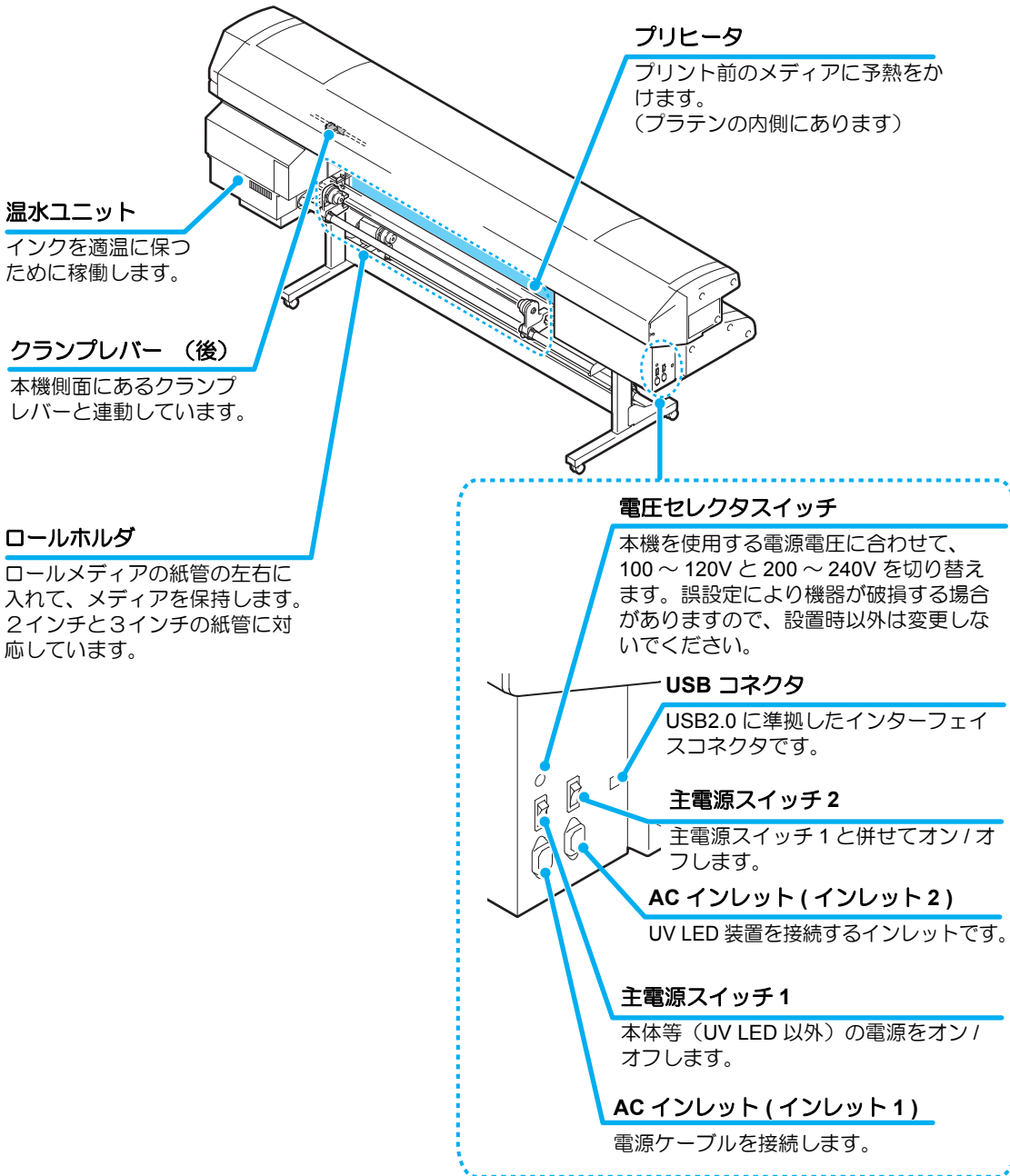
装置前面 / 側面



装置背面 / 主電源スイッチ側

1

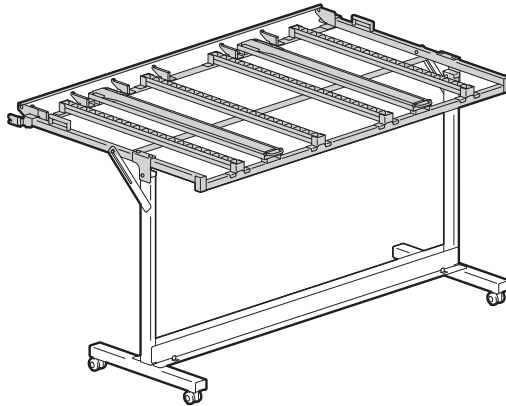
1 使用の前に



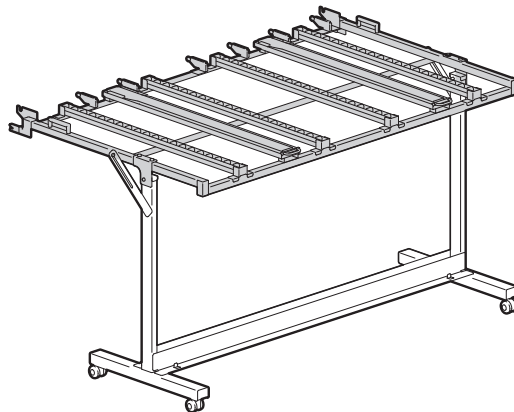
サポートテーブル（前 / 後）

リジッドメディアを印刷するときに、メディアの搬送を補助するテーブルです。
テーブルは、前後セットで使用します。

サポートテーブル（前）



サポートテーブル（後）



操作パネル

操作パネルは、各種操作に使用します。

ディスプレイ

本機の状態や設定項目、エラーなどを表示します。

CONSTANT ランプ

ヒータが設定温度に達すると緑色に点灯します。

HEAT ランプ

ヒータ加熱中にオレンジ色に点灯します。

ACTIVE ランプ

データ受信中や作図中に点滅します。

(USER TYPE) キー

ユーザタイプを選択するときに使用します。

(CLEANING) キー

インク詰まりを起こしている場合にヘッドのクリーニングを実行します。

(DATA CLEAR) キー

本機が受信したデータを消去します。

(FUNCTION) キー

各種機能設定メニューに入ります。

(END) キー

直前に入力した設定のキャンセルや、設定メニューを1つ前の階層に戻す場合に使用します。

(REMOTE) キー

<ローカル>と<リモート>を切り替えます。

(ENTER) キー

1段下の階層メニューに移動する場合や、設定値の確定に使用します。

UV READY ランプ

左右の UV LED 照射状態を表示します。UV LED 照射時に緑色に点灯します。

UV ERROR ランプ

左右の UV LED エラー状態を表示します。UV エラー発生時に赤色に点灯します。

(ST.MAINT) キー

ステーションメンテナンスをするときに使用します。

(TEST DRAW) キー

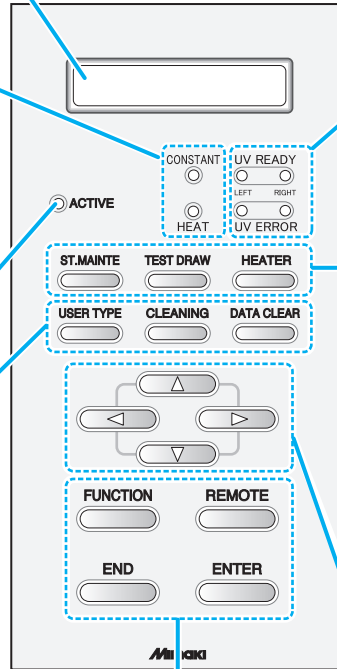
インク詰まりなどの作図不良がないか確認するためにテストパターンを作図します。

(HEATER) キー

プリントヒータ、プリヒータの温度を設定します。現在のプラテンの温度も確認できます。

ジョグキー

<ローカル>でのヘッドやメディアの移動、作図条件の項目選択に使用します。



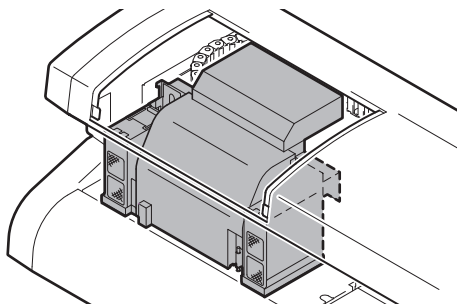
ジョグキーのはたらき

ジョグキーは、使用するタイミングにより機能が異なります。

	作図原点、範囲設定時	機能の選択時	設定の選択時
	キャリッジを左へ移動		
	キャリッジを右へ移動		
	メディアを奥側へ移動	1つ前の機能に戻る	1つ前の機能を選択する
	メディアを手前に移動	次の機能に移る	次の値を選択する

キャリッジと UV LED ユニット

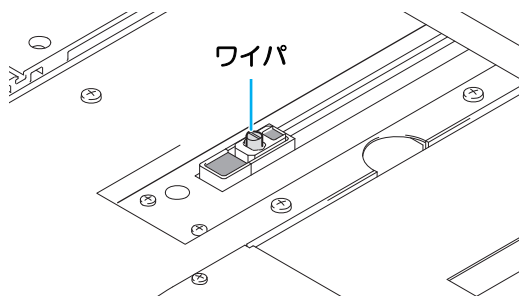
キャリッジには、作図用のプリントヘッドと UV LED ユニット (2 個) を搭載しています。キャリッジの待機位置は、装置の状態によって異なります。



- ・ 点灯中の UV LED から出る光を直接肉眼で見ないでください。

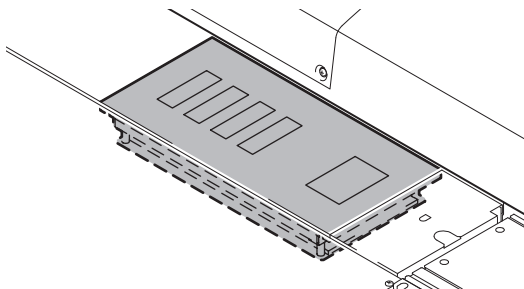
ワイパ

本機の正面右側にあるワイパは、インク充填やクリーニング時にヘッド面に付着したインクを除去します。



フラッシングトレイ

フラッシングトレイは、本機の左にあります。プリントヘッドがフラッシングした際に、フラッシングトレイの内部のフラッシングフィルタに廃インクが吸収されます。フラッシングフィルタはこまめに交換してください。(P.4-8)



ヒータ

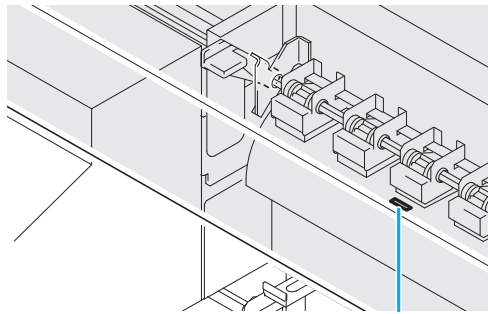
プラテンには、プリヒータとプリントヒータが内蔵されています。
 プリヒータは、印字前のメディアを予熱し、プリント部での急激な温度変化を抑えます。
 プリントヒータは、印字する際の画像品質を上げます。



- ヒータの加熱中は、プラテンが高温になっています。火傷の原因になりますので、メディアの交換は、ヒータの温度を下げ、プラテンの温度が十分下がってから行ってください。
- 薄手のメディアに交換する際は、ヒータの温度を下げ、プラテンの温度が十分下がってから行ってください。プラテンが高温の状態で行くと、メディアがプラテンに貼り付いたり、シワやカールの原因になります。

メディアセンサ

メディアセンサは、メディアの有無とメディア長を検出します。
 プラテン上（背面の左側）にメディアセンサが1箇所あります。



メディアセンサ

重要!

- メディアは、必ずプラテン後部側のメディアセンサを覆い隠すようにセットしてください。センサ上にメディアがないと、メディア検出を実行できません。

1

1 使用の前に

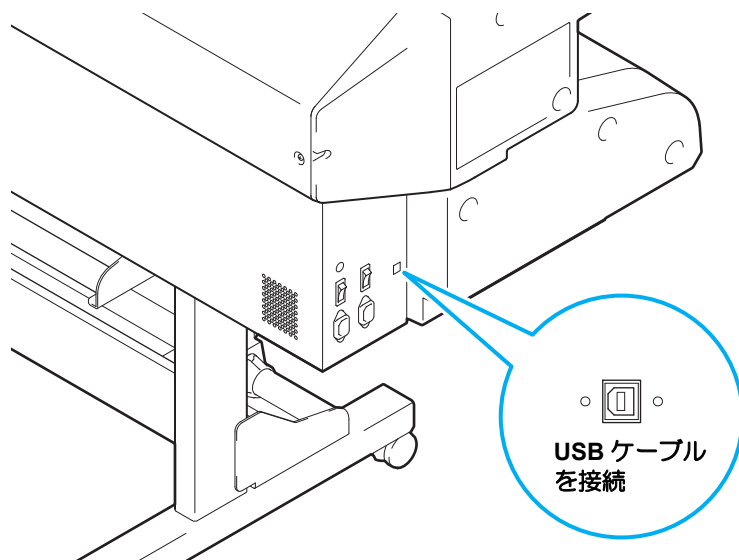
ケーブルを接続する

USB2.0 インターフェイスケーブルを接続する

コンピュータと本機を USB2.0 インターフェイスケーブルで接続します。



- ご使用の RIP が USB2.0 インターフェイスに対応している必要があります。
- USB2.0 インターフェイスがコンピュータにない場合は、お近くの RIP メーカーまたは弊社営業所までお問い合わせください。



● USB ハイスピードモードの周辺機器について

本機と USB ハイスピードモードで動作する周辺機器 (USB メモリ、USB-HDD など) を併用した場合、USB 機器が認識できない場合があります。

外付けの USB のハードディスクドライブなどを接続したパソコンに本機を接続した場合、本機へのデータ出力速度が遅くなる場合があります。よって、作図中にヘッドが右端または左端でいったん停止する原因になります。

電源ケーブル接続について



- 付属品の電源ケーブルを使用してください。
- 電源ケーブルのプラグは、必ずアース処理したソケットに差し込んでください。火災・感電の原因になります。
- 電源ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重い物をのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると電源ケーブルが破損し、火災・感電の原因になります。

インクカートリッジについて

インクカートリッジをインクステーションに差し込んでお使いください。

使用可能なインク

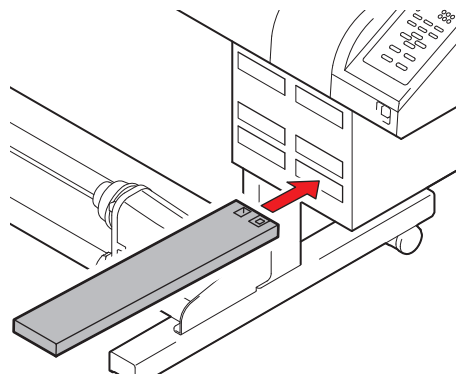
インクの種類	色
LF-200 (SPC-0558) LH-100 (SPC-0597) *1	マゼンタ
	シアン
	イエロー
	ブラック
	ホワイト
LF-140 (SPC-0728)	マゼンタ
	シアン
	イエロー
	ブラック
	ライトマゼンタ
	ライトシアン
ホワイト	
洗淨カートリッジ *2	

*1: 600cc パックを使う場合、専用のエコカートリッジが必要です。

*2: ヘッド洗淨時に使用します。

ディスプレイには、次のように色を表示します。

ディスプレイ表示	色
M	マゼンタ
C	シアン
Y	イエロー
K	ブラック
W	ホワイト
m	ライトマゼンタ
c(小文字)	ライトシアン



1

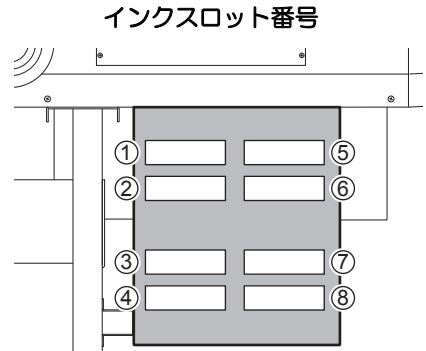
1 使用の前に

インクカートリッジをセットするときのご注意

インクカートリッジをセットするときは、次の事項にご注意ください。



- ・インクスロット番号を確認し、正しい色のインクカートリッジを差し込んでください。
- ・インクカートリッジは、スロットの奥まで確実に差し込んでください。また、乱暴に抜き差ししないでください。
- ・ICチップがある面を上に向けて差し込んでください。
- ・インクカートリッジの交換方法は、以下のページをご覧ください。
(※P.4-5「新しいインクカートリッジに交換する」)



インクカートリッジ取り扱い上のご注意



- ・インクカートリッジは、弊社推奨のものをご使用ください。
- ・インクには直接触れないようにしてください。皮膚に付着した場合は、直ちに石けん水で洗った後、水で十分に洗い流してください。万一、インクが目に入った場合は、直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗い流し、まぶたの裏まで完全に洗い流してください。できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- ・インクカートリッジは冷暗所で保存してください。
- ・インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、使用する場所に3時間以上放置してから使用してください。
- ・インクカートリッジは開封してから6カ月以内に使い切ってください。開封後、長時間経過したものは作図品質が低下します。
- ・インクカートリッジは、子供の手の届かない場所に保管してください。
- ・未使用のインクカートリッジは、産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託してください。
- ・一部成分において（光重合開始剤）、水生生物に対する毒性があります。自然水系、生活排水への漏洩流出を防いでください。
- ・インクカートリッジに記載している有効期限を過ぎた場合は、そのインクカートリッジを使用しないでください。
- ・インクカートリッジをご使用の前に、必ず安全データシート (MSDS) をお読みください。



- ・インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり、振り回したりすると、カートリッジからインクが漏れることがあります。
- ・インクカートリッジは分解しないでください。
- ・インクカートリッジのインクを詰め替えないでください。故障の原因になります。また、インクを詰め替えて使用したことによって生じた不具合について、弊社はいっさい責任を負いかねます。
- ・インクカートリッジの基板接点部分は、手で触れたり汚したりしないでください。基板の故障の原因になります。
- ・インクカートリッジは分解しないでください。

メディアについて

使用可能なメディアサイズと、その取り扱い方法について説明します。

使用可能メディアサイズ

最大幅	1620 mm (リジッドメディアは 1600mm 以内)	
最小幅	210mm	
最大作図幅	1600mm	
厚さ	0.2mm 以上 10 mm 以下	
プリントロール	ロール外径	Φ180mm 以下
	ロール重量	25kg 以下
	紙管内径	2 インチまたは 3 インチ
	作図面	ロール外側面
	巻き終わり処理	紙管にテープ止めまたは弱粘着

メディア取り扱い上の注意

装置破損や作図不良を防ぐため、次の点にご注意ください。



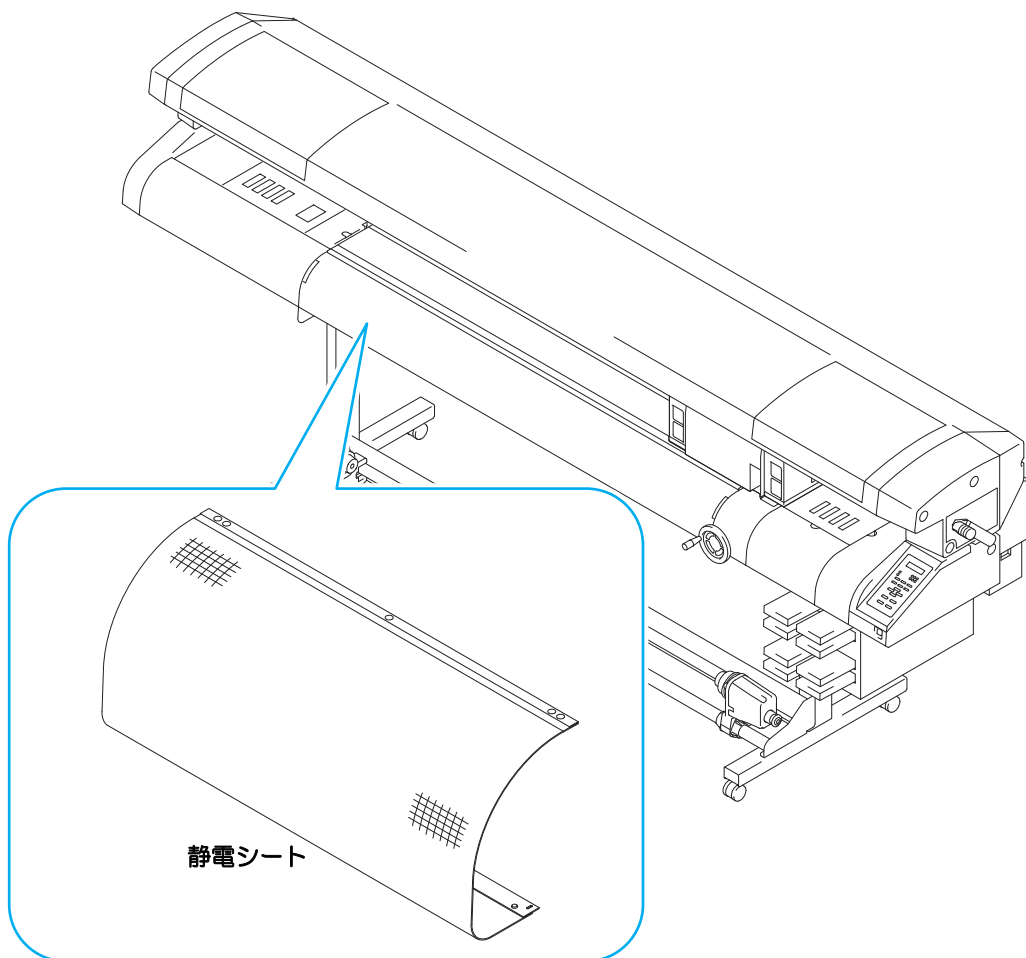
- **メディアの伸縮**
シート状のメディアは、開封直後には使用しないでください。室内の温度や湿度によって、メディアが伸縮する場合があります。開封後、使用する場所の外気に 30 分以上さらす必要があります。
- **ヒータ温度**
メディアの種類や特性に合わせて、プリヒータおよびプリントヒータの温度を設定してください。
リジッドメディアをお使いのときは、使用しないでください。
- **メディアの吸着**
メディアをしっかりと固定するために、メディアが覆えない所にあるプラテン上の吸着穴は、使用するメディアよりも薄いメディアで塞いでください。
- **リジッドメディア（ボード）をお使いの場合**
メディアの重さによっては、正しくフィードされないことがあります。使用可能なメディアについては、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- **メディアの反り**
リジッドメディアは、平らなものをご使用ください。反りが小さい場合は、作図面を上にして下に反っているもの（中央が浮いているもの）をご使用ください。上に反っているメディアは、プラテンに吸着できない場合があります。反りやすいメディアは、一回り小さめの台やパレットの上に置くなど、下反りになるように保管してください。
- **その他の注意点**
 - a コートメディアの表面に物を置かないでください。コートメディアによっては変色する場合があります。
 - b 吸着しきれないカールしたメディアや、Yバー移動時にずれてしまうメディアは使用できません。テープなどでメディアを固定してからご使用ください。

静電シートについて

静電シートは、静電気によるメディアの貼り付きを防止するためのシートです。静電気によってメディアが張り付き、メディア搬送に影響が出た時にご使用ください。取り付け方は、静電シートに付属のセットアップマニュアルをご参照ください。

重要!

- メディアの種類や使用環境によっては、張り付きが改善されない場合があります。静電シートを使用しても張り付きが改善されない場合、販売店または弊社営業所にご連絡ください。



<ローカル><リモート>について

本機のディスプレイに表示される<ローカル><リモート>について説明します。

<ローカル. 1 >

*リモート. 1 *

ローカル

この表示のときは、以下の各種設定ができます。

全てのキーが有効です。

コンピュータからデータを受信できます。ただし、作図は行いません。

- ジョグキーを押して、作図原点や作図範囲を設定します。
- **TEST DRAW** キーを押して、「テスト作図」を行います。
- **CLEANING** キーを押して「ヘッドクリーニング」を行います。
- **FUNCTION** キーを押して、各種機能を設定します。
- **HEATER** キーを押して、ヒータの温度を設定します。
- **ENTER** キーを押して、インク残量、機種名およびファームウェアバージョンなどを確認します。
- **REMOTE** キーを押して、<ローカル>と<リモート>を切り替えます。
- **DATA CLEAR** キーを押して、受信した作図データを消去します。
- **USER TYPE** キーを押して、ユーザタイプを変更します。
- **ST.MAINT** キーを押して、メンテナンス機能の[ステーションメンテナンス]をダイレクトに選択します。

リモート

この表示のときは、受信したデータを作図します。

作図中に**REMOTE**キーを押すと、一時停止して<ローカル>に戻ります。

REMOTEキーを押すと<リモート>になります。

1

1 使用の前に

第2章

基本的な使い方



この章では ...

メディアの準備から作図までの手順について説明します。

作業の流れ	2-2	ヒータの準備をする	2-32
電源を入れる / 切る	2-4	ヒータの温度設定を変更する	2-32
電源を入れる	2-4	ヒータの温度を確認する	2-33
電源を切る	2-5	テスト作図をする	2-34
起動時のメンテナンス動作	2-6	ヘッドクリーニングをする	2-36
電源オフ時のノズル抜けを 防止する	2-8	“ノーマル”または“ハード”で クリーニングするとき	2-36
メディアをセットする	2-12	“ワイピング”でクリーニング するとき	2-37
ロールメディアをセットする	2-12	データを作図する	2-38
リーフメディアをセットする	2-18	作図を開始する	2-38
リジッドメディアをセットする	2-20	作図を中止する	2-39
ヘッド高さを調整する	2-26	サブタンクメンテナンスをする	2-40
メディア幅を検出する	2-28		
原点を変更する場合	2-30		

作業の流れ

1

電源を入れる

「電源を入れる」(☞ P.2-4)を参照してください。

2

メディアをセットする

「メディアをセットする」(☞ P.2-12)を参照してください。

3

ヒータの準備をする

「ヒータの準備をする」(☞ P.2-32)を参照してください。

4

テスト作図をする

「テスト作図をする」(☞ P.2-34)を参照してください。

5 ヘッドクリーニングをする

「ヘッドクリーニングをする」(☞ P.2-36)を参照してください。

6 データを作図する

「データを作図する」(☞ P.2-38)を参照してください。

7 電源を切る

「電源を切る」(☞ P.2-5)を参照してください。

2

基本的な使い方

電源を入れる / 切る

電源を入れる

本機には、以下の電源スイッチがあります。

主電源スイッチ 1 / 2 : 本機の側面にあります。

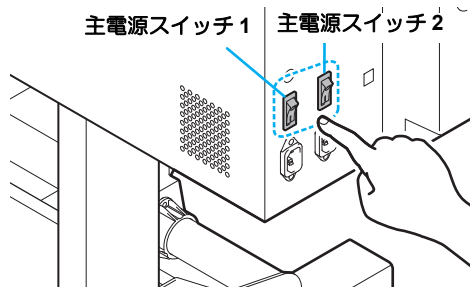
電源スイッチ : 本機前面の右側にあります。通常、電源のオン / オフをするときはこのスイッチを使用します。

電源がオンのときは電源スイッチが緑色に点灯し、オフにすると消灯します。

1

本機側面の主電源スイッチ1と2を入れる

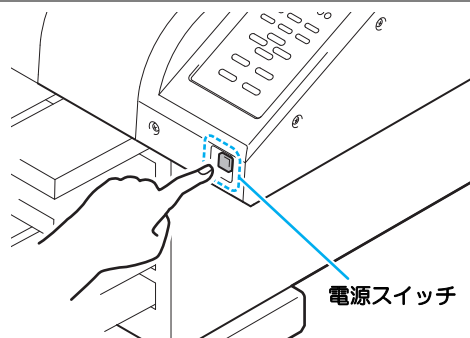
- ・ 始めに主電源スイッチ2を「I」側に倒します。その後、主電源スイッチ1を「I」側に倒します。



2

電源スイッチを入れる

- ・ 装置前面の電源スイッチを押します。



- ・ 電源をオンにするとファームウェアのバージョンを表示します。

- ・ 初期動作を実行します。

```
UJV-160 start-up  
Ver. *.**
```

```
シバ ラク オマチクタ サイ  
ゲ ン テン ケンシュツ チュウ
```

3

<ローカル> が表示される

```
<ローカル, 1>
```

4

接続しているコンピュータの電源をオンにする



- ・ 主電源スイッチの上にある電圧セクタスイッチは、誤設定により機器が破損する場合がありますので、設置時以外は変更しないでください。

電源を切る

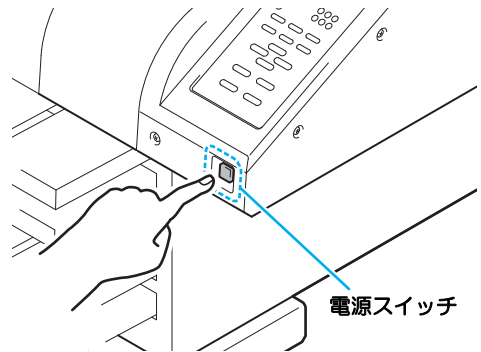
本機の使用を終了したら、装置前面にある電源スイッチを押して電源をオフにします。電源を切るときは、次のことを確認してください。

- コンピュータからデータを受信中ではないか、また、未出力のデータが残っていないか。
- ヘッドは本機左側の待機位置に戻っているか。
- エラーは発生していないか。(参照 P.5-6「エラーメッセージ」)

1 接続してあるコンピュータの電源をオフにする

2 電源スイッチを押して、電源を切る

- 側面にある主電源スイッチは切らないでください。
- 次に本機をご使用になるときは、電源スイッチを押して緑色ランプが点灯してからお使いください。



2

基本的な使い方

起動時のメンテナンス動作

パワーオンメンテナンスが有効の場合、本機の起動時の状態によって次の動作を行います。パワーオンメンテナンスの設定は、P.4-17「電源を入れたときに自動でクリーニングを行う」を参照してください。(ファームウェア Ver.2.00 以降に対応)

温水が冷めていた場合

1

温水の準備を開始する

- ・クリーニングをキャンセルする場合、**END** キーを押します。
ENTER キーを押すとクリーニングをキャンセルして<ローカル>表示になります。

パ° ワーオン メンテナンス
オンスイ ジ° ユンビ° チュウ

パ° ワーオン メンテナンス
キャンセル :ent

2

温水が温まると、自動でクリーニングを開始する

- ・クリーニングが終了すると、<ローカル>表示になります。

クリーニング° チュウ
*****-----

前回の起動時に「ERROR149」が発生していた場合

前回の起動時に「ERROR149 INK UPSTREAM GRD」が発生していた場合、次の動作を行います。

1

ノズル面のインク滴を除去するため、ワイピングを行う

- ・ワイピングが終了すると、<ローカル>表示になります。

ワイピ° ング° チュウ
シハ° ラク オマチクダ° サイ

サブタンク内のインクが不足していた場合

1

サブタンクにインクを補充する

- 補充が終了すると、<ローカル>表示になります。

インクホジ ユウ チュウ
*****-----

2

基本的な使い方

電源オフ時のノズル抜けを防止する

電源スイッチをオフにしても、定期的に装置が起動して、ノズル抜けを防止するための各種動作を行います。(ファームウェア Ver.1.90 以降に対応)

重要!

- スリープからの起動時は、電源をオフにしないでください。スリープ動作完了後は、自動で電源をオフにします。
- クリーニングは行いません。
- インクの消費はありません。
- 電源をオフにしてから 2 時間までは、10 分ごとに起動します。
電源をオフにしてから 2 時間以降は、1 時間ごとに起動します。

1

スリープから起動するとスリープ動作を行い、自動的に電源がオフになる

- スリープ動作は 30 秒程度で終了します。
- 「POWER OFF シバラクオマチクタサイ」の表示の後、自動で電源をオフにします。

UJV-160 start-up
Ver. *.* **



シバラクオマチクタサイ



POWER OFF
シバラクオマチクタサイ

スリープメンテナンスを設定している場合

スリープメンテナンスで、スリープリフレッシュまたはスリープクリーニングを設定している場合、ノズル抜けを防止するため、リフレッシュ動作・クリーニング動作も追加で行います。(ファームウェア Ver.2.40 以降に対応)

● スリープリフレッシュ

1

スリープ時にリフレッシュを行う

- スリープから起動すると温水の準備を行います。
- 温水準備完了後、キャリッジが本体左側のフラッシングトレイに移動し、フラッシングします。

UJV-160 start-up
Ver. *.* **

シバラクオマチクタサイ

重要!

- メンテナンスメニューの“スリープメンテナンス”(P.4-18「電源オフ時のメンテナンスを設定する」)で設定した時間の間隔で起動します。
- キャリッジが動くため、プラテン上に物を置かないでください。
- 電源オフ時はカートリッジを抜かないでください。

2

フラッシング後、キャリッジがステーション位置(右側)に戻り、自動的に電源がオフになる

POWER OFF
シバ[®] ラクオマチクタ[®] サイ

● スリープクリーニング

1

スリープ時にクリーニングを行う

UJV-160 start-up
Ver. *.*

- ・スリープから起動すると温水の準備を行います。
- ・温水準備完了後、クリーニングを行います。
- ・温水準備完了後、キャリッジが本体左側フラッシングトレイに移動し、フラッシングします。

シバ[®] ラクオマチクタ[®] サイ

重要!

- ・メンテナンスメニューの“スリープメンテナンス”(P.18「電源オフ時のメンテナンスを設定する」)で設定した時間の間隔で起動します。
- ・キャリッジが動くため、プラテン上に物を置かないでください。
- ・電源オフ時はカートリッジを抜かないでください。

2

フラッシング後、キャリッジがステーション位置(右側)に戻り、自動的に電源がオフになる

POWER OFF
シバ[®] ラクオマチクタ[®] サイ

2

基本的な使い方

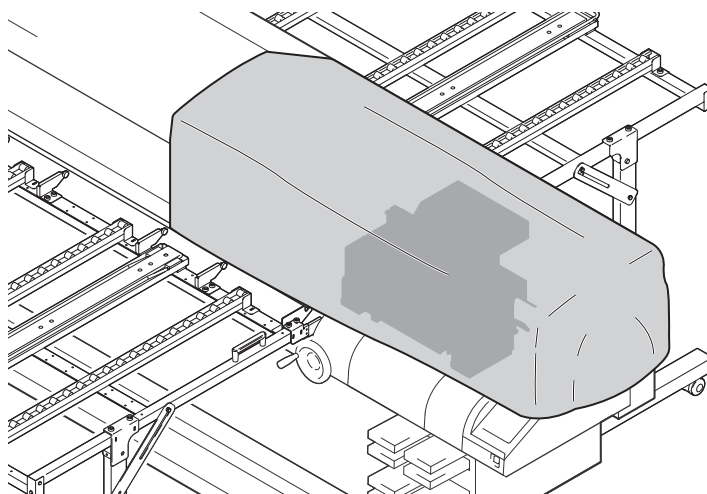
電源を切るときのご注意

- **主電源スイッチは切らないでください。**
主電源スイッチが入っていると、定期的に電源が入りノズル抜け防止機能が働きます。主電源スイッチを切っていると、スリープ機能が働かず、ノズル抜けの原因となります。
- **電源スイッチをオフするとき、 キャリッジがステーション位置 (右側) へ移動します。**
正面の電源スイッチをオフすると、自動的にキャリッジがステーション位置 (右側) へ移動します。移動完了後、電源がオフします。主電源スイッチをオフした場合は、キャリッジは動きません。
- **電源スイッチをオフしている間、 プラテン上に物を置かないでください。**
スリープリフレッシュ・スリープクリーニングの機能を有効にすると、電源がオフになっても自動的にキャリッジが動き、本体左側にあるフラッシングトレイ上でフラッシングを行います。(スリープメンテナンス機能)
プラテン上にものを置いたままにしておくとキャリッジ移動時に巻き込み、故障の原因となりますので、電源オフ時は物を置かないでください。セットしているメディアの「浮き」や「めくれ」にもご注意ください。
- **ヘッドの位置を確認してから電源を切ってください。**
ヘッドが待機位置 (左側) に戻っていない状態で電源を切ると、ヘッドが乾燥してノズル詰まりの原因となります。
このときは、再度電源を入れ、ヘッドが待機位置 (左側) に戻ったことを確認してから電源を切ってください。
- **作図中は電源を切らないでください。**
ヘッドが待機位置 (左側) に戻らないことがあります。
- **主電源スイッチを切る場合、 まず前面の電源スイッチを切っておいてください。**
装置の移動や装置のエラー対処等で主電源スイッチを切る場合、必ず、装置前面にある電源スイッチを押し、電源がオフになっていることを確認してから主電源スイッチを切ってください。

長期間使用しない場合は



- 本機の側面にある主電源スイッチを切ってください。(P.2-4)
- セットしてあるメディアを取り除いてください。
- ヘッド周辺の UV インク硬化を防止するため、付属の遮光シートをヘッド待機位置（待機位置により、右または左）を覆うように掛けてください。



メディアをセットする

本機では、ロールメディアとリーフメディアをご使用になれます。
使用できるメディアについては、1-13 ページ「メディアについて」を参照してください。

ロールメディアをセットする

ロールメディアは、装置背面にあるロールホルダにセットします。

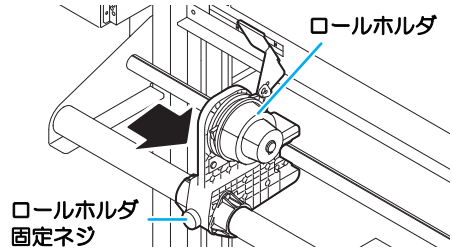
重要!

- メディアがYバーに引っかからないよう、あらかじめヘッドを上げておいてください。(P.2-26)

1

本機の背面から、左側のロールホルダを固定する

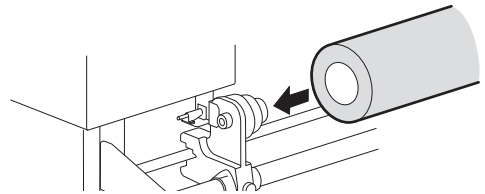
- ロールホルダ固定ネジを緩める
- ロールホルダをメディアのセット位置に移動する
- ロールホルダ固定ネジを締めて固定する



2

左側のロールホルダにロールメディアの紙管を差し込む

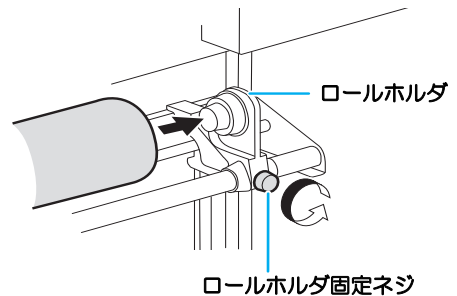
- 紙管が動かなくなるまで、奥に差し込んでください。



3

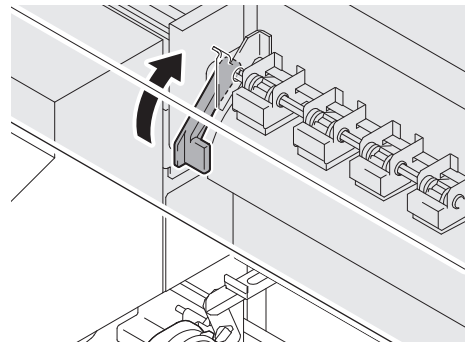
右側のロールホルダに紙管を差し込む

- ロールホルダ固定ネジを緩める
- ロールホルダをメディアのセット位置に移動する
- ロールホルダに紙管を差し込む
- ロールホルダ固定ネジを締めて固定する



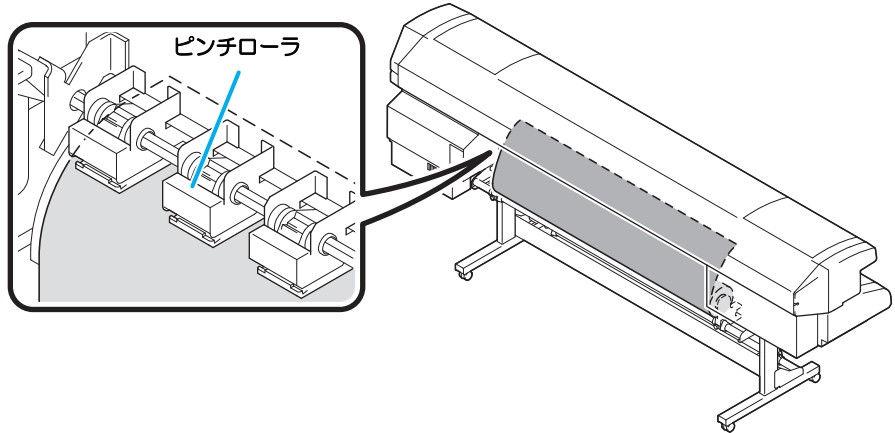
4

本機背面のクランプレバーを上げる



5

本機にロールメディアを差し込む



- メディアを斜めにする、引っ掛かりが少なくスムーズに差し込めます。

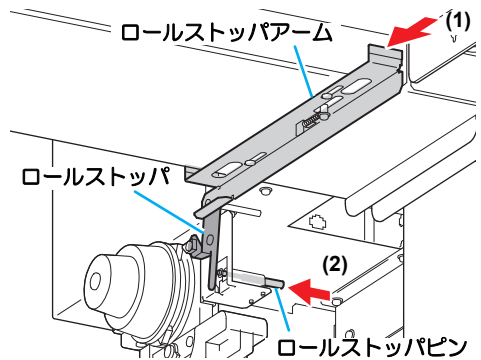
- (1) プラテンの先端に届くまで、メディアを引き出す
- (2) プラテンとピンチローラの上にメディアを差し込む
 - 本機の前面からメディアをつかめる位置まで、メディアを送り出します。
- (3) 本機の背面からクランプレバーを下げる
 - メディアが保持されます。

6

本機の前面から、ロールストップ

パを固定する

- (1) 本機の前面右下にあるロールストップアームを、止まるまでいっぱい押し
- (2) ロールストップアームを押したまま、ロールストップピンを右から押し込み、ロールストップアームを離す
 - ロールストップが固定されます。

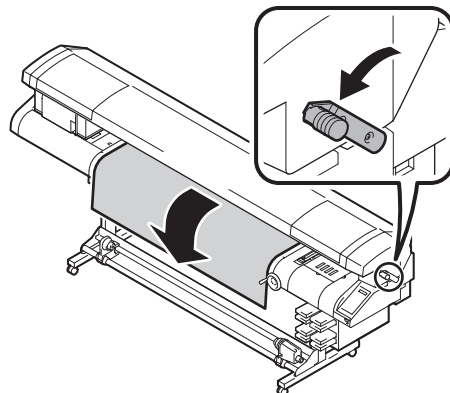


- ロールストップを固定すると、メディアを均等に引き出すことができます。

7

ロールメディアを引き出す

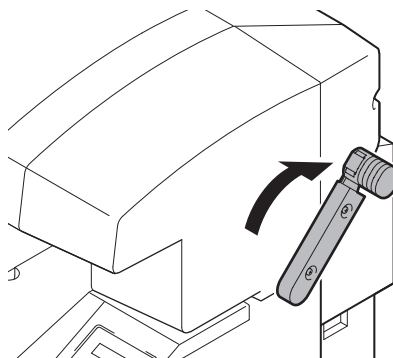
- (1) 本機側面のクランプレバーを手前へ倒す
- (2) ロールメディアを静かに引き出し、ロックのかかる位置で止める



8

ロールメディアを均等に引き出し、クランプレバーを奥へ倒す

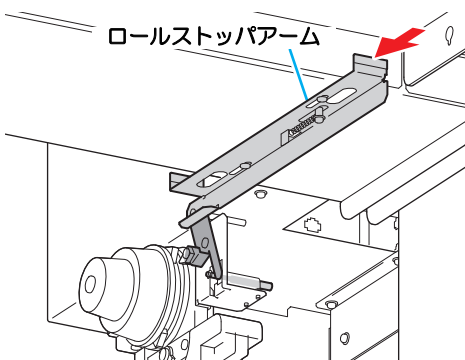
- メディアの数カ所を軽く引っ張り、ロールメディアの引き出し量がほぼ均等になっているのを確認してから、クランプレバーを奥へ倒してください。



9

ロールストップアの固定を解除する

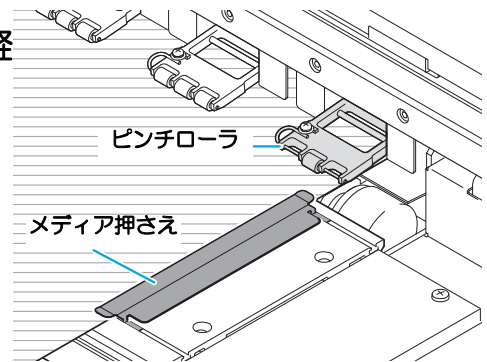
- ロールストップアームをいっばいに押すと、ロールストップアピンが外れ、ロールストップアの固定が解除されます。



10

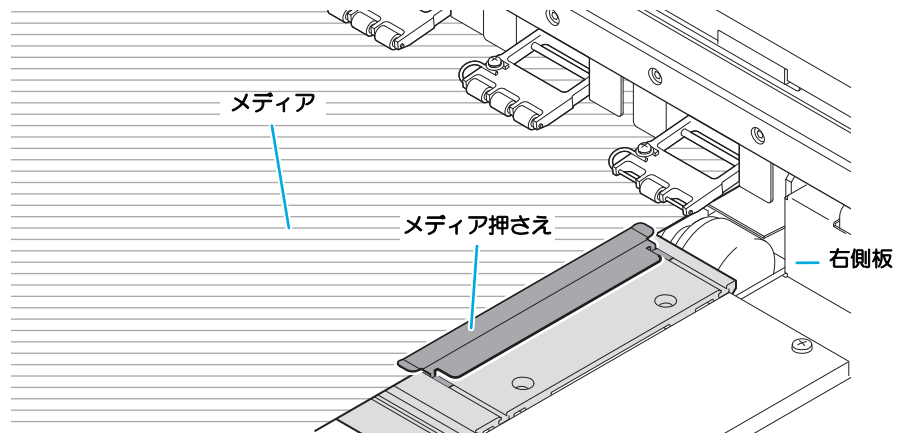
メディア押さえでメディアを軽くはさむ

- 右端のピンチローラより右側にメディアがはみ出さないようにセットしてください。
- 厚いメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外して作図してください。



- 右側板から 55mm 以上内側にメディアをセットしてください。
- メディアが規定位置より右に寄っていると、メディア検出後、右の警告を表示します。この場合はメディアをセットし直してください。

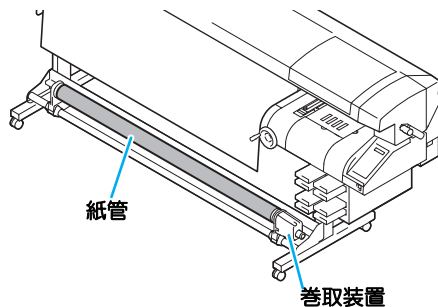
メディアポジション



11

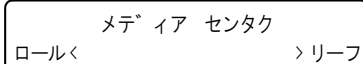
巻取装置を準備する

- 巻取装置に空の紙管をセットします。



12

◀ を押して、“ロール”を選択する



- メディア幅を検出します。



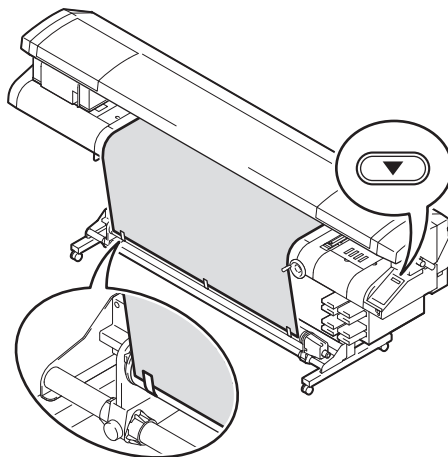
- メディアとヘッドの間隔が広いときは、右の画面を表示し、メディアが検出されません。この場合は、ヘッド高さを低くしてください。(P.2-26)

ERROR 50
メディア ハバ ケンシュツ

13

巻取装置にメディアを固定する

- (1) ▼ を押して、巻取装置の紙管に届くまでメディアをフィードします。
- (2) 粘着テープでメディアの中央を固定します。
- (3) 同様にメディアの左右を固定します。
 - ロールメディアを左右均等に引っ張り、メディアにたるみ、シワが無いことを確認し、テープを貼ってください。



14

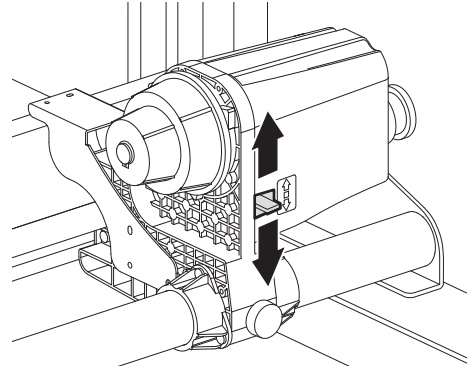
ヘッド高さを調整する

- メディアの厚さに合わせて、ヘッド高さを調整します。(P.2-26)

巻取装置について

巻取装置のスイッチを使って、メディアの巻き取り方向の選択などができます。

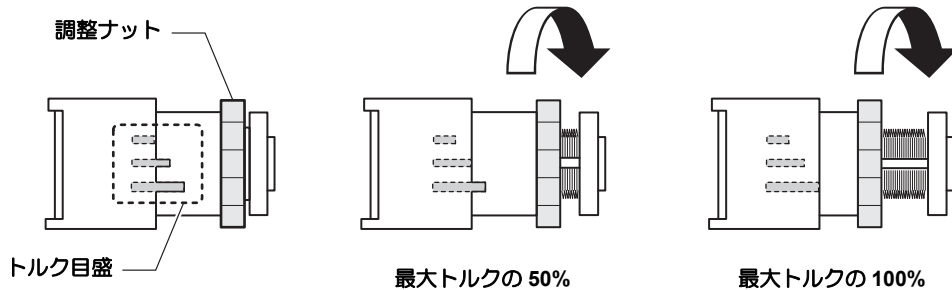
- レバー上 (REVERSE) : 作図面を内側にして巻き取る
- レバー中 (OFF) : 巻き取り動作をしない
- レバー下 (FORWARD) : 作図面を外側にして巻き取る



トルクリミッタを調節する

巻取装置には、トルクリミッタが付いています。トルクリミッタを調整して、巻き取りの強さを変更できます。(工場出荷時は、トルクリミッタを最も強く設定してあります。)
薄いメディアを使用してテンションが強すぎる時は、調節を弱めてください。

- 時計回り : テンションが強くなる (ターポリン等の重量のある厚いメディア)
- 反時計回り : テンションが弱くなる (軽いメディア)



重要!

- トルクリミッタの調節が弱すぎるとメディアを確実に巻き取ることができません。
- トルクリミッタの調節が強すぎるとメディアによってはたるんでしまい、画質に影響する場合があります。

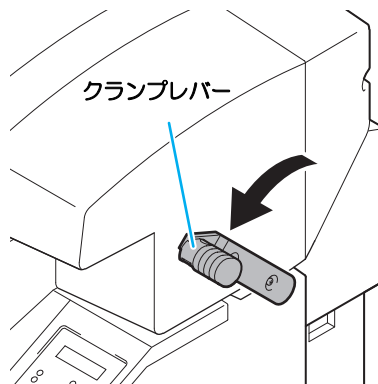
リーフメディアをセットする

リーフメディアは、ロールホルダに固定する必要はありません。

- 重要!** • メディアがYバーに引っかからないよう、あらかじめヘッドを上げておいてください。(☞ P.2-26)

1

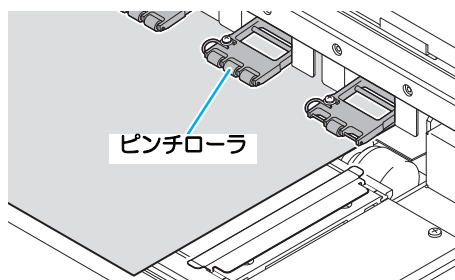
クランプレバーを手前へ倒す



2

リーフメディアをセットする

- 本機の背面から、メディアをピンチローラとプラテンの間に通します。
- 本機の前面から見て、メディアが右端のピンチローラより右側にはみ出さないようにセットしてください。

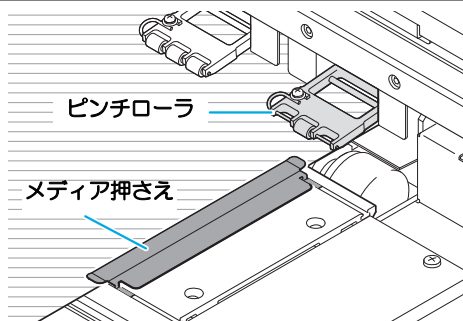


- メディア送り設定で送り方式を [ダイレクト] に設定している場合 (☞ P.3-12) は、メディアがプラテン上のメディアセンサ (右端のピンチローラの真下にあります) にかかるようにセットしてください。

3

メディア押さえでメディアを軽くはさむ

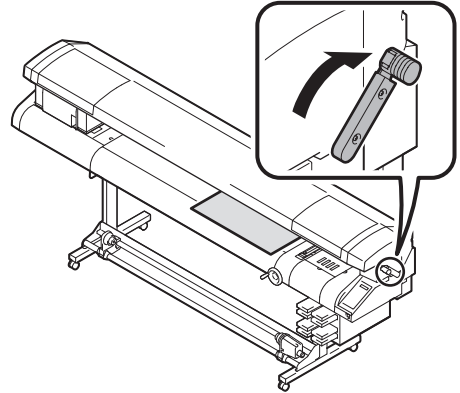
- 厚みのあるメディアを使用する場合は、メディア押さえをメディアから外して作図してください。



4

クランプレバーを奥へ倒す

- メディアはまっすぐにセットしてください。



5

▶ を押して、“リーフ”を選択する



メディア センタク
ロールく > リーフ

6

メディアの検出が始まる

メディア ハバ ケンシュツチュウ
シバ ラク オマチクダ サイ

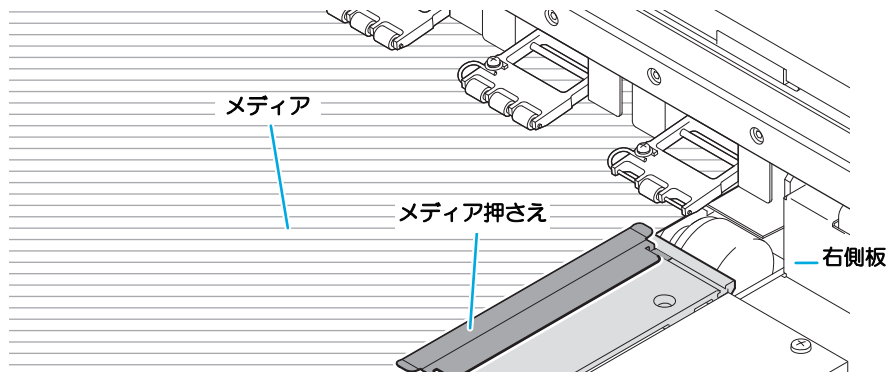
- メディア幅が検出される
- メディアがフィードされ、メディア後端が検出される
- 検出が終わると、<ローカル>が表示される



- メディアとヘッドの間隔が広いときは、右の画面を表示し、メディアが検出されません。この場合は、ヘッド高さを低くしてください。(P.2-26)
- 右側板から 55mm 以上内側にメディアをセットしてください。
- メディアが規定位置より右に寄っていると、メディア検出後、右の警告を表示します。この場合はメディアをセットし直してください。

ERROR 50
メディア ハバ ケンシュツ

メディア ポジ ション



7

ヘッド高さを調整する

- メディアの厚さに合わせて、ヘッド高さを調整します。(P.2-26)

リジッドメディアをセットする

ボードなどの厚いメディア（10mm まで）をセットするときは、本機の前後にサポートテーブルを取り付けます。

重要!

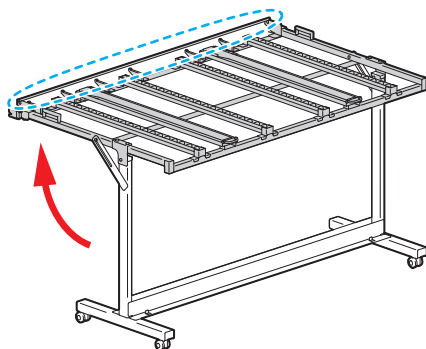
- リジッドメディアがYバーに引っかからないよう、あらかじめヘッドを上げておいてください。(P.2-26)
- 作業は、2人以上で行ってください。
- 別冊「リジッドメディアの上手な使い方」も参照しながらセットしてください。

1

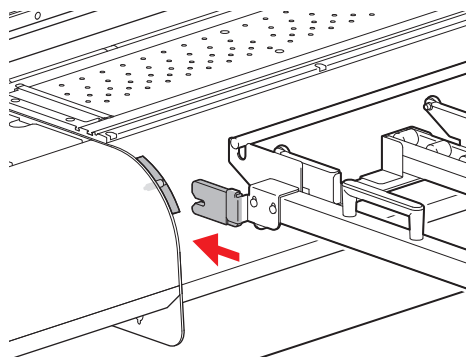
サポートテーブル前（本機前面）をセットする

- 図の○の位置に棒（リジッドメディア押さえ）があるものが、前面用のサポートテーブルです。

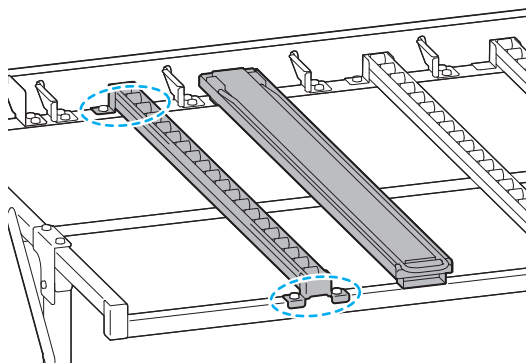
(1) サポートテーブルを、止まる位置まで持ち上げます。



(2) サポートテーブルの左右のフック部を持ち上げながら、本機の左右の穴に差し込みます。

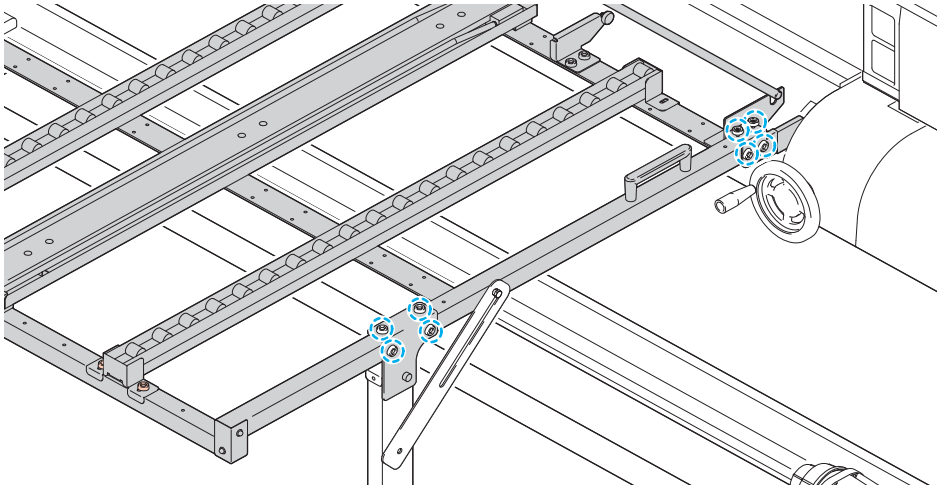


- サポートテーブル上にあるバーとローラは、セットするメディアの幅に合わせて位置を変えることができます。メディアが平らにセットできるよう、位置を調整してください。バーおよびローラの両端にあるネジを外して、メディアに合った位置に取り付けてください。





- メディアを水平にセットするため、サポートテーブルの両側面にあるネジ（片側 8 本ずつ）を調整し、傾きや水平を合わせます。

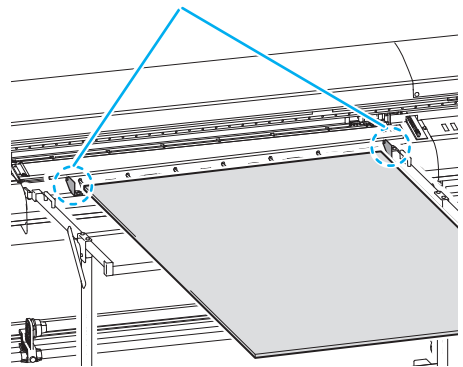


2

リジッドメディア押さえ受け 左/右（本機前面）の位置を調整する

- (1) 使用するメディアを、サポートテーブル前（本機前面）の上に置きます。リジッドメディア押さえ受け右に沿って置いてください。
- (2) リジッドメディア押さえ受け左のネジを外して、メディアの左端に最も近い位置に取り付けます。

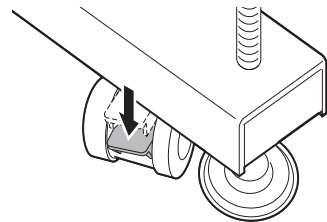
リジッドメディア押さえ受け



- リジッドメディア押さえ受けは、左右ともネジを外して位置を調整できます。上記以外の方法でメディアをセットした場合も、左右のリジッドメディア押さえ受けの中心にメディアが来るよう、リジッドメディア押さえ受けの位置を調整してください。

3

サポートテーブルをセットしたら、 テーブルのキャスタをロックする



2

基本的な使い方

4

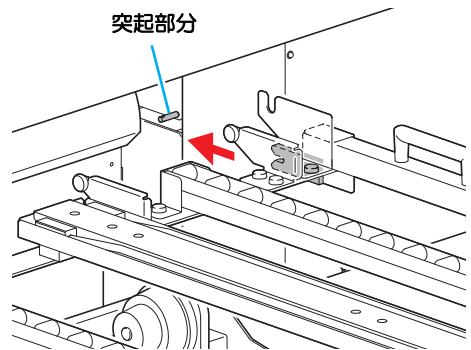
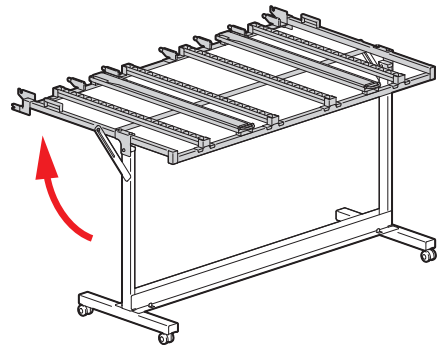
サポートテーブル後（本機背面）をセットする

- 棒（リジッドメディア押さえ）のないものが、背面用のサポートテーブルです。

(1) サポートテーブルを、止まる位置まで持ち上げます。

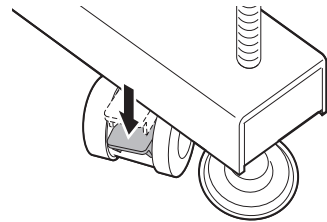
(2) 本機左右の突起部分が、サポートテーブル左右のくぼみの間に来るようセットします。

(3) 台の高さを調節する場合は、サポートテーブル前（本機前面）と同じ要領で調整します。（☞ P.2-21）



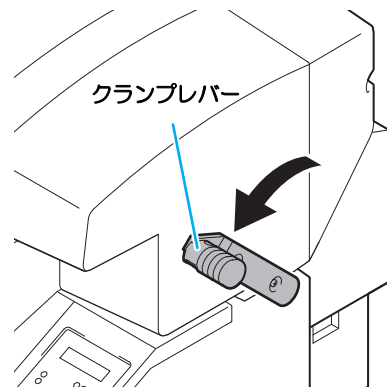
5

サポートテーブルをセットしたら、テーブルのキャスタをロックする



6

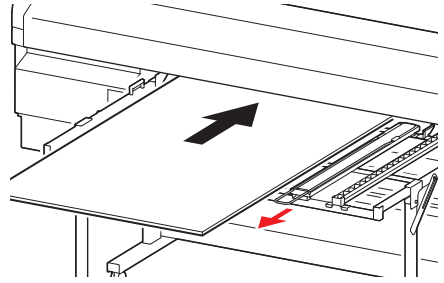
クランプレバーを手前へ倒す



7

リジッドメディアをセットする

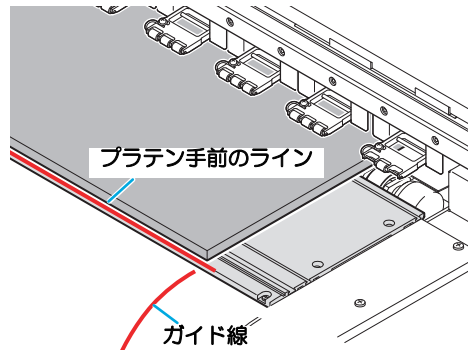
- サポートテーブル前にある、リジッドメディア押さえを外しておいてください。
- 本機の背面から、メディアをピンチローラとプラテンの間に通します。
- 長いメディアの場合は、サポートテーブルの補助バーを引き出して、その上にセットしてください。



8

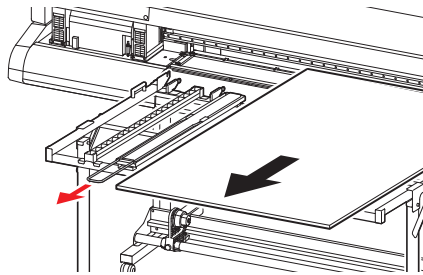
本機の前面から、メディアの位置を調整する

- (1) メディアを前面から引き出します。
- (2) メディアの先端を、プラテン手前のラインに合わせてください。
- (3) メディアの右端は、本体にあるガイド線に合わせてください。



- メディアが右端のピンチローラより右側にはみ出さないようにしてください。
- メディア押さえをメディアから外してください。
- 長いメディアの場合は、サポートテーブルの補助バーを引き出しておいてください。

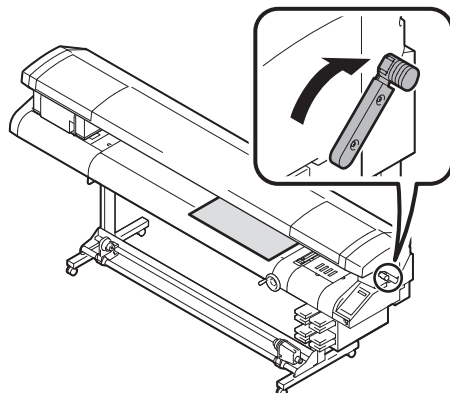
前面



9

クランプレバーを奥へ倒す

- メディアはまっすぐにセットしてください。



10

ヘッド高さを調整する

- メディアの厚さに合わせて、ヘッド高さを調整します。(P.2-26)

11

▼ を押して、“ボード”を選択する



メディア センタク
Vボート

12

メディアの検出が始まる

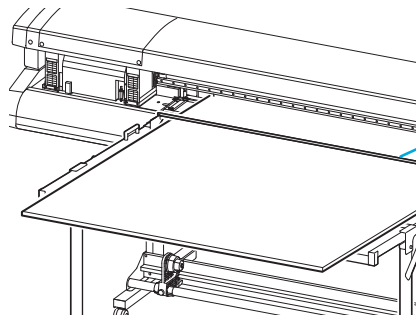
メデ ィア ハバ ケンシュツチュウ
シバ ラク オマチクダ サイ

- (1) メディア幅が検出される
- (2) メディアがフィードされ、メディア後端が検出される
- (3) 検出が終わると、<ローカル>が表示される



- メディアとヘッドの間隔が広いときは、右の画面を表示し、メディアが検出されません。この場合は、ヘッド高さを低くしてください。
(☞ P.2-26)
- 作図をするときに、メディアがサポートテーブルの上に来たら、リジッドメディア押さえをメディアの上にセットし、左右の受け台に置いてください。リジッドメディア押さえは、メディアの浮き上がりを防止します。

ERROR 50
メデ ィア ハバ ケンシュツ



リジッドメディア押さえ

ヘッド高さを調整する

お使いになるメディアの厚さに合わせて、ヘッド高さを調節してください。

1

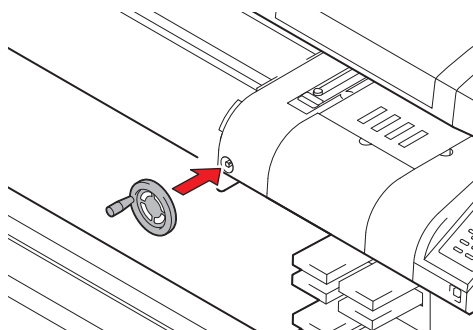
メディアをセットする

- メディアをセットします。(P.2-12、P.2-18、P.2-20)

2

Yバー上下ハンドルを取り付けて、右に回す

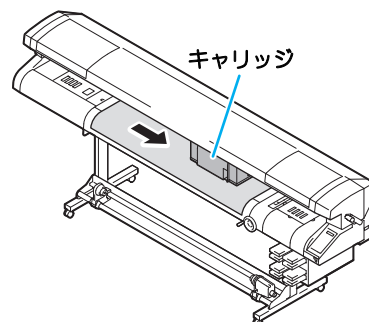
- ハンドルを右に回して、セットしたメディアよりもYバーを上げます。



3

キャリッジをプラテン上に移動する

- 電源オン時
ジョグキー(←)(→)でキャリッジを動かします。
- 電源オフ時
手でキャリッジを動かします。



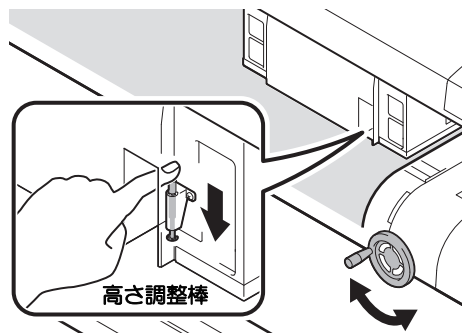
重要!

- キャリッジを動かすときは、ハンドリング部位を押してください。(P.2-27)

4

高さ調整棒でYバーの高さを調整する

- 高さ調整棒を押しながら、棒の先端がメディア表面に触れる位置に来るまで、Yバー上下ハンドルを回して調整します。
- Yバー上下ハンドルを右へ回すとYバーが上がり、左へ回すとYバーが下がります。

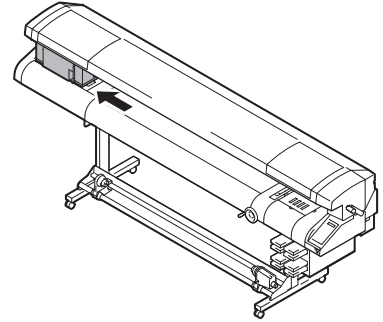


- メディアに浮きが無いよう、注意してください。

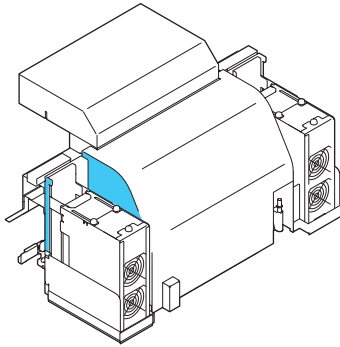
5

キャリッジを元の位置に戻す

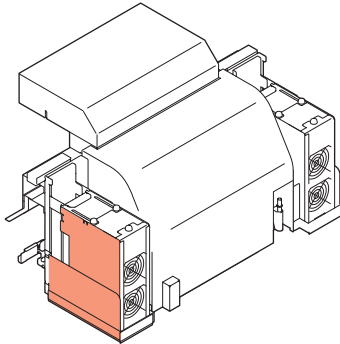
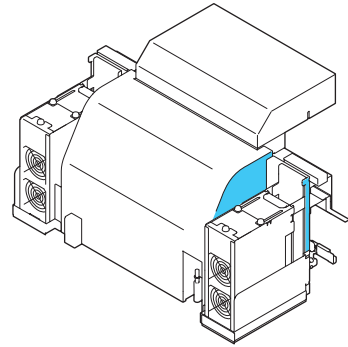
- 電源オン時
END キーでキャリッジを戻します。
- 電源オフ時
 ハンドリング部位を持ってキャリッジを動かします。

**重要!**

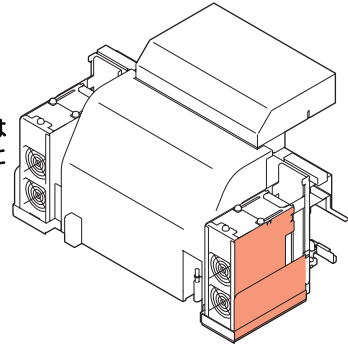
- ヘッドユニットはとても繊細です。ヘッドユニットを動かすときは、以下に示したハンドリング部位を押してください。



OK
 図の部位を
 押す



NG
 図の部位には
 触れないこと



2

基本的な使い方

メディア幅を検出する

「メディア幅の設定をする」(P.3-18)の設定内容によって、メディアの検出方法が変わります。「メディアハバ」の設定値が 100 ~ 1620mm の場合、「メディア検出方法 (幅自動検出)」の手順でメディアを検出してください。
お買い上げ時「メディアハバ」の設定値は”オート”で、自動で幅検出を行います。
(ファームウェア Ver.2.00 以降に対応)

メディア検出方法 (幅自動検出)

1

セットしたメディアに合わせて、ジョグキー(◀▶)を押す

メディア センタク
ロール< >リーフ

2

メディア幅の自動検出を開始する

メディア ハバ ケンシュツチュウ
シバ ラク オマチクタ サイ

- ・ 検出動作が終わるまでしばらくお待ちください。
- ・ “リーフ”を選択した場合、続けてメディアの後端検出を行います。

3

検出したメディアのサイズを表示する

** メディア **
X=***** y=*****

- ・ しばらくすると、ローカルモードに戻ります。

メディア検出方法（幅手動検出）

1

セットしたメディアに合わせて、ジョグキー(◀▶)を押す

```
メディア センタク
ロール<                >リーフ
```

2

メディア右端の位置を指定する

```
メディア ハバ ケンシュツ
ミキ ハシ イチ シテイ      :ent
```

- (1) ◀▶を押して、キャリッジの ORIGIN マークをメディアの右端に合わせる
- (2) ENTERを押す



- キャリッジが退避位置にあるとき、ENTER キーを押すと自動でメディアの右端検出動作を行います。

3

メディア左端の位置を確認する

```
メディア ハバ      = 1600mm
ヒタ リハシ イチ カクニン  :ent
```

- (1) 「メディア幅の設定をする」(P.3-18) で設定したメディア幅をもとに、キャリッジがメディアの左端へ移動する
- (2) キャリッジの ORIGIN マークがメディアの左端にあることを確認し、ENTERを押す
- (3) メディアの左端からずれていた場合、◀▶を押してキャリッジを移動する(表示のメディア幅も変わる)



- “リーフ”を選択した場合、続けてメディアの後端検出を行います。
- プラテン上で位置を設定した場合。プラテンに印刷する場合があります。

4

セットしたメディアのサイズを表示する

```
** メディア **
X=***** y=*****
```

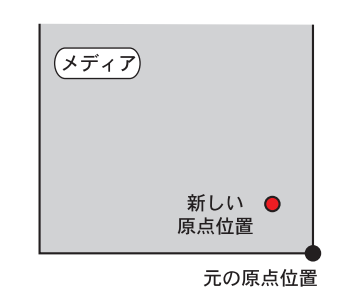
- しばらくすると、ローカルモードに戻ります。

2

基本的な使い方

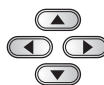
原点を変更する場合

作図開始位置（原点）を変更することができます。



1

<ローカル>表示のとき、
▲▼◀▶のいずれかを押す

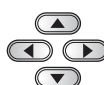


<ローカル, 1 >

- 原点設定画面になります。

2

▲▼◀▶のいずれかを押して、ヘッドを移動する



ゲンテン セッテイ
500.0 600.0
原点位置 (前後) 原点位置 (左右)

- 設定したい位置にヘッドを移動して、原点を設定します。



- 本体にある ORIGIN マークを目印にして、原点を設定してください。

3

ENTER キーを押す



ゲンテン セッテイ
** ゲンテン **

- 原点が変更されます。

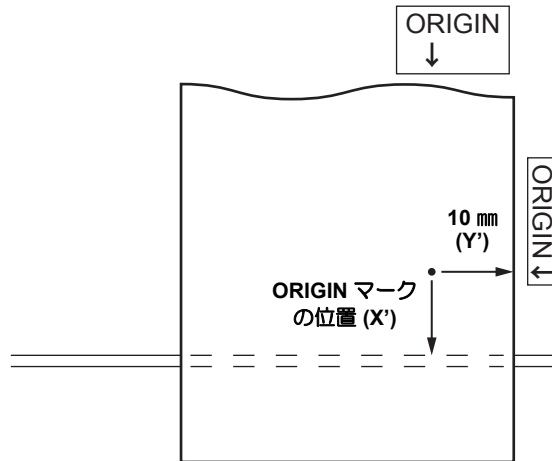


- ここで設定した原点の設定は、電源を切るとクリアされます。

原点設定位置の目安

奥行方向 (X') の作図開始位置 (原点) は、ORIGIN マークの位置になります。
横方向 (Y') は、メディア右端より 10 mm です。セッテイメニューの「マージン」で変更できます。また、ジョグキーを使って変更することもできます。

本体 2 箇所にある ORIGIN マークを目印に、X' と Y' それぞれの原点位置を設定してください。



ヒータの準備をする

使用するメディアに合わせて、ヒータ温度を設定します。

ヒータの温度設定を変更する

ヒータの温度設定は、セッテイモードの「ヒーター」で変更できます。

(☞ 3-11 ページ「ヒータの温度設定を変更する」)

- お買い上げ時、ヒータの温度設定は "OFF" になっています。
- 作図中にも温度の調整ができるため、適切な温度調整ができます。
- 周囲の温度により、設定した温度に到達するまでに数分から数十分かかることがあります。

1

<ローカル> 表示の時、
HEATER キーを押す

<ローカル, 1 >

2

HEATER キーを押す

PRE PRT
35°C 40°C

ヒーター温度確認画面

3

▲ ▼ ◀ ▶ を押して、
各ヒータの温度を設定し、
ENTER キーを押す

- ◀ ▶ でヒータを選択する
- ▲ ▼ で温度を設定する

設定温度 : 20 ~ 50 °C

40°C 40°C
(OFF OFF)

[セッテイ]のタイプ毎の[ヒーター]で
設定されている温度

4

ヒータの加熱が開始される

- [HEAT] ランプがオレンジ色に点灯します。

5

ヒータの加熱が終了する

- ヒータが設定温度に達すると、[HEAT] ランプが消灯し、[CONSTANT] ランプが緑色に点灯します。

6

ENTER を押して終了する



- あらかじめ、お使いになるメディアに合わせてヒータの温度を登録できます。
☞ P.3-6「作図条件をまとめて登録する」
 - ここで設定した温度は、タイプ登録のヒータの設定値には反映されません。電源をオフにするか、以下の条件で新しく温度を変更するまで継続します。
 - (1) セッテイモードのタイプを変更する
 - (2) セッテイモードのヒータ温度を変更する
 - (3) コンピュータからヒータの温度を指定する
 - お使いのRIPが、ヒータの温度をコントロールできる機能を搭載している場合は、RIP側でコントロールすることができます。(設定方法は、お使いのRIPの取扱説明書をご覧ください。)
- 重要!** • 本装置は、20～35℃の環境で使用してください。周囲の温度条件により、設定値まで温度が上昇しない場合があります。

ヒータの温度を確認する

1

<ローカル>表示の時、
HEATER キーを押す

<ローカル, 1 >

2

現在のヒータ温度を確認する

PRE	PRT
40°C	50°C

3

END を押して終了する

- <ローカル>表示になります。

2

基本的な使い方

テスト作図をする

テスト作図を行い、ノズル詰まりなどによるかすれや抜けがないか確認します。



- 次のようなメッセージが表示されている場合は、作図ができません。しばらくして、メッセージが消えてから作図してください。
- “オンスイ ジュンビチュウ”: 温水ユニットの温水が一定温度に達していない

テスト作図の前に確認してください	• メディアをセットしているか P.2-12	• 原点位置をセットしているか P.2-30
------------------	---------------------------	---------------------------

1

<ローカル> 表示のとき、
 キーを押す

<ローカル. 1 >

2

を押して [ノズル
チェック] を選び、 キー
を押す

テスト サクス^{*}
ノズ^{*}ルチェック <ENT >

- [コウカチェック] を選ぶと、UV インクが固まっていないか (硬化) を確認できます。(P.3-4)

3

テスト作図が開始される

- 作図したパターンのインクを硬化するため、UV 照射のみのスキャン動作が入ります。(P.3-23)

** テスト サクス^{*} **

4

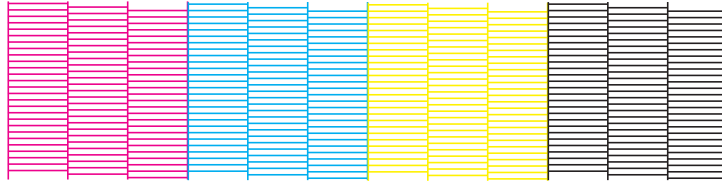
テスト作図が終了する

- <ローカル> 表示になります。

5

作図結果を確認する




- 正常な場合は、データを作図できます。(P.2-38)
- 異常があった場合は、ヘッドクリーニングをしてください。(P.2-36)
- 必要に応じて、原点位置を調整してください。(P.2-30)



正常なパターン	異常なパターン		
	たくさんの線が抜けている	線が歯抜けしたように欠けている	線の間隔が詰まったり二重になっている


ヘッドクリーニングをする

テスト作図の結果が正常でない場合は、ヘッドクリーニングをしてください。ヘッドクリーニングには、次の3種類があります。

ノーマル	テストパターンを作図したとき、線の抜けが10数本のときに使用します。	 P.2-36
ワイピング	テストパターンを作図したとき、線の抜けが数本のときに使用します。ワイパによるワイピングのみ行います。	 P.2-37
ハード	「ノーマル」で線の抜けが改善しないときに使用します。	 P.2-36

“ノーマル”または“ハード”でクリーニングするとき

1

<ローカル> 表示のとき、
 キーを押す

<ローカル. 1 >

2





  でクリーニングタイプ
を選択し、 キーを押す

クリーニング*
タイプ* : ハート*

3

ヘッドを選び、クリーニングする/しないを設定する

クリーニング*
ヘッド* : M M  Y Y K K

- (1)   でヘッドを選ぶ
(2)   でクリーニングする/しないを選ぶ

クリーニング*
ヘッド* : M M * C Y Y K K

- 全てのヘッドに対して、クリーニングする/しないを選択してください。
クリーニングする : セットされているインクカートリッジの色を表示
クリーニングしない: “*”を表示

4

 キーを押す

- クリーニングを開始します。
- クリーニングが終了すると、<ローカル> 表示になります。


5


テスト作図を行い、作図結果を確認する ( P.2-34)

- 作図結果が正常になるまで、クリーニングとテスト作図を繰り返してください。




“ワイピング”でクリーニングするとき

1

<ローカル> 表示のとき、
 キーを押す



2





  で“ワイピング”を選択し、
 キーを押す



3

ヘッドを選び、クリーニングする / しないを設定する




- (1)   でヘッドを選ぶ
 (2)   でクリーニングする / しないを選ぶ





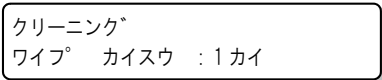
- 全てのヘッドに対して、クリーニングする / しないを選択してください。
 クリーニングする : セットされているインクカートリッジの色を表示
 クリーニングしない : “*” を表示

4


 キーを押す

5

  でワイピングの回数
 (1 ~ 9 回) を選択する



6

 キーを押す

- クリーニングを開始します。
- クリーニングが終了すると、<ローカル> 表示になります。

7

テスト作図を行い、作図結果を確認する

- 作図結果が正常になるまで、クリーニングとテスト作図を繰り返してください。



- ヘッドクリーニングを繰り返しても作図結果が改善されない場合は、ワイパのクリーニングをする必要があります。P.4-28「ワイパのクリーニング」を参照してください。
- ワイパのクリーニングをしてからヘッドクリーニングを繰り返しても作図結果が改善されない場合は、サブタンクメンテナンスを行ってください。P.4-24

2

基本的な使い方

データを作図する

作図を開始する



- 温水ユニットの温度が一定温度になっていない場合は、メッセージを表示します。この場合は作図できません。表示が消えると、作図ができます。



- 上記のメッセージが表示されていても、データは送信できます。エラー表示が消えてから、作図が始まります。

1

メディアをセットする (👉 P.2-12)

2

ロールメディアへの作図時は、ヒータの温度を確認する

- 操作パネルの CONSTANT ランプが点灯していることを確認してください。

3

<ローカル> 表示のとき、
REMOTE キーを押す

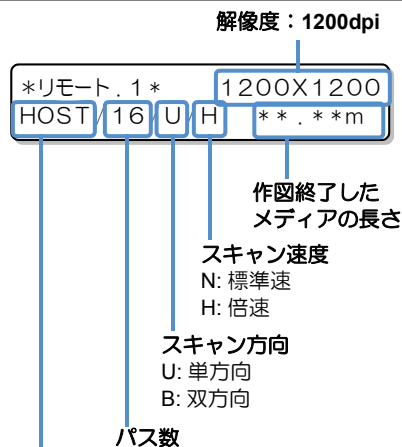
<ローカル. 1>

- <リモート> が表示され、コンピュータからのデータを受信できるようになります。

4

コンピュータから作図する
データを送信する

- 作図条件を表示します。
- データの送信方法については、お使いのソフトウェアの取扱説明書をお読みください。



優先順位を " ホスト " に設定 : "HOST" と表示
優先順位を " パネル " に設定 :
プリント品質 (STD/FINE/FAST) を表示

5

作図が開始される

- 作図原点は、作図が終了しても変更されません。

6

作図終了後、メディアを取り外す

- メディアをカットする場合は、  キーでメディアを手前に引き出し、はさみ等でカットしてください。(ブラテン上ではカットしないでください。本機を傷めます。)

作図を中止する

途中で作図を中止する場合、作図動作を止め、すでに受信したデータを本機から消去します。

1

作図中に **REMOTE** キーを押す

*リモート. 1 *

2.5 mm

- 作図動作を中止します。
- コンピュータからデータを送信している場合は、コンピュータ側でデータ送信を止めます。

2

DATA CLEAR キーを押す

<ローカル. 1 >

3

ENTER キーを押す

データクリア


<ENT >

- 受信データを消去し、< ローカル > 表示に戻ります。


2

基本的な使い方

サブタンクメンテナンスをする

サブタンク関連のエラー（ P.5-6 エラー 148）が発生した場合、またはクリーニングでノズル詰まりが解消しない場合に、実行してください。

1

<ローカル> 表示のとき、
 キーを押す




```
<ローカル. 1 >
```

2

  を押して [メンテナ
 ンス] を選び、 キーを
 押す


```
FUNCTION  
メンテナンス <ENT >
```

3






  を押して [サブタン
 クメンテナンス] を選び、
 キーを押す

```
メンテナンス  
サブ タンク メンテナンス <ent >
```


4

サブタンクメンテナンスする/
 しないを設定して、
 キーを押す

```
サブ タンク メンテナンス  
ヘッド* : **C**Y**
```

- (1)   でヘッドを選ぶ
 - (2)   でサブタンクメンテナンスする/しないを選ぶ
- ・エラー 148 が発生した場合には、該当するヘッドが選択されていますので、そのまま  キーを押してください。

5

 キーを押す

- ・サブタンクメンテナンスを開始しま
す。

```
サブ タンク メンテナンス  
シ ッコウ : ent
```

第3章 便利な使い方



この章では ...

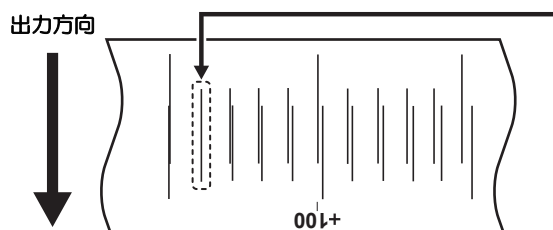
本機をより便利に使うための操作方法や、各種設定方法について説明しています。

ドットの位置がずれたら	3-2	マシン設定	3-20
UV 硬化が弱くなったときの		時刻設定	3-20
チェック方法	3-4	情報	3-21
作図条件をまとめて登録する	3-6	電源電圧の確認	3-22
作図条件を設定する	3-7	パターン硬化スキャンの設定	3-23
メディア補正を設定する	3-9	紙幅センサの感度設定	3-24
ヒータの設定値を変更する	3-11	その他の便利な機能	3-25
ヒータの温度設定を変更する	3-11	表示する言語を切り替える	3-25
メディア送りを設定する	3-12	データクリア	3-25
作図方式を設定する	3-13	本機の情報を表示する	3-26
UV LED の光量を設定する	3-15		
メディアの吸着力を設定する	3-16		
優先順位の設定をする	3-17		
メディア幅の設定をする	3-18		
設定を初期状態に戻す	3-19		

ドットの位置がずれたら

ご使用になるメディアの厚みやヘッドの高さ、インクの種類、印刷するデータのドットサイズが変わったときは、次の操作をして双方向（Bi）作図時のインクの落下位置を補正し、適正な作図結果を得られるようにしてください。

パターン作図例



プラス方向に 140 の目盛りが直線で表示されています。
この場合のドット位置補正值は 140 です。

1

メディアをセットし、作図原点を設定する (☞ P.2-12)

- パターン作図をするには、幅 500mm× 送り 400mm 以上の大きさのメディアが必要です。

2

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1>

3

▲▼ を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

4

▲▼ を押して [ドットイチホセイ] を選び、
ENTER キーを押す

メンテナンス
ドットイチホセイ <ent>

5

▲▼ を押して解像度を選び、**ENTER** キーを押す

ドットイチホセイ
DPI: 600

- 解像度：300、600、1200

6

▲▼を押してモードを選び、ENTERキーを押す

ドット イチ ホセイ
モード : ノーマル

- モード : ノーマル、コウソク

7

▲▼を押してドットサイズを選び、ENTERキーを押す

ドット イチ ホセイ
ドットサイズ Large : 4

- オンライン印刷で印刷するデータの、Large のドットサイズを指定します。
ドットサイズ : 1 ~ 12

8

ENTERキーを押して、パターン作図を開始する

ドットイチホセイ
サクス カシ : ent

- テストパターンを作図します。

9

▲▼を押して、選択したモードのドット位置を補正する

ドット イチ ホセイ
600dpi / ノーマル / 4 : 0

- 補正值 : -400 ~ 400
- テストパターンを確認し、往路と復路が 1 本の直線になっている位置が補正值となります。
- 補正值が -400 ~ 400 の間がない場合は、ヘッドの高さを調整後、手順 2 から操作をし直してください。

10

ENTERキーを押す

11

ENDキーを押して終了する

3

便利な使い方

UV 硬化が弱くなったときのチェック方法

UV LED の消耗にともない、インクの硬化が弱くなる場合があります。
硬化チェックでインクの硬化度をチェックし、必要に応じて UV LED の光量を変更することができます。

1 作図パターン用にメディアを
セットする

2 <ローカル> 表示のとき、
TEST DRAW キーを押す

<ローカル. 1>

3 ▲▼ を押して [コウカ
チェック] を選び、
ENTER キーを押す

テスト サクス^{*}
コウカチェック <ENT>

4 ▲▼ を押して解像度を選
び、ENTER キーを押す

コウカチェック
DPI : 1200 X 1200

- ・ 設定値 : 300 x 300 dpi, 600 x 300 dpi, 600 x 600 dpi, 600 x 900 dpi, 1200 x 600 dpi, 1200 x 900 dpi, 1200 x 1200 dpi

5 ▲▼ を押して作図品質を
選び、ENTER キーを押す

コウカチェック
サクス^{*} ヒンシツ : キレイ

- ・ 設定値 : ヒョウジュン、キレイ、ハヤイ

6 ▲▼ を押し、スキャン方
向を選ぶ

コウカチェック
スキャンホウコウ : Y オウフク

- ・ 設定値 : Y オウロ、Y フクロ、Y オウフク

7 ENTER キーを押す

** テスト サクス^{*} **

- ・ テスト作図を開始します。

重要!

- ・ 温水ユニットの温度が一定温度になっていない場合は、メッセージを表示します。この場合は作図できません。表示が消えると作図できます。

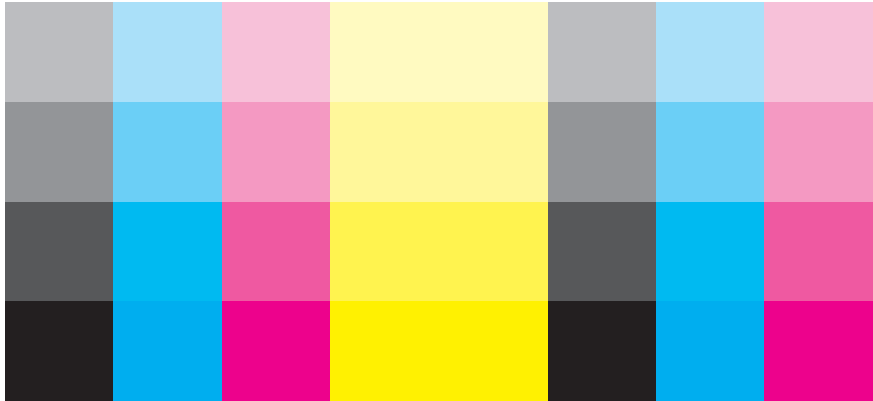
8

テスト作図終了後、作図パターンをチェックする

- UV 光量が弱くなっている場合は、良質なパターンを作図できません。その場合は P.3-15 「UV LED の光量を設定する」で光量を変更した後、再度テスト作図をしてください。

重要!

- UV 光量を変更しても変化がない場合は、UV ランプが消耗しています。弊社サービスおよび販売店にサービスコールしてください。



作図条件をまとめて登録する

本機では、タイプ（1～4）ごとに作図条件を登録できます。
お使いになるメディアに合わせた作図条件をタイプに登録しておけば、違う種類のメディアに交換したときなど、タイプを変更するだけで最適の作図条件を設定できます。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1 >

2

ENTER キーを押す

FUNCTION
セッテイ

<ENT >

3

▲ **▼** を押してタイプ1～4
を選び、**ENTER** キーを押す

セッテイ
センタク

: タイプ° 1

4

項目を選び、設定する

- ・ 設定項目については、3-8 ページの「設定一覧表」を参照してください。

作図条件を設定する

使い方に合わせて設定を変えてください。

- 1** <ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す <ローカル. 1>
- 2** **ENTER** キーを押す FUNCTION
セッテイ <ENT>
- 3** **▲** **▼** を押してタイプ (1
~ 4) を選び、**ENTER** キーを
押す セッテイ
センタク : タイプ° 1
- 4** **▲** **▼** を押して設定する項
目を選び、**ENTER** キーを押す [1]
UVスキャン ツイカ <ent>
 - ・ 設定一覧表を参照して選択してください。
- 5** **▲** **▼** を押して項目を選び、
ENTER キーを押す [1] UVスキャン ツイカ
セッテイ : 0カイ
 - ・ 設定一覧表を参照して選択してください。
- 6** **END** キーを押して終了する



- ・ 設定内容は、電源を切ってもクリアされません。

設定一覧表

作図条件の設定は次の通りです。お買い上げ時は、下線の設定になっています。
 ここでの設定は、「タイプ」にも登録できます。

項目		設定値	説明	
メディアホセイ (☞ P.3-9)		-9999 ~ <u>0</u> ~ 9999	メディアの送り量を補正するためのパターンを作図し、補正します。	
メディアオクリセットイ (P.3-12)	オクリホウシキ	<u>ノーマル</u> /ダイレクト	メディア送りに関する設定をします。	
ヒーター (☞ P.3-11)	オンドセッテイ	プリヒート	<u>OFF</u> /20 ~ 50 °C (OFF/68 ~ 122°F)	ヒータの状態を設定します。
		プリントヒート	<u>OFF</u> /20 ~ 50 °C (OFF/68 ~ 122°F)	
サクズホウシキ (☞ P.3-13)	サクズヒンシツ	<u>ヒョウジュン</u> /キレイ/ハイ	作図品質、作図方向を設定します。	
	スキャンホウコウ	ソウホウコウ/ <u>タンホウコウ</u>		
	ロジカルシーク	<u>ガソウ</u> /OFF		
	シロカサネサクズ	ON/ <u>OFF</u>		
UV コウリョウ (☞ P.3-15)		<u>ツヨイ</u> /ヒョウジュン/ <u>ヨワイ</u> /ナシ/ <u>インサツナシ</u>	UV LED の光量を設定します。	
UV スキャンツイカ		<u>0</u> ~ 9	作図終了後、画像の末端部分に UV を照射して硬化させるための、UV スキャンの回数を追加します。	
カサネヌリ		<u>1</u> ~ 9	インクの重ね塗りをします。	
マージン	ヒダリ	-10 ~ <u>0</u> ~ 85	メディアの左右の余白を設定します。	
	ミギ	-10 ~ <u>0</u> ~ 85		
リフレッシュ		レベル 0, 1, 2, 3	作図中および待機中に、インクヘッドのリフレッシュを行います。	
キュウチャク (☞ P.3-16)		OFF/ <u>ヨワイ</u> / <u>ヒョウジュン</u> / <u>ツヨイ</u>	メディアを吸着させるときの強さを設定します。 (ファームウェア Ver.1.80以降に対応)	
ユウセンジュンイ (☞ P.3-17)		<u>ホスト</u> /パネル	作図方式、重ね塗りについて、優先する設定を決定します。	
メディアケンシュツ	ケンシュツホウホウ	<u>セレクト</u> /ハバ	メディアの検出方法を設定します。	
	メディアハバ	<u>オート</u> / 210 ~ 1620mm	メディア幅を設定します。(☞ P.3-18) (ファームウェア Ver.2.00以降に対応)	
セッテイリセット (☞ P.3-19)		-	設定を初期化します。	

メディア補正を設定する

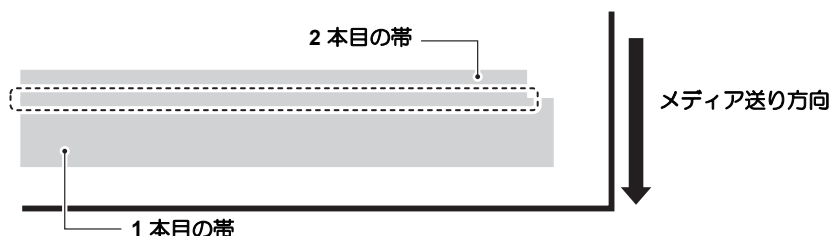
メディアの種類を交換したり、ヒータの温度を変更したときは、メディアの送り量を補正してください。

補正值が適切でないと、作図した画像に縞が入るなど、きれいに作図できない場合があります。

重要!

- ヒータの温度を変更した場合は、[CONSTANT] ランプが点灯し、設定した温度に達していることを確認してから補正してください。
- ロールメディアをご使用の場合、メディア補正を終了すると、作図原点位置までメディアが戻り、本機の背面にあるロールメディアにたわみが生じます。作図の前にロールメディアを手で巻き戻し、たわみのない状態にしてください。たわみがあると画質不良の原因になります。
- 巻取装置を使用する場合、作図の前に、メディアをセットした状態でメディア補正を行ってください。

補正パターン



- 補正パターンでは2本の帯を作図します。
- 2本の帯の境が均等の濃さになるように調整してください。

1

メディアをセットする
(☞ P.2-12)

2

<ローカル> 表示のとき、
[FUNCTION] キーを押す

<ローカル. 1 >

3

[ENTER] キーを押す

FUNCTION
セッテイ

<ENT >

4

▲ ▼ を押してタイプ (1
~ 4) を選び、[ENTER] キーを
押す

セッテイ
センタク : タイプ° 1

3

便利な使い方

5

ENTER キーを 2 回押して、補正パターンを作図する

```
[1]
メテ ィア ホセイ      <ent>
```

- 作図したパターンのインクを硬化するため、UV 照射のみのスキャン動作が入ります。(P.3-23)

6

補正パターンを確認し、
▲ **▼** キーで補正值を入力する

```
[1]メテ ィア ホセイ
ホセイチ      = 0
```

- " + " : 2 本の帯の間隔が広がります。
- " - " : 2 本の帯の間隔が近づきます。
補正值を "10" 変更することにより、約 0.1mm 帯が移動します。

7

END キーを押して終了する

ヒータの設定値を変更する

ヒータの温度設定を変更する

ここでは、「オンドセッテイ」の各項目の設定をします。

オンドセッテイ

プラテン内に内蔵されているプリヒータ・プリントヒータの設定温度を変更します。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1 >

2

ENTER キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

3

▲ **▼** を押してタイプ (1
~ 4) を選び、**ENTER** キーを
押す

セッテイ
センタク : タイプ 1

4

▲ **▼** を押して [ヒーター]
を選び、**ENTER** キーを 2 回押
す

[1]
ヒーター <ent>

5

各ヒータの温度を設定して、
END キーを押す

- (1) **◀** **▶** でヒータを選択する
- (2) **▲** **▼** で温度を設定する

PRE PRT
35° C 40° C

設定温度 : 20 ~ 50 °C

6

END キーを押して終了する

3

便利な使い方

メディア送りを設定する

メディア送りに関する設定をします。

1 <ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1>

2 **ENTER** キーを押す

FUNCTION
 セッテイ <ENT>

3 **▲** **▼** を押してタイプ (1
 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを
 押す

セッテイ
 センタク : タイプ° 1

4 **▲** **▼** を押して [メディア
 オクリセッテイ] を選び、
ENTER キーを 2 回押す

[1]
 メデ ィア オクリ セッテイ <ent>

5 **▲** **▼** を押して項目を選び、
ENTER キーを押す

[1] オクリ ホウシキ
 セッテイ : ノーマル

• 項目については、下記の表を参照してください。

6 **END** キーを押して終了する

項目		説明
オクリホウシキ	ノーマル	モーターエンコーダによる送り制御
	ダイレクト	モーターエンコーダによる送り制御 + メディアエンコーダによる位置検出

作図方式を設定する

作図に関する設定をします。

- 1** <ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す <ローカル. 1>
- 2** **ENTER** キーを押す FUNCTION
セッテイ <ENT>
- 3** **▲** **▼** を押してタイプ (1
~ 4) を選び、**ENTER** キーを
押す セッテイ
セクタク : タイプ° 1
- 4** **▲** **▼** を押して [サクズホ
ウシキ] を選び、**ENTER** キー
を押す [1]
サクズ° ホウシキ <ent>
- 5** **▲** **▼** を押して設定する項
目を選び、**ENTER** キーを押す [1]サクズ° ホウシキ
サクズ° ヒンシツ <ent>
 - ・ 設定項目については、次ページの表を参照してください。
- 6** **▲** **▼** を押して項目を選び、
ENTER キーを押す [1]サクズ° ホウシキ
サクズ° ヒンシツ : ヒョウジ° ユン
 - ・ 項目については、次ページの表を参照してください。
- 7** **END** キーを押して終了する

項目		説明
サクズ ヒンシツ	ヒョウジュン	標準的な作図品質
	キレイ	高品質な作図をしたいとき（作図スピードは遅くなります）
	ハイ	速く作図したいとき（画質はやや劣ります）
スキャン ハウコウ	ソウハウコウ	作図でヘッドがメディア上を移動するとき、左右両方から作図します。（“タンハウコウ”より速く作図ができます）
	タンハウコウ	作図でヘッドがメディア上を移動するとき、一方向から作図します。（より高品質な作図ができます）
ロジカル シーク	ガソウ	作図するデータ幅に合わせて、ヘッドが移動します。
	OFF	作図するときは、作図幅いっぱいにヘッドが移動します。
シロカサネ サクズ	ON	白データが送られた場合に、白とカラーを重ねて印刷します。
	OFF	白データが送られた場合に、白とカラーを同時に印刷します。

UV LED の光量を設定する

UV LED を点灯させたくないときに設定します。

1 <ローカル> 表示のとき、**FUNCTION** キーを押す

<ローカル. 1>

2 **ENTER** キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

3 **▲** **▼** を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、**ENTER** キーを押す

セッテイ
センタク : タイプ° 1

4 **▲** **▼** を押して [UV コウリョウ] を選び、**ENTER** キーを押す

[1]
UV コウリョウ <ent>

5 **▲** **▼** を押して光量を選び、**ENTER** キーを押す

[1] UV コウリョウ
セッテイ : ツヨイ

・ 選択項目については、下記の表を参照してください。

6 **END** キーを押して終了する

項目	説明
ツヨイ	100%の照度で UV LED が点灯します。
ヒョウジュン	75%の照度で UV LED が点灯します。
ヨワイ	50%の照度で UV LED が点灯します。
ナシ	作図時、UV LED は点灯しません。
インサツナシ	作図は行わずに、UV LED だけ点灯させます。作図時に UV LED を点灯させなかったときなどに、後から硬化させたいときに使用します。(通常は設定しません)

メディアの吸着力を設定する

メディアの吸着力を変えたいときに設定します。(ファームウェア Ver.1.80 以降に対応)

1 <ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1 >

2 **ENTER** キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT >

3 **▲** **▼** を押してタイプ (1
~ 4) を選び、**ENTER** キーを
押す

セッテイ
センタク : タイプ° 1

4 **▲** **▼** を押して【キュウ
チャク】を選び、**ENTER** キー
を押す

[1]
キュウチャク <ent >

5 **▲** **▼** を押して吸着力を選
び、**ENTER** キーを押す

[1] キュウチャク
セッテイ : ヒョウジ ユン

・ 選択項目については、下記の表を参照してください。

6 **END** キーを押して終了する

項目	説明
ツヨイ	強い吸着力で吸着します。
ヒョウジュン	標準的な吸着力で吸着します。
ヨワイ	弱い吸着力で吸着します。
OFF	吸着しません。

優先順位の設定をする

次の項目について、本機での設定を優先するか、コンピュータでの設定を優先するかを選択します。

項目：作図方式 / 重ね塗り

1	<ローカル> 表示のとき、 FUNCTION キーを押す	<ローカル. 1 >
2	ENTER キーを押す	FUNCTION セッテイ <ENT >
3	▲ ▼ を押してタイプ (1 ~ 4) を選び、 ENTER キーを 押す	セッテイ セentak : タイプ° 1
4	▲ ▼ を押して [ユウセン ジュンイ] を選び、 ENTER キーを押す	[1] ユウセン ジュンイ <ent >
5	▲ ▼ を押して [ホスト] ま たは [パネル] を選び、 ENTER キーを押す ・ ホスト：コンピュータの設定を優先 ・ パネル：本機の設定を優先	[1] ユウセン ジュンイ サクス° ホウシキ : パ° ネル
6	同様に、他の項目も設定する ・ 項目：サクズハウシキ、カサネヌリ	
7	END キーを押して終了する	

メディア幅の設定をする

使用するメディアの幅があらかじめわかっている場合、メディア幅を記録することができます。(ファームウェア Ver.2.00 以降に対応)

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1>

2

ENTER キーを押す

FUNCTION
セッテイ <ENT>

3

▲ **▼** を押してタイプ (1
~ 4) を選び、**ENTER** キーを
押す

セッテイ
センタク : タイプ° 1

4

▲ **▼** を押して [メディア
ケンシュツ] を選び、
ENTER キーを押す

[1]
メデ` ィア ケンシュツ <ent>

5

▲ **▼** を押して [メディア
ハバ] を選び、**ENTER** キーを
押す

[1]メデ` ィア ケンシュツ
メデ` ィア ハバ` <ent>

6

▲ **▼** を押して使用するメ
ディアの幅を入力し、
ENTER キーを押す

[1]メデ` ィア ケンシュツ
メデ` ィア ハバ` : オート

- ・ オート : メディア検出のとき、メディア幅を自動で検出
- 210 ~ 1620mm : メディア検出のとき、メディア幅を手動で設定

7

END キーを押して終了する

設定を初期状態に戻す

作図条件の設定を初期状態に戻します。

- 1** <ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す <ローカル. 1>
- 2** **ENTER** キーを押す FUNCTION
セッテイ <ENT>
- 3** **ENTER** キーを押す セッテイ
センタク :タイプ 1
- 4** **▲** **▼** を押して [セッテイ
リセット] を選び、
ENTER キーを押す [1]
セッテイ リセット <ent>
- 5** **ENTER** キーを押す
・ 設定を初期化します。 [1]セッテイ リセット
シヨキカ シマスカ? :ent
- 6** **END** キーを押して終了する

重要!

・ ここでは、設定項目で変更した内容のみ初期化できます。

3

便利な使い方

時刻設定

現在の時刻を設定できます。

- 1** <ローカル> 表示のとき、
(FUNCTION) キーを押す <ローカル. 1>
- 2** **(▲)** **(▼)** を押して [マシン
セッテイ] を選び、
(ENTER) キーを押す FUNCTION
マシン セッテイ <ENT>
- 3** **(▲)** **(▼)** を押して [ジコク
セッテイ] を選び、
(ENTER) キーを押す マシン セッテイ
ジ コク セッテイ <ent>
- 4** 現在の時刻を表示する
・ 時刻を変更する場合、**(ENTER)** キー
を押します。 ジ コク セッテイ
2010.08.23 15:30:00
- 5** **(▲)** **(▼)** **(◀)** **(▶)** を押して、
時刻を入力する
・ 年月日 / 時分の選択：**(◀)** **(▶)** で選ぶ
年月日 / 時分の入力：**(▲)** **(▼)** で入力 ジ コク セッテイ
201**0**.08.23 15:30:00
- 6** **(ENTER)** キーを押す
・ 入力した時刻が表示されます。 ジ コク セッテイ
2010.08.23 15:30:00
- 7** **(END)** キーを押して終了する

重要!

- 過去の時刻は、現在の表示時刻より 8 時間前の時刻までしか設定できません。
- 誤って、現在の時刻より未来の時刻を設定した場合、手順 4 で次の操作をすると、前回設定した時刻に戻すことができます。
(1) 手順 4 で **(FUNCTION)** キーを押す
(2) **(ENTER)** キーを押す
変更内容に戻せるのは、1 つ前までです。また、変更前の時刻は、経過した時間分進んでいます。

情報

マシン情報の確認や、設定内容のリスト印刷ができます。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1 >

2

▲ ▼ を押して [マシン
 セッテイ] を選び、
ENTER キーを押す

FUNCTION
 マシン セッテイ <ENT >

3

▲ ▼ を押して [ジョウホ
 ウ] を選び、**ENTER** キーを押
 す

マシン セッテイ
 ジョウホウ <ent >

4

▲ ▼ を押して表示する項
 目を選び、**ENTER** キーを押す

ジョウホウ
 リスト <ent >

・ 下記の表を参照して選択してください。

5

END キーを押して終了する

項目	概要
リスト	A4 サイズ以上のメディアをセットし、設定内容を印刷します。 お客様の控え、または保守問い合わせ時の FAX 用に使用してください。
シリアル No.	本機のシリアル No. を表示します。

3

便利な使い方

電源電圧の確認

温水ユニットに供給される電源電圧の設定を確認します。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1 >

2

▲ **▼** を押して [マシン
セッテイ] を選び、
ENTER キーを押す

FUNCTION
マシン セッテイ <ENT>

3

▲ **▼** を押して [オンスイ
ボルテージセクタ] を選び、
ENTER キーを押す

マシン セッテイ
オンスイボ^ル ルテージ^セ セクタ<ent>

4

設定値を確認する

オンスイボ^ル ルテージ^セ セクタ
スイッチ : 100V

5

END キーを押して終了する

パターン硬化スキヤンの設定

ノズルチェックやメディア補正の印刷時、インクを硬化するためのスキヤンをするかしないかを選択します。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1 >

2

▲ **▼** を押して [マシン
 セッテイ] を選び、
ENTER キーを押す

FUNCTION
 マシン セッテイ <ENT>

3

▲ **▼** を押して [パターン
 コウカスキヤン] を選び、
ENTER キーを押す

マシン セッテイ
 パ ターン コウカ スキャン <ent>

4

▲ **▼** を押して ON または
 OFF を選び、**ENTER** キーを押
 す

パ ターン コウカ スキャン
 セッテイ : OFF

- ON : 硬化スキヤンをする
- OFF : 硬化スキヤンをしない

5

END キーを押して終了する

3

便利な使い方

紙幅センサの感度設定

透明フィルムなどのメディアの幅を検出するために、センサの感度を変更できます。

重要!

- ・ センサーレベルを [ファイン] に設定しても、紙幅センサとメディアが離れていると、センサの感度が鈍くなり、検出できません。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1 >

2

▲ **▼** を押して [マシン
 セッテイ] を選び、
ENTER キーを押す

FUNCTION
 マシン セッテイ <ENT>

3

▲ **▼** を押して [メディア
 ケンシュツレベル] を選び、
ENTER キーを押す

マシン セッテイ
 メディアケンシュツレベル <ent>

4

▲ **▼** を押して [ノーマル] ま
 たは [ファイン] を選び、
ENTER キーを押す

メディアケンシュツ レベル
 センサー レベル : ノーマル

- ・ ノーマル：通常の感度
- ・ ファイン：センサの感度を上げる

5

END キーを押して終了する

その他の便利な機能

表示する言語を切り替える

ディスプレイに表示する言語を選択します。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1 >

2

▲ **▼** を押して
[DISPLAY] を選び、
ENTER キーを押す

FUNCTION
DISPLAY <ENT>

3

▲ **▼** を押して言語を選
び、**ENTER** キーを押す

DISPLAY
Japanese <ent>

- お買い上げ時は [English] に設定されています。

4

END キーを押して終了する



- 設定内容は、電源を切ってもクリアされません。

データクリア

本機に不要な作図データがある場合は消去してください。

1

<ローカル> 表示のとき、
DATA CLEAR キーを押す

<ローカル. 1 >

2

ENTER キーを押す

データクリア
<ENT>

- データが消去されます。

3

便利な使い方

本機の情報を表示する

1

<ローカル> 表示のとき、
ENTER キーを押す

<ローカル. 1 >

2

ENTER キーを押すごとに、
 順次情報が表示される

- 右のような情報が表示されます。
- UV LED の照射時間は、左に左側の LED の照射時間、右に右側の LED の照射時間を表示します。

インク残量

<ローカル. 1 >	MMCCYYKK
サ [*] ンリョウ	99999999

バージョン/コマンド情報

UJV-160	V1.00
MRL-11B	V*. **

照射時間

<ローカル. 1 >	
ショウシャ	ジ [*] カン 1.2

圧力情報

<ローカル. 1 >	
フアツ	2.30 kpa

サブタンク情報

<ローカル. 1 >	MMCCYYKK
サブ [*] タンク	MMMMLLLL

3

ENTER キーを押して
 <ローカル> に戻る

<ローカル. 1 >

第4章

お手入れのしかた



この章では ...

インクの交換やクリーニング方法など、本機のお手入れについて説明します。

日常のお手入れ	4-2	電源を入れたときに自動で	
長期間使用しない場合は	4-2	クリーニングを行う	4-17
お手入れ上のご注意	4-2	電源オフ時のメンテナンスを	
外装のお手入れ	4-3	設定する	4-18
プラテンの清掃	4-3	電源オフ中のリフレッシュ動作を	
紙幅センサの清掃	4-4	設定する	4-18
インクカートリッジについて	4-5	電源オフ中のクリーニング動作を	
新しいインクカートリッジに		設定する	4-19
交換する	4-5	白インク(ホワイト)の定期メンテ	
カートリッジ異常が発生したら	4-7	ナンス	4-21
フラッシングトレイのクリーニング ..	4-8	かすれや抜けが改善しない場合は...	4-24
作図中のインク滴の垂れを防ぐ	4-10	サブタンク メンテナンス	4-24
廃インクが溜まったら	4-12	ヘッドワイブ機能	4-26
廃インクトレイのインクを		ワイパのクリーニング	4-28
処分する	4-12	不凍液を補充する	4-30
ワイパタンクのインクを処分する ..	4-14	不凍液混合水を補充する	4-31
ノズル面の清掃頻度を設定する	4-16	UV LED フィルタを交換する	4-32

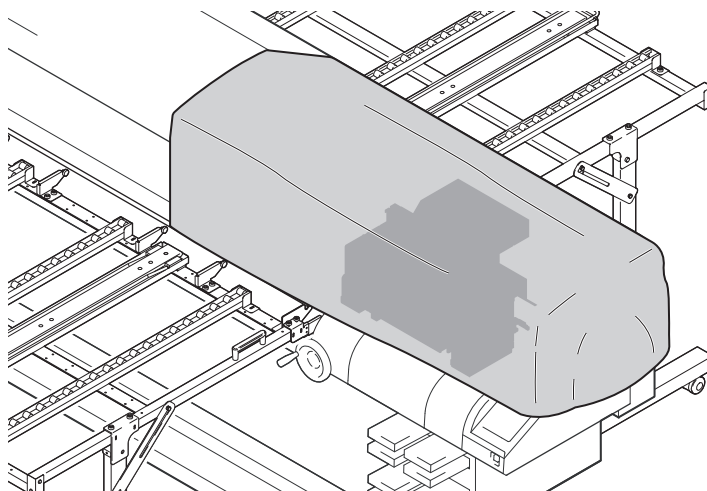
日常のお手入れ

本機を末永くお使いいただけるよう、使用頻度に応じて、または定期的にお手入れをしてください。

長期間使用しない場合は



- 本機の側面にある主電源スイッチを切ってください。(☞ P.2-4)
- セットしてあるメディアを取り除いてください。
- ヘッド周辺の UV インク硬化を防止するため、付属の遮光シートをヘッド待機位置（待機位置により、右または左）を覆うように掛けてください。



お手入れ上のご注意

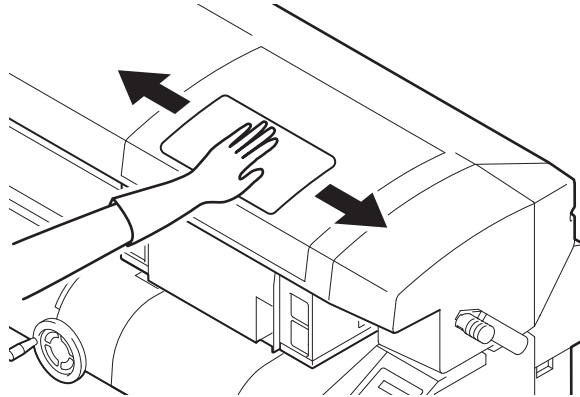


- 本機は、絶対に分解しないでください。感電および破損の原因になります。
- 本機の内部に水気が入らないようにしてください。内部が濡れると、感電および破損の原因になります。
- お手入れは、主電源スイッチをオフにし、電源ケーブルを抜いてから行ってください。これらは思わぬ事故が発生する原因になります。
- ベンジン、シンナーや研磨剤の入った薬品は使用しないでください。カバーの表面が変質・変形する恐れがあります。
- 本機の内部に潤滑油などを注油しないでください。故障する恐れがあります。
- 紫外線硬化インク（UV インク）は、水やアルコールと混ざると凝集物が発生します。ノズル面はもちろん、ヘッド周辺へは、水またはアルコールを付着させないようご注意ください。
- 本機は紫外線硬化インク（UV インク）を使用します。お手入れの際には必ず付属のゴーグルと手袋を装着してください。



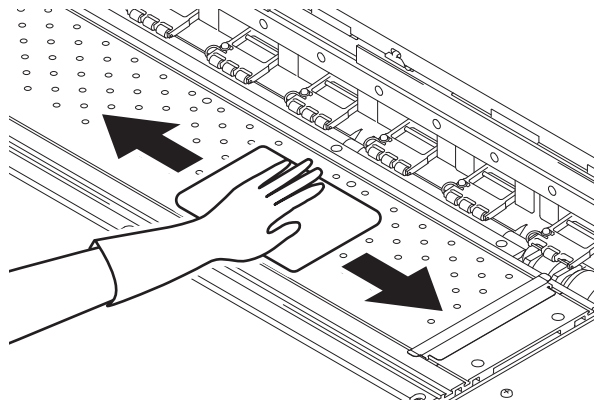
外装のお手入れ

本体の外装が汚れた場合は、柔らかい布に水または水で薄めた中性洗剤を含ませ、強くしぼってから拭き取ってください。



プラテンの清掃

プラテンは、メディアをカットしたときの糸や紙粉等で汚れやすくなります。汚れが目立つときは、やわらかい毛のハケや乾いた布、ペーパータオルなどで汚れを拭き取ります。



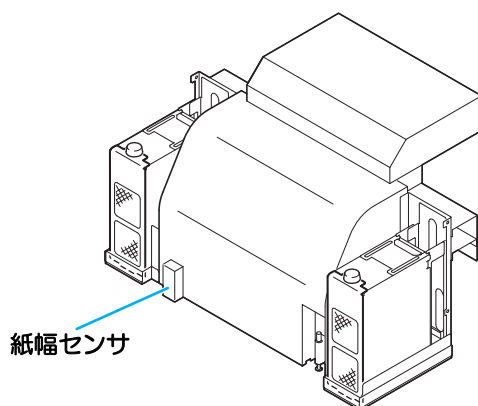
重要!

- プラテンの清掃は、プラテンの温度が十分下がってから行ってください。
- メディア押さえ用の溝や、用紙カット用の溝（カッターライン）などは特に汚れがたまりやすいため、入念に清掃をしてください。
- インクが付着している場合は、メンテナンス用洗浄液をペーパータオルに含ませ、拭き取ります。



紙幅センサの清掃

紙幅センサは、メディア端面を検出するセンサですが、印刷用インクが付着して感度が落ち、紙幅検出ができなくなる場合があります。定期的にセンサ下面を布で拭いてください。



インクカートリッジについて

新しいインクカートリッジに交換する

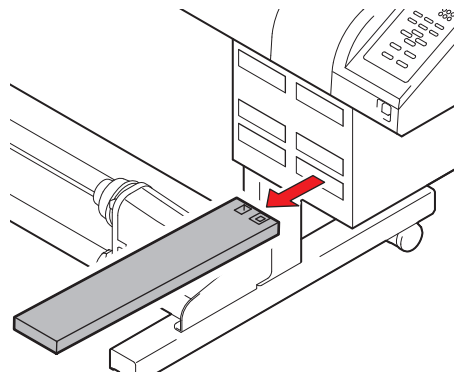
次のようなときに、インクカートリッジを交換してください。

ディスプレイ表示	概要
<pre><ローカル. 1> インク ニアエンド : M-----</pre>	<p>インクカートリッジ内のインク残量が少なくなっています。</p> <ul style="list-style-type: none">• 続けて作図できますが、作図中にインクがなくなる場合があります。早めにインクカートリッジの交換をすることをお勧めします。• 左の表示は、マゼンタインクが少なくなっていることを示しています。
<pre><ローカル. 1> インク エンド : M-----</pre>	<p>インクカートリッジ内のインクがなくなりました</p> <ul style="list-style-type: none">• 作図できなくなります。速やかに新しいインクカートリッジと交換してください。• 左の表示は、マゼンタインクが無くなっていることを示しています。

インクカートリッジの交換は、<ローカル>表示にするか、電源をOFF (P.2-5) にしてから行ってください。

1

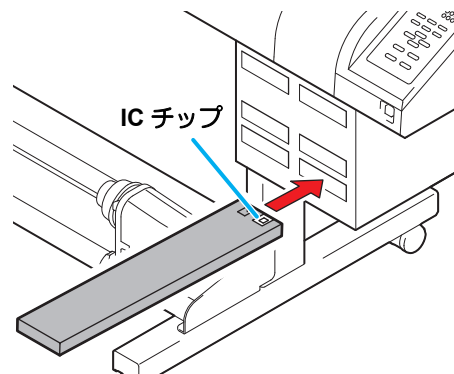
交換するインクカートリッジを引き抜く



2

新しいインクをセットする

- 図のように、ICチップがあるほうを上にしてセットします。



4

お手入れのしかた

600cc カートリッジをお使いの場合

● 600cc カートリッジのセット

- 600cc カートリッジは、カートリッジをセットするだけで使用できます。
- 1台のプリンタに 440cc と 600cc カートリッジが混在しても使用できます。

1

600cc カートリッジを準備する

- エコケースに 600cc インクパックと IC チップ（600cc インクパックに添付）を取り付けてください。

2

600ccカートリッジをセットする

● 以下のメッセージが表示されたら

ディスプレイ表示	概 要
ニアエンド* : MMCCYYKK	インクカートリッジ内のインク残量が少なくなっています。 • 600cc カートリッジでは、ニアエンドでもクリーニングができますが、作図中にインクがなくなる場合があります。早めにインクカートリッジの交換をすることをお勧めします。
インクパ ックカクニ: MMCCYYKK	カートリッジを抜き、インク残量を目視で確認してください。 • インクがない場合： エコケース内の 600cc インクパックと IC チップを、新品に交換してください。 • インクが残っている場合： 600cc カートリッジを再セットします。（「ニアエンド」の表示に戻ります。）
インクエンド* : MMCCYYKK	インクカートリッジ内のインクがなくなりました • エコケース内の 600cc インクパックと IC チップを、新品に交換してください。

カートリッジ異常が発生したら

インクカートリッジに異常が発生したら、ディスプレイにメッセージを表示します。作図、クリーニング等、インク吐出に関する動作は全てできなくなります。速やかに新しいインクカートリッジに交換してください。



- カートリッジ異常を表示したまま長時間放置しないでください。ノズル詰まりの原因になります。ノズルが詰まった場合、サービスマンによる修理が必要になります。

1

カートリッジ異常の内容を確認する

```
<ローカル. 1>
インク カラー      : MMCCYYKK
```

- 詳細は、以下のページをご覧ください。
 P.5-4 「メッセージを表示するトラブル」

2

ENTER キーを押す

```
<ローカル. 1>      MMCCYYKK
サ* ンリョウ      99999999
```

3

ENTER キーを押す

- インクカートリッジに異常がなければ<ローカル>に戻ります。
- 複数のカートリッジ異常が発生している場合、再度**ENTER** キーを押すと次の内容が表示されます。
- すべてのカートリッジ異常の表示が終わると、<ローカル> 表示に戻ります。

```
<ローカル. 1>
カートリッジ* ナシ : MMCCYYKK
```

```
<ローカル. 1>
インク カラー      : MMCCYYKK
```

```
<ローカル. 1>
インク ニアエンド* : MMCCYYKK
```

```
<ローカル. 1>
ヒジ* ユンセイ     : MMCCYYKK
```

```
<ローカル. 1>
インク エンド*     : MMCCYYKK
```

```
<ローカル. 1>
インク IC エラー   : MMCCYYKK
```

```
<ローカル. 1>
インクカートリッジ* : MMCCYYKK
```

```
<ローカル. 1>
インクキゲ* ン     : MMCCYYKK
```

```
<ローカル. 1>
インク キゲ* ンキ* レ : MMCCYYKK
```

```
<ローカル. 1>
インクキゲ* ン(1M) : MMCCYYKK
```

```
<ローカル. 1>
インク タイプ*     : MMCCYYKK
```

4

お手入れのしかた

フラッシングトレイのクリーニング

1ヶ月に1回、フラッシングトレイ内のフラッシングフィルタを交換してください。

クリーニングに必要なもの	• F-200 洗浄キット (SPC-0568)	• フラッシングフィルタ (SPC-0577)
	• 手袋	• 紙タオル



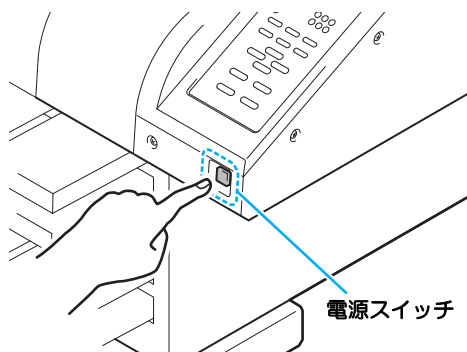
- 必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

重要!

- フラッシングフィルタ（廃インク吸収材）は1ヶ月に1回を目安に交換してください。フラッシングフィルタが吸収可能な量を超えると、インクが溢れることがあります。

1

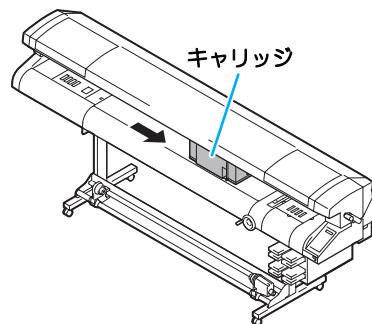
電源スイッチを押して、電源を切る



2

キャリッジを右側へ移動する

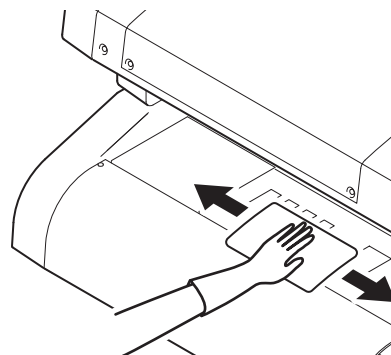
- ジョグキー (◀▶) でキャリッジを動かします。



3

フラッシングトレイ表面のインクを拭き取ります

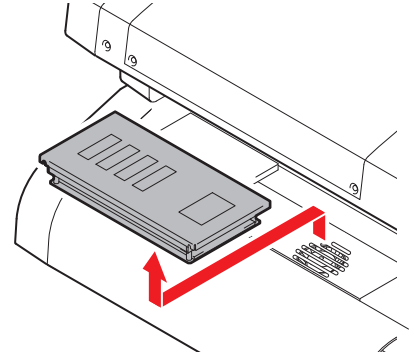
- フラッシングによりフラッシングトレイに付着したインクを、布を使って拭き取ります。



4

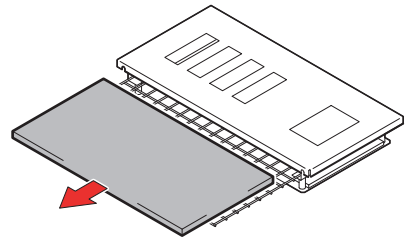
本機の左側にあるフラッシングトレイを取り外す

- 上に持ち上げて取り外します。



5

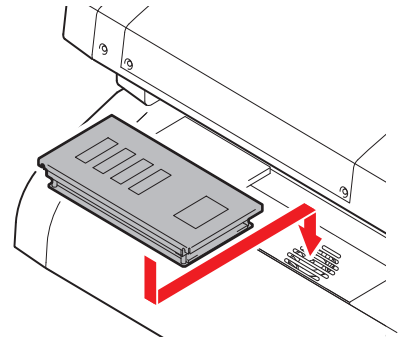
フラッシングトレイ内部にあるフィルタを交換する



6

フラッシングトレイをセットする

- トレーが浮いたりずれたりせず、本体にしっかりはまるようにセットします。



4

お手入れのしかた

作図中のインク滴の垂れを防ぐ

キャリッジ下面には、作図中のミストによりインク滴が発生することがあります。インク滴が垂れるとメディアが汚れたり、かすれや抜けの原因となりますので、頻繁にキャリッジ下面を清掃してください。

クリーニングに必要なもの	• UJ 清掃棒 (SPC-0386)	• 手袋	• ゴーグル
	• プラスドライバ		


1

電源を入れる

- 初期動作後、<ローカル> が表示されます。

2

廃インクトレイのカバーと廃インクトレイを外す

-  P.4-12「廃インクが溜まったら」を参照してください。



- ヘッドクリーニング中などインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。
- 廃インクトレイを取り扱うときは、廃インクがこぼれないようご注意ください。

3

<ローカル> 表示のとき、 **FUNCTION** キーを押す

<ローカル. 1>

4

を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

5

を押して [ステーションメンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す

メンテナンス
ステーション メンテナンス <ent>

6

ENTER キーを押す

- キャリッジが、待機位置（左側）から右側の廃インクトレイ付近へ自動的に移動します。
- 移動が完了すると、手動でキャリッジの移動ができます。

ステーション メンテナンス
キャリッジ アウト <ent>

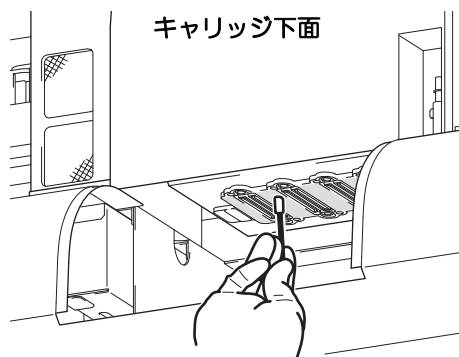
7

キャリッジを、手動で右側の廃インクトレイがあった場所へ移動させる

8

清掃棒に洗浄液をしみこませ、ヘッドの側面を清掃する

- ヘッドのノズル面は拭かないでください。ノズル詰まりの原因となります。
- 専用の清掃棒をお求めの際は、販売店または弊社営業所までお問い合わせください。



9

清掃が終了したら、
ENTER キーを押す

ステーション メンテナンス
 シュウリョウ : ent

- 初期動作を実行します。

10

手順 2、3 で外したカバーとトレイを元の位置に戻す

- 手順 2、3 と逆の手順で、手前のカバーと廃インクトレイ、廃インクトレイのカバーをセットします。

11

END キーを押して終了する

4

お手入れのしかた

廃インクが溜まったら

ヘッドクリーニングなどで使用したインクは、廃インクトレーとワイパタンクに溜まります。定期的に廃インクトレーとワイパタンクをチェックして、インクが溜まっていたら処分してください。



- 予備の廃インクトレー/タンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃インクを移すポリエチレンタンクをご用意ください。



- ヘッドクリーニング中などインク排出中の場合は、排出が終了してから作業を行ってください。
- 廃インクトレー/タンクを取り扱うときは、廃インクがこぼれないようご注意ください。
- 廃インクは、廃インクトレーの半分くらいまで溜まったら処分してください。

作業に必要なもの

• プラスドライバ

• 手袋

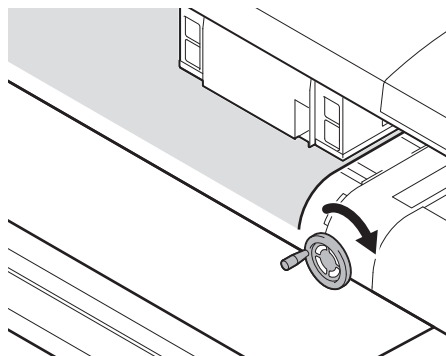
• ゴーグル

廃インクトレーのインクを処分する

1

Yバー上下ハンドルを取り付けて、Yバーを上げる

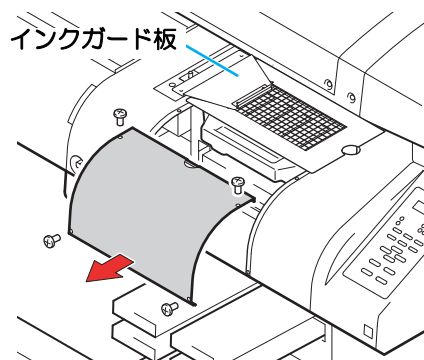
- Yバー上下ハンドルを時計回りに回してYバーを最大まで上げ、廃インクトレーとインクガード板との間に隙間を作ります。



2

手前のカバーを外す

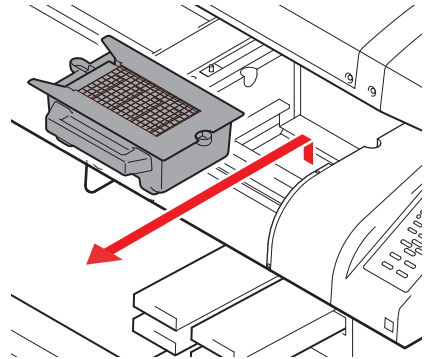
- ネジ 4 本を外して、カバーを外します。



3

廃インクトレーを取り出す

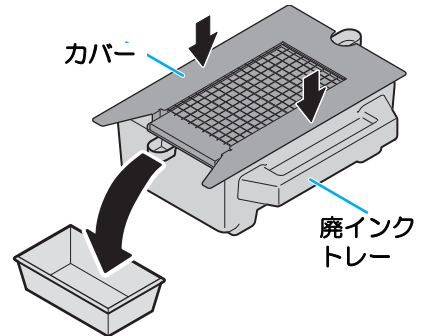
- カバーを載せたまま廃インクトレーを持ち上げ、手前にスライドさせながら取り出します。



4

廃インクを別のふた付きタンクに移す

- 廃インクトレーとカバーを挟むように両手で持ち、インクを処分してください。
- 下に紙を敷いてから廃インクを移してください。(インクで床を汚さないように)
- 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。

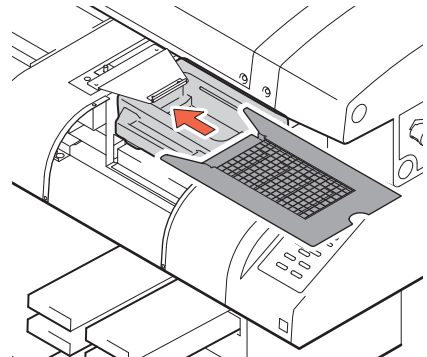


5

空にした廃インクトレーをセットする

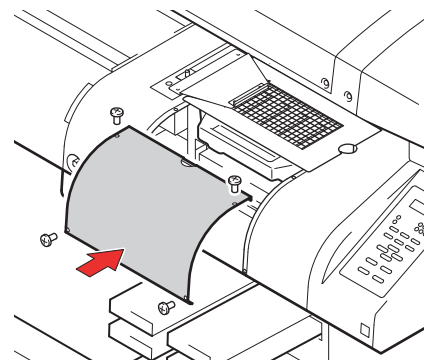
- (1) 廃インクトレーのみセットします。
- (2) カバーを右からスライドさせてセットします。

- 空の廃インクトレーを入れるとき、ケースの角でけがをしないよう注意して入れてください。



6

手前のカバーを取り付ける



4

お手入れのしかた

ワイパタンクのインクを処分する

1

電源を入れる

- ・ 初期動作後、<ローカル>が表示されます。

2

<ローカル>表示のとき、

FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1>

3

▲ **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION

メンテナンス

<ENT>

4

▲ **▼** を押して [ステーションメンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す

メンテナンス

ステーション メンテナンス

<ent>

5

▲ **▼** を押して [ワイパタンクコウカン] を選び、**ENTER** キーを押す

ステーション メンテナンス

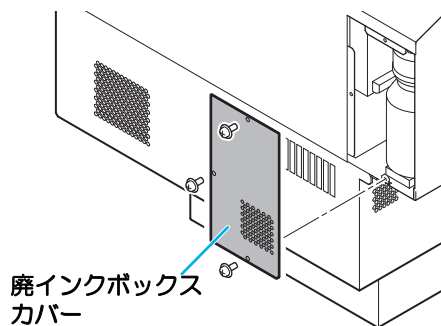
ワイパ タンク コウカン

<ent>

6

廃インクボックスカバーを開ける（本機背面）

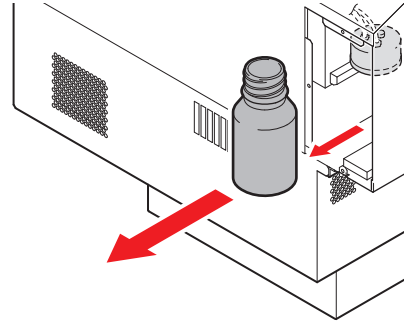
- (1) 廃インクボックスカバーのネジを外す
- (2) カバーを開ける



7

ワイパタンクを外し、
廃インクを廃棄する

- タンクのふたを持ってタンクを回し、タンクを取り出します。中のインクを処分してください。
- 廃インクは、使用している地域の条例に従って処分してください。



8

ワイパタンクを戻す

- ふたを持ってタンクを回し、ふたを閉めます。
- 廃インクボックスカバーを取り付けます。

9

ENTER キーを押す

ワイパ^o タンク コウカン
シュウリョウ : ent

10

END キーを押して終了する

4

お手入れのしかた

ノズル面の清掃頻度を設定する

設定した回数の作図が終了すると、自動的にヘッドのノズル面の清掃を行い、ノズル面に付着したインク滴を取り除きます。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1 >

2

▲ **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

3

▲ **▼** を押して [テイキメンテナンス] を選び、
ENTER キーを押す

メンテナンス
テイキ メンテナンス <ent>

4

▲ **▼** を押して [テイキワイピング] を選び、
ENTER キーを押す

テイキ メンテナンス
テイキ ワイピング* <ent>

5

▲ **▼** を押してプリント回数 (OFF / 1 ~ 100) を設定し、**ENTER** キーを押す

テイキ ワイピング*
プリント カイスウ = OFF

・ [OFF] にすると、定期ワイピングを行いません。

6

END キーを押して終了する

電源を入れたときに自動でクリーニングを行う

電源を入れたときに自動的にクリーニングを行う設定をします。
(ファームウェア Ver.2.00 以降に対応)

- 1** <ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す
- 2** **▲** **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す
- 3** **▲** **▼** を押して [テイキメンテナンス] を選び、
ENTER キーを押す
- 4** **▲** **▼** を押して [パワーオン] を選び、**ENTER** キーを押す
- 5** ノズルごとにクリーニングする / しないを選び、
ENTER キーを押す
 - ◀ ▶** を押してヘッドを選ぶ
 - ▲ ▼** を押して、クリーニングする / しない ("**" マークが付く) を選ぶ
 - ・クリーニングをしないときは、全てのヘッドで "**" を選択してください。
- 6** **END** キーを押して終了する

4

お
手
入
れ
の
し
か
た

電源オフ時のメンテナンスを設定する

電源をオフにしているときでも、自動的に本機のメンテナンスをすることができます。メンテナンスの種類には、ヘッドのリフレッシュとクリーニングの2種類があります。(ファームウェア Ver.2.40 以降に対応)

電源オフ中のリフレッシュ動作を設定する

電源オフ中に、あらかじめ設定しておいた間隔 (OFF/10 ~ 120 分) でプリンタが起動し、リフレッシュ動作を行います。(スリープリフレッシュ機能)

重要!

- スリープメンテナンス機能を有効にすると、電源オフ中にキャリッジがフラッシングトレイまで動きます。電源オフ中にはプラテン上に物を置かないでください。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1 >

2

▲ **▼** を押して [メンテナ
ンス] を選び、**ENTER** キーを
押す

FUNCTION
メンテナンス

<ENT >

3

▲ **▼** を押して [スリープ
メンテナンス] を選び、
ENTER キーを押す

メンテナンス
スリープ メンテナンス

<ent >

4

▲ **▼** を押して [リフレッ
シュ] を選び、**ENTER** キーを
押す

スリープ メンテナンス
リフレッシュ

<ent >

5

▲ **▼** を押してリフレッ
シュ動作を行う間隔を設定し、
ENTER キーを押す

スリープ リフレッシュ
カンカク: 60min

- リフレッシュ間隔

OFF : 電源オフ中にリフレッシュ動作を行いません。

10 ~ 120 : 指定した間隔 (10 ~ 120 分) で自動的にプリンタが起動し、フラッシング動作を行います。

6

ノズルごとにリフレッシュする/しないを選び、
ENTER キーを押す

スリープ° リフレッシュ
 ヘッド° : MMCCYYKK

- (1) ◀▶ を押してヘッドを選ぶ
 (2) ▲▼ を押して、リフレッシュする/しない(“*”マークが付く)を選ぶ

7

END キーを押して終了する

電源オフ中のクリーニング動作を設定する

電源オフ中に、あらかじめ設定しておいた間隔 (OFF/4 ~ 48 時間) でプリンタが起動し、クリーニング動作を行います。(スリープクリーニング機能)

重要!

- スリープメンテナンス機能を有効にすると、電源オフ中にキャリッジがフラッシングトレイまで動きます。電源オフ中にはプラテン上に物を置かないでください。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1>

2

▲▼ を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
 メンテナンス <ENT>

3

▲▼ を押して [スリープメンテナンス] を選び、
ENTER キーを押す

メンテナンス
 スリープ° メンテナンス <ent>

4

▲▼ を押して [クリーニング] を選び、**ENTER** キーを押す

スリープ° メンテナンス
 クリーニング° <ent>

4

お
手
入
れ
の
し
か
た

5

▲▼を押してクリーニング動作を行う間隔を設定し、
ENTER キーを押す

スリープ° クリーニング°
カンカク : 24 hour

・クリーニング間隔

OFF : 電源オフ中にクリーニング動作を行いません。

4 ~ 48 : 指定した間隔 (4 ~ 48 時間) で自動的にプリンタが起動し、クリーニング動作を行います。

6

▲▼を押してクリーニングのタイプ (ノーマル/ハード) を設定し、
ENTER キーを押す

スリープ° クリーニング°
タイプ° : ハード°

7

ノズルごとにクリーニングする/しないを選び、
ENTER キーを押す

スリープ° クリーニング°
ヘッド° : MMCCYYKK

(1) ◀▶を押してヘッドを選ぶ

(2) ▲▼を押して、クリーニングする/しない ("*"マークが付く) を選ぶ

8

END キーを押して終了する

白インク (ホワイト) の定期メンテナンス

白インク (ホワイト) は他のインクに比べて沈殿しやすい性質があります。

- 本機を 2 週間以上使用しない場合、本機の内部またはカートリッジ内部で沈殿してしまう場合があります。
- インクが沈殿すると、作図時にノズル詰まりを発生し、正常な作図ができなくなります。
- 作図時のノズル詰まりの防止と白インクの状態を良好に保つため、下記の定期メンテナンスを行ってください。



- 一週間に一度、必ず以下のメンテナンスをしてください。
- インクカートリッジは、弊社推奨のものをご使用ください。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1 >

2

▲ **▼** を押して [メンテナ
ンス] を選び、**ENTER** キーを
押す

FUNCTION
メンテナンス

< ENT >

3

▲ **▼** を押して [ホワイト
メンテナンス] を選び、
ENTER キーを押す

メンテナンス
ホワイト メンテナンス

< ENT >

4

ヘッドごとにホワイトメンテ
ナンスする / しないを選び、
ENTER キーを押す

ホワイト メンテナンス
ヘッド* : *****W _ _ _

- (1) **◀** **▶** を押してヘッドを選ぶ
- (2) **▲** **▼** を押して、ホワイトメンテナンスする / しない (" * " マークが付く) を選ぶ

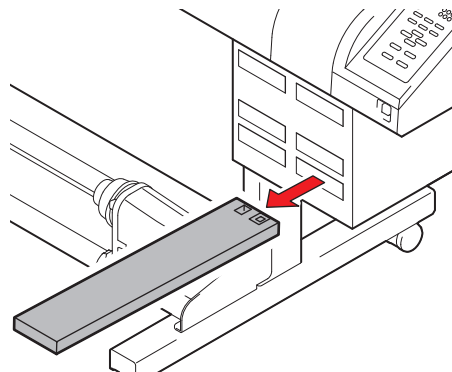
4

お
手
入
れ
の
し
か
た

5

白インクカートリッジをインクステーションから抜く

ホワイト メンテナンス ----- W ----
カートリッジ ヲ ハズ ス



6

ENTER キーを押す

ハイシュツチュウ
シバ ラク オマチクダ サイ

- 白インクの排出作業を行います。

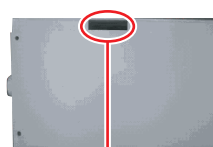
7

白インクカートリッジを 10 回程度ゆっくりと上下に振る

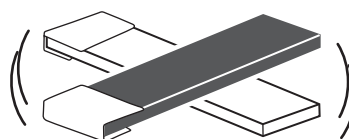
- 振ったときにインクが漏れ出すのを防ぐため、紙タオルなどで、カートリッジ上面の A 部とカートリッジ底面の B 部をしっかりと塞ぎ、ゆっくりとインクを上下させます。



A 部 (針の差し口)



B 部 (底面の隙間)



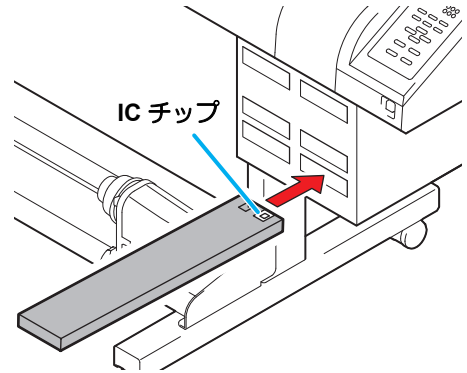
紙タオルでしっかりと
押さえて振る

8

次の画面が表示されたら、白インクカートリッジをインクステーションに戻す

- 図のように、ICチップがあるほうを上にしてセットします。

ホワイトメンテナンス _ _ _ _ W _ _ _
カートリッジを セット



9

ENTER キーを押す

- インク充填を開始します。

ジ ュウテンチュウ
シバ ラク オマチクダ サイ

10

白インク充填終了後、右の表示になったら、**END** キーを押して終了する

メンテナンス
ホワイト メンテナンス < ENT >

4

お手入れのしかた

かすれや抜けが改善しない場合は

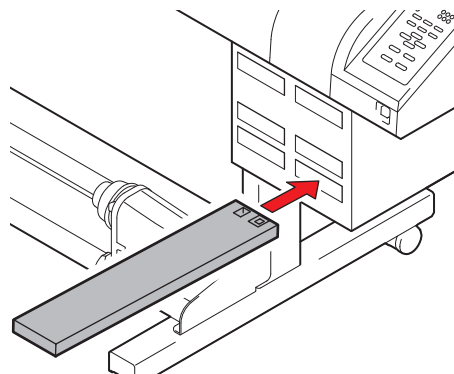
ヘッドクリーニングを繰り返してもかすれや抜けが改善されない場合は、サブタンクメンテナンスを行ってください。

サブタンクメンテナンス

1

インクステーションにインクカートリッジを差し込む

- ・インクカートリッジは確実にセットしてください。



2

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1>

3

▲ ▼ を押して [メンテナンス] を選択し、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

4

▲ ▼ を押して [サブタンクメンテナンス] を選択し、
ENTER キーを押す





メンテナンス
サブタンクメンテナンス <ent>

5

ヘッドごとに、サブタンクメンテナンスする/しないを選び、**ENTER** キーを押す

サブタンク メンテナンス
ヘッド : MM **C** CYYKK

サブタンク メンテナンス
ヘッド : MM ***** CYYKK

- (1)   でカーソルを移動する
- (2)   でサブタンクメンテナンスする/しないを選ぶ

- 全てのヘッドに対して選択してください。

サブタンクメンテナンスする : セットされているインクカートリッジを表示

サブタンクメンテナンスしない : “*” を表示

6

ENTER キーを押す


サブタンク メンテナンス
シッコウ : ent

- サブタンク メンテナンスを開始します。
- サブタンクの状態によっては、ブザー音とともにスライダーが左右に連続して動きます。

7

サブタンクメンテナンスが終了したら、**END** キーを押して終了する



- インクを交換する場合は、 P.4-5 をご覧ください。

ヘッドワイプ機能

本機の電源をオンにしたとき、メディア汚れを防止するためのヘッドワイピングを自動的にを行います。



- 電源をオンにした後、ヘッドが設定温度になってからワイピング動作を行います。
- ここでのワイピングは、メディア汚れ防止が目的のため、使用するインクはごく少量です。
- ワイピング動作が終了するまでは、本機を動作させることはできません。

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル, 1 >

2

▲ **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
メンテナンス <ENT>

3

▲ **▼** を押して [ヘッドワイプ] を選び、**ENTER** キーを押す

メンテナンス
ヘッド* ワイプ* <ent>

4

ヘッドごとにワイピングする/しないを選び、**ENTER** キーを押す

ヘッド* ワイプ*
ヘッド* : MMCCYYKK

- (1) **◀** **▶** を押してヘッドを選ぶ
 - (2) **▲** **▼** を押して、ワイピングする/しない ("*" マークが付く) を選ぶ
- ワイピングを使用しないときは、全てのヘッドで "*" を選択してください。

5

ワイピングの回数を選び、
ENTER キーを押す

ヘッド* ワイプ*
ワイプ* カイスウ : 1カイ

- **▲** **▼** を押して、ワイピングの回数 (1 ~ 9) を選ぶ

6

ENTER キーを押す

- ワイピングを開始します。

ヘッド [°]	ワイブ [°]	
ワイブ [°]	カイン	:ent

7

ワイピングが終了したら、**END** キーを押して終了する

4

お手入れのしかた

ワイパのクリーニング

ワイパは、ヘッドのノズル面に付着したインクを拭き取ります。本機を使用しているとインクやホコリ等でワイパが汚れてきます。ヘッドの状態を良好に保つために、ワイパは頻繁に清掃してください。



- 清掃をする場合は、必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。

クリーニングに必要なもの	• ワイパスポンジセット (SPC-0578)	• インクワイプゴムセット (SPA-0168)
	• UJ 清掃棒 (SPC-0386)	• 手袋

1

<ローカル> 表示のとき、
FUNCTION キーを押す

<ローカル. 1 >

2

▲ **▼** を押して [メンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す

FUNCTION
メンテナンス <ENT >

3

▲ **▼** を押して [ステーションメンテナンス] を選び、**ENTER** キーを押す

メンテナンス
ステーション メンテナンス <ent >

4

▲ **▼** を押して [ワイパセイソウ] を選び、**ENTER** キーを押す

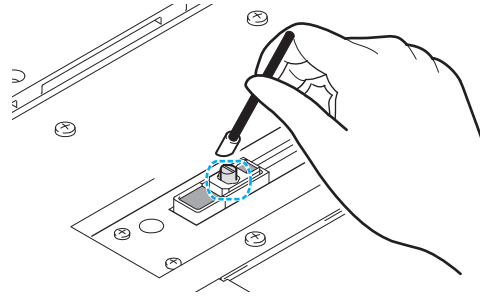
ステーション メンテナンス
ワイパ^o セイソウ <ent >

- キャリッジが左側のフラッシングトレイ付近へ移動します。
- ワイパが手前に移動します。

5

清掃棒でワイパの汚れを拭き取る

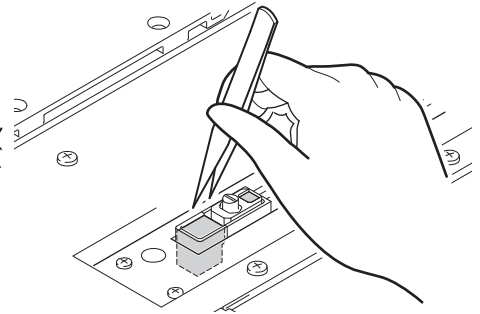
- 図の部分の部分を拭いてください。



6

スポンジが汚れている場合は、スポンジを交換する

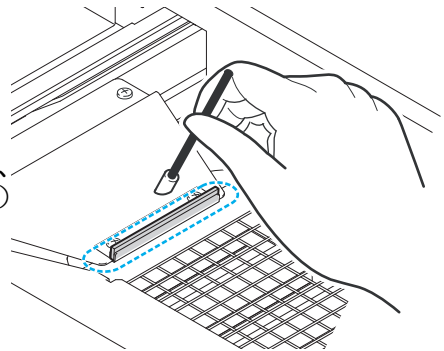
- ピンセット等でスポンジを取り外して、付属のスポンジをセットしてください。



7

清掃棒でワイパーゴムの汚れを拭き取る

- 図の部分の部分を拭いてください。
- ワイパーゴムの汚れがひどい場合は、ゴムを交換してください。(SPA-0168)



8

清掃が終了したら、**ENTER** キーを押す

- 初期動作を実行します。

ワイパ セイソウ
シュウリョウ : ent

9

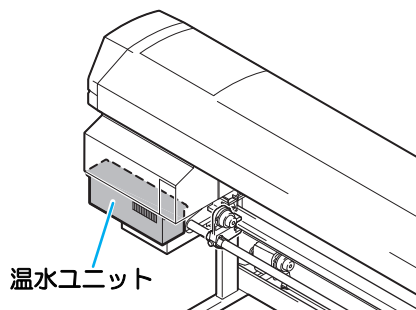
END キーを押して終了する

4

お手入れのしかた

不凍液を補充する

インクを適温に保つために稼働する、温水ユニット内の温水タンクに、不凍液と水を入れます。温水ユニットは、1ヶ月に一回、必ず確認してください。



補充に関する注意



- 水と不凍液の混合液は、水 2 に対して不凍液 1 の割合にしてください。
- 不凍液を入れず、水だけを温水タンクに入れた場合は、凍結などによりヘッドが故障する原因になります。
- 水を入れず、不凍液だけを温水タンクに入れた場合、温水の温度が上がらず、エラーになることがあります。
- 温水ユニットに必要な水量を確認するために 1ヶ月に一回、温水ユニットの確認をしてください。
- 温水タンクの水不足が頻繁に起きる場合は、販売店または弊社営業所までサービスコールしてください。
- 不凍液と混ぜた水は、使用している地域の条例に従って処分してください。



不凍液の取り扱い上のご注意



- 不凍液を取り扱う場合は、必ず付属のゴーグルおよび手袋を着用してください。



- 不凍液は、弊社専用の不凍液をご使用ください。他のものを使用すると、温水ユニットが故障する恐れがあります。(交換用不凍液：SPC-0394 [1000cc X 2 本])
- 不凍液には直接触れないようにしてください。誤って不凍液が付いてしまったときは、石けんを使って、すぐに流水で洗い落としてください。万一、不凍液が目に入ったときは、大量の流水で洗い、医師に相談してください。
- 不凍液は冷暗所で保存してください。
- 不凍液は、子供の手の届かない場所に保管してください。
- 不用となった不凍液は、産業廃棄物処理業者に内容物を明確にして処理を委託してください。
- 不凍液をご使用の前に、必ず製品安全性データシート (MSDS) をお読みください。



- 予備の温水タンクをお求めの場合は、お近くの販売店または弊社営業所までお問い合わせください。
- 廃温水タンク水を移すための、キャップ付きタンクをご用意ください。
- 温水タンクの水が不足すると、次のエラーを表示します。この場合は、次ページの手順と同様に、水を交換してください。

ミス ブック

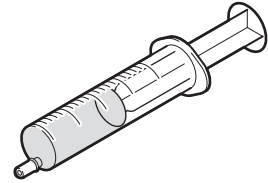
不凍液混合水を補充する

水不足のエラーが発生したら、不凍液混合水を補充してください。
満水にするには、約 200cc の補充が必要です。

1

不凍液と水の混合水を作る

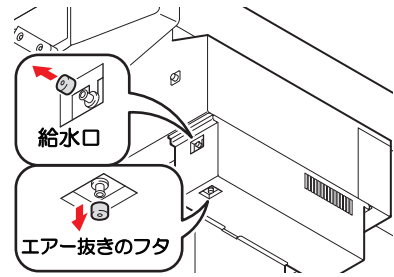
- (1) トレー等に、不凍液 1、水 2 の割合で混合水を作ります。
- (2) 混合水を付属のシリンジに移します。



2

給水口とエア抜きのフタを外す

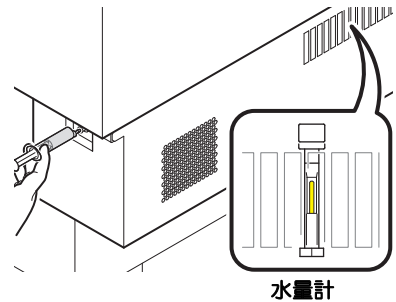
- 給水口は温水ユニットの左側面、エア抜きは温水ユニットの底面にあります。



3

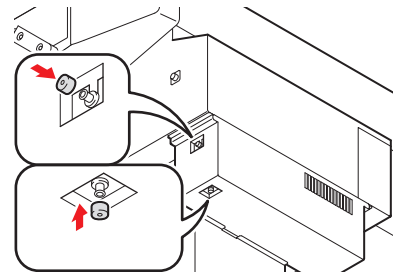
混合水を補充する

- 混合水を給水口から注入します。
- 水量は、水量計を見ながら、満水まで入れてください。
水量計に赤色が表示されたら満水です。



4

給水口とエア抜きのフタを閉める



4

お手入れのしかた

UV LED フィルタを交換する

本機を末永くご利用いただくために、定期的（1ヶ月に1回程度を目安）に UV LED フィルタを交換してください。



- 必ず付属のゴーグルと手袋を着用してください。インクが目に入る場合があります。



- フィルタの交換中にネジなどを落とした場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

作業に必要なもの	• UV LED ユニットフィルタ (SPC-0575)	• プラスドライバ
	• 手袋	• 紙タオル

1

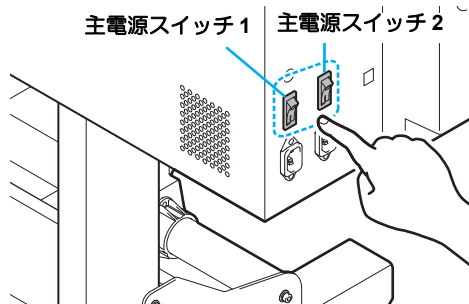
前面の電源スイッチを OFF にする

- 本機前面の電源スイッチを押します。

2

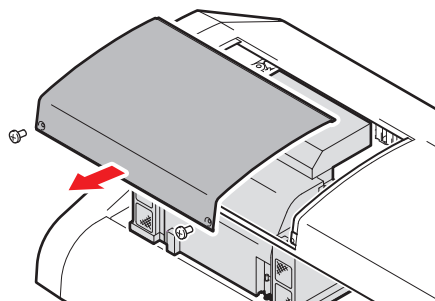
本機側面の主電源スイッチ1と2を切る

- 始めに主電源スイッチ2を切ってから、主電源スイッチ1を切ります。



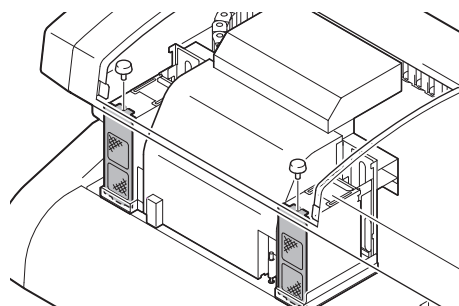
3

本体左上のカバーを外す



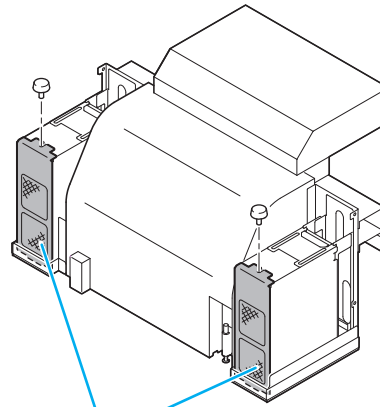
4

UV LED ユニットの正面のカバー（2つ）を取り外す



5

正面のカバー（2つ）にある UV LED フィルタを交換する



UV LED フィルタ

6

UV LED ユニットの正面のカバー（2つ）と本体左上のカバーを取り付ける

- 手順 3、4 と逆の手順で取り付けます。

4

お手入れのしかた

第5章 困ったときは



この章では ...

故障かな?と思ったときの対処方法や、ディスプレイに表示するエラーの解消方法などを説明します。

故障?と思う前に	5-2
電源が入らない	5-2
作図ができない	5-2
ディスプレイにメッセージが表示される	5-2
作図結果に問題があるときは	5-3
ノズル詰まりを解消したいとき	5-3
メッセージを表示するトラブル	5-4
ワーニングメッセージ	5-4
エラーメッセージ	5-6

故障？と思う前に

故障？と思う前にもう一度確認してください。対処しても正常に戻らない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

電源が入らない

電源が入らない場合の原因の多くは、電源やコンピュータのケーブル接続ミスによるものです。正しく接続されているか、もう一度確認してください。

電源ケーブルを本機と電源コンセントに接続しましたか？

イエ

電源ケーブルを確実に接続してください。

作図ができない

作図ができない場合は、データが正しく本機に送られていない可能性があります。

正しいインターフェイスケーブルを使用していますか？

イエ

本機専用のケーブルをご使用ください。

インターフェイスケーブルを確実にセットしていますか？

イエ

インターフェイスケーブルを確実にセットしてください。

ハイ

ディスプレイにインク切れのメッセージを表示していますか？

ハイ

新しいインクカートリッジに交換してください。☞ P.4-5

ディスプレイにメッセージが表示される

ディスプレイに「オンスイジュンビ」と表示された場合は、温水ユニット内の水が一定の温度に達していません。

「オンスイジュンビ」と表示される

一定の温度になるまで待機してください。一定温度に達するとこの表示が消え、作図ができます。

作図結果に問題があるときは

作図結果に問題があるときは、症状により下記のように対処してください。対処しても改善しない場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

現象	対処方法
スジ/かすれが発生する	<ol style="list-style-type: none"> (1) ヘッドクリーニングを行ってください。☞ P.2-36 (2) ヘッドが通過する部分にゴミが付着している場合は、ゴミを取り除いてください。
作図中のメディア上に大きなインク滴が落ちる	<ol style="list-style-type: none"> (1) ヘッドクリーニングを実行してください。☞ P.2-36 (2) メディア表面のホコリを取り除いてください。 (3) プラテン表面に付着しているホコリをクリーニングしてください。 (4) キャリッジ下面のクリーニングをしてください。 ☞ P.4-10
作図中にメディアが浮き上がり、作図が中断する	<ol style="list-style-type: none"> (1) 新しいメディアをセットし直して、作図を開始してください。

ノズル詰まりを解消したいとき

P.2-36 の操作でヘッドのクリーニングをしてもノズル詰まりが解消しない場合は、次の2つの項目を確認してください。

- P.4-24 を参照し、サブタンクメンテナンスを行ってください。
- P.4-5 を参照し、インクの交換をしてください。

メッセージを表示するトラブル

何らかの異常が発生すると、ブザーが鳴りディスプレイにメッセージを表示します。下の表に従って対処してください。

ワーニングメッセージ

メッセージ	対処方法
<ローカル、1> カートリッジ ナシ : MMCCYYKK	• 表示しているヘッドのインクカートリッジを取り付けてください。(☎ P.4-5)
<ローカル、1> インク ニアエント* : MMCCYYKK	• 早めに、表示しているヘッドのインクカートリッジを交換してください。(☎ P.4-5)
<ローカル、1> インク エント* : MMCCYYKK	• 表示しているヘッドのインクカートリッジを交換してください。(☎ P.4-5)
<ローカル、1> インクパ ックカクニシ: MMCCYYKK	• カートリッジを引き抜き、まだインクが残っている場合は再度カートリッジをセットしてください。 インクが残っていない場合は、表示しているヘッドのインクカートリッジを交換してください。(☎ P.4-6)
<ローカル、1> インクカートリッジ* : MMCCYYKK	• 表示しているヘッドのインクカートリッジを再挿入してください。それでも表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
<ローカル、1> インクキゲ ン : MMCCYYKK	• 早めに、表示しているヘッドのインクカートリッジを交換してください。(☎ P.4-5)
<ローカル、1> インクキゲ ン(1M) : MMCCYYKK	• インクカートリッジの有効期限が切れています。(期限切れから1ヶ月経過) 早めに、表示しているヘッドのインクカートリッジを交換してください。(☎ P.4-5)
<ローカル、1> インクキゲ ンキ*レ : MMCCYYKK	• インクカートリッジの有効期限が切れています。(期限切れから2ヶ月経過) 表示しているヘッドのインクカートリッジを交換してください。(☎ P.4-5)
<ローカル、1> インク タイプ* : MMCCYYKK	• 装填したインクカートリッジの種類が合っているかを確認してください。
<ローカル、1> インク カラー : MMCCYYKK	• 表示している色と、装填したインクカートリッジの色が合っているかを確認してください。
<ローカル、1> ヒジ ユンセイ : MMCCYYKK	• ミマキ純正のインクカートリッジをお使いください。
<ローカル、1> インク10エラー : MMCCYYKK	• 表示しているヘッドのインクカートリッジを再挿入してください。それでも表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。

メッセージ	対処方法
<ローカル、1> ミサクス データ アリ	• 受信済みデータをすべて作図 (P.2-38) するか、データクリア (P.3-25) をしてから、設定変更をしてください。
メディア カ アリマセン	• メディアをセットしてください。
ミシ ユウテン	• インクを充填してください。
ヘッド センタク ナシ	• ヘッドが未選択です。 クリーニングまたは充填をするヘッドを選択してください。
バッテリー コウカン	• 販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
メディア ポジション	• メディアを左寄りにセットし直してください。
ワイパ タンク フル	• ステーションメンテナンスを実行し、ワイパタンクのインクを処分してください。(P.4-14)
HD DATA SEQ	• 販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ミス プソク	• 温水タンクの水量を確認し、必要に応じて補充してください。(P.4-31)
SCAN X ハンイカ イ	• メディア残量が不足しています。新しいメディアをセットしてください。
サクス ハンイカ イ XY	• 作図範囲内にデータを配置してください。
サクス ハンイカ イ X	
サクス ハンイカ イ Y	
カートリッジ ソウハツ	• 販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ホカノ インクセット ヲ センタク	• 現在のインクセットとは別のインクセットを選択してください。
!インク キヤクリュウ カートリッジ : MMCCYYKK	• 防止処理が終わり、“ERROR 149”が表示されるまでお待ちください。

エラーメッセージ

エラーメッセージを表示する場合は、下の表に従って対処してください。
それでもメッセージを表示する場合は、販売店または弊社営業所にご連絡ください。

メッセージ	対処方法
ERROR06 CHECK:SDRAM	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR07 HD CONNECT[12345678]	
ERROR07 HD THERMIS[12345678]	
ERROR07 HEAD TIMING	
ERROR07 P-HEAD INIT	
ERROR08 L-SCALE BLACK	
ERROR09 HDC POSCNT	
ERROR09 HDC FIFO OVER	
ERROR09 HDC FIFO UNDER	
ERROR09 HDC SPEED	
ERROR09 FLUSHING BUSY	
ERROR10 コマンド* エラー	<ul style="list-style-type: none"> インターフェイスケーブルを確実に接続してください。 規格に適合したインターフェイスケーブルをお使いください。
ERROR11 パ°ラメータ エラー	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR12 メンテコマンド*	
ERROR25 USB INIT ERR	

メッセージ	対処方法
ERROR25 USB TIME OUT	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR30 オペレーション エラー	
ERROR34 ミサクス データ アリ	<ul style="list-style-type: none"> 正しいオペレーションをしてください。
ERROR40 モーターアラーム X	
ERROR41 モーターアラーム Y	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR42 X オーバークレント	
ERROR43 Y オーバークレント	
ERROR46 WIPER T0	
ERROR50 メテリア ハバ ケンシュツ	
ERROR51 Y ケンテン ケンシュツ	
ERROR53 WIPER ORG	
ERROR55 X ROLLER Z ORG	
ERROR71 オンスイ タンクオント*	
ERROR71 オンスイ ヒーターオント*	
ERROR72 オンスイ タンク ケイロ	
ERROR73 オンスイ ヘッド* オント*	

メッセージ	対処方法
ERROR73 SCAN ヘッド* オンド*	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR73 HEAD TEMP [12345678]	
ERROR74 UV テンゲン OFF	<ul style="list-style-type: none"> 本体の主電源スイッチと電源スイッチがともにオンになっていることを確認してください。
ERROR74 UV ソウチ	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR74 UV LED INIT	
ERROR75 UV[*:**]PWR (LEAK)	
ERROR75 UV[*:**]PWR (H)	
ERROR75 UV[*:**]PWR (L)	
ERROR75 UV[*:**]TEMP (DRV H)	
ERROR75 UV[*:**]TEMP (H)	
ERROR75 UV[*:**]TEMP (L)	
ERROR75 UV[*:**]FAN (STOP)	
ERROR75 UV[*:**]FAN (H)	
ERROR75 UV[*:**]FAN (L)	
ERROR75 UV[*:**]UNIT	
ERROR75 UV[*:**]BOARD	
ERROR75 UV[*:**]SC I/F	

メッセージ	対処方法
ERROR75 UV SCIF ERR	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR90 FROM CLEAR	
ERROR92 FROM WRITE	
ERROR148 インク ケイロ :MMCCYYKK	<ul style="list-style-type: none"> サブタンクメンテナンスを実行し、エラーを解除してください。
ERROR148 FLT MOTION :MMCCYYKK	
ERROR148 タンク サ`ンリヨウ :MMCCYYKK	
ERROR149 INK UPSTREAM GRD	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 エラー発生後の再起動時に、ワイピングを行います。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR150 ファツセンサー イジ`ヨウ	<ul style="list-style-type: none"> 一度電源をオフにして、しばらくたってから電源をオンにしてください。 再度表示する場合は、販売店または弊社営業所にサービスコールしてください。
ERROR150 セイアツセンサー イジ`ヨウ	
ERROR151 ファツ セイキ`ヨ	
ERROR151 セイアツ セイキ`ヨ	
ERROR151 ファツ イジ`フソク	
ERROR151 ファツ イジ`オーハ`ー	
ERROR151 セイアツ イジ`フソク	
ERROR151 セイアツ イジ`オーハ`ー	
ERROR151 セイアツ イジ`オーハ`ー	

第6章 付録



この章では ...

本機の仕様一覧表や、機能の一覧表を記載します。

仕様	6-2
本体仕様	6-2
インク仕様	6-3
警告ラベルについて	6-4
お問い合わせシート	6-5
機能フローチャート	6-6

本体仕様

項目		仕様
作図ヘッド部	方式	オンデマンドピエゾヘッド
	仕様	4ヘッド(8ノズル列)
印刷解像度		600 x 600 dpi、600 x 900 dpi、1200 x 1200 dpi
作図モード	600 x 600 dpi	4 pass (標準) / 8 pass 単方向 / 双方向 (高速)
	600 x 900 dpi	3 pass (標準) / 6 pass / 12 pass 単方向 / 双方向 (高速)
	1200 x 1200 dpi	4 pass 単方向 / 双方向 (標準) / 8 pass / 16 pass 単方向 / 双方向 (高速)
使用可能インク		専用 UV 硬化インク (弊社純正インク) Bk、C、M、Y、W、Lc、Lm 合計7色
インク供給		インクカートリッジからのチューブ供給 インク残量表示機能あり インクエンド検出機能あり
インク容量		440 cc (LF-200、各色1本) 600cc (LH-100 / LF-200 / LF-140、各色1本)
セット可能メディア	幅	最大 1620mm、最小 210mm
	厚さ	最大 10.0mm、最小 0.2mm
作図範囲		最大幅 1600mm
距離精度	絶対精度	± 0.3 mm または指定距離の ±0.3% の大きい方
	再現性	± 0.2 mm または指定距離の ±0.1% の大きい方
直角度		± 0.5 mm/1000mm
UV 装置		UV LED 装置 2 灯 (キャリッジに搭載)、UV 電源本体内蔵
廃インクタンク		トレー
インターフェイス		USB2.0
コマンド		MRL-II B <ESC/P レベル 2 ベース ミマキオリジナルコマンド>
騒音	待機時	58 dB 以下 (FAST-A, 前後 1 m)
	動作時連続音	65 dB 以下
	動作時不連続音	70 dB 以下
安全規格		VCCI-クラス A、CE マーク、CB レポート、UL60950-1
インク安全性		MSDS
電源仕様		AC100 ~ 120V±10%、AC200 ~ 240 V±10%、50/60 Hz (2 プラグとも同一仕様)
消費電力		インレット 1; 1440VA 以下 インレット 2; 240VA 以下 合計; 1680VA 以下
設置環境	使用可能温度	15 ~ 35 °C
	相対湿度	30 ~ 65 %Rh (結露なきこと)
	精度保証温度	20 ~ 25 °C
	温度勾配	± 10 °C /h 以下
	粉塵	オフィス相当
重量		本体; 約 260 kg サポートテーブル; 約 42kg x 2 台
外形寸法		本体; 3300 (W) x 780 (D) x 1290 (H) mm (サポートテーブル未使用時) 本体 + サポートテーブル; 3300 (W) x 4300 (D) x 1290 (H) mm (サポートテーブルの補助バーを伸ばしたときの最大長) サポートテーブル; 1720 (W) x 600 (D) x 1220 (H) mm (折りたたみ時)

インク仕様

詳細は、販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

LF-200

項目		仕様
形態		専用 UV インクカートリッジ
インク種類		ブラック、マゼンタ、シアン、イエロー、ホワイト
インク容量		440 cc、600cc ^{*1}
有効期間		製造日より 1 年間
保存温度	保存時	15 °C ~ 35 °C
	輸送時	0 °C ~ 60 °C 2 週間以内

*1: 600cc パックを使う場合は、専用のエコカートリッジが必要です。

LH-100

項目		仕様
形態		専用エコカートリッジ（インクパックで供給）
インク種類		ブラック、マゼンタ、シアン、イエロー、ホワイト
インク容量		600cc ^{*1}
有効期間		製造日より 1 年間
保存温度	保存時	15 °C ~ 35 °C
	輸送時	0 °C ~ 60 °C 2 週間以内

*1: 600cc パックを使う場合は、専用のエコカートリッジが必要です。

LF-140

項目		仕様
形態		専用エコカートリッジ（インクパックで供給）
インク種類		ブラック、マゼンタ、シアン、イエロー、ライトマゼンタ、ライトシアン、ホワイト
インク容量		600cc ^{*1}
有効期間		製造日より 1 年間
保存温度	保存時	15 °C ~ 35 °C
	輸送時	0 °C ~ 60 °C 2 週間以内

*1: 600cc パックを使う場合は、専用のエコカートリッジが必要です。



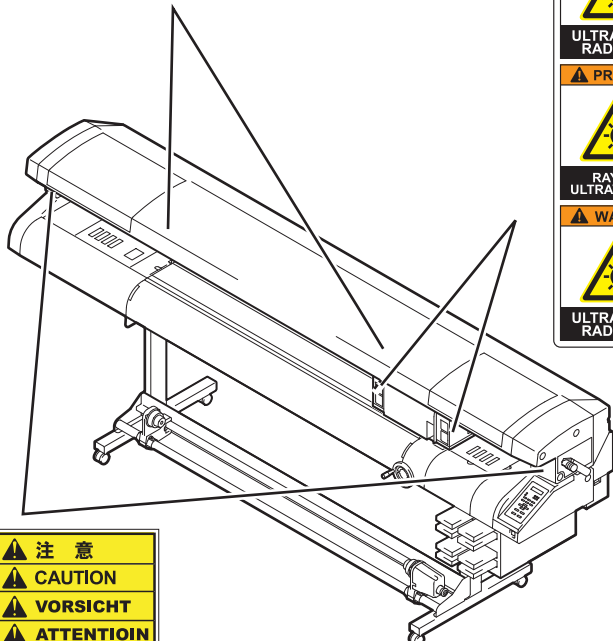
- インクは、-4 °C 以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温（25 °C）で 3 時間以上かけて解凍してから使用してください。
- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えないでください。故障の原因になります。

警告ラベルについて


本機には、下記の警告ラベルが貼ってあります。警告ラベルの内容を十分理解してください。なお、警告ラベルが汚れて読めなくなったり剥がれた場合は、新しい警告ラベルを販売店または弊社営業所にてお買い求めください。

1. M906115

	警告 手指和身体部分靠近运转部位，以免造成危险	警告 危險之身體部分靠近轉動部位，以免受傷	WARNING HAZARDOUS MOVING PARTS Keep fingers and other body parts away.	WAARSCHUWING GEFAHRLICHE BEWEGELICHE DELEN Fingers and other Körperteile fernhalten.	AVERTISSEMENT PIECES MOBILES DANGEREUSES Doigts et autres parties du corps sont hors de portée.
---	-----------------------------------	---------------------------------	---	---	--



2. M905980

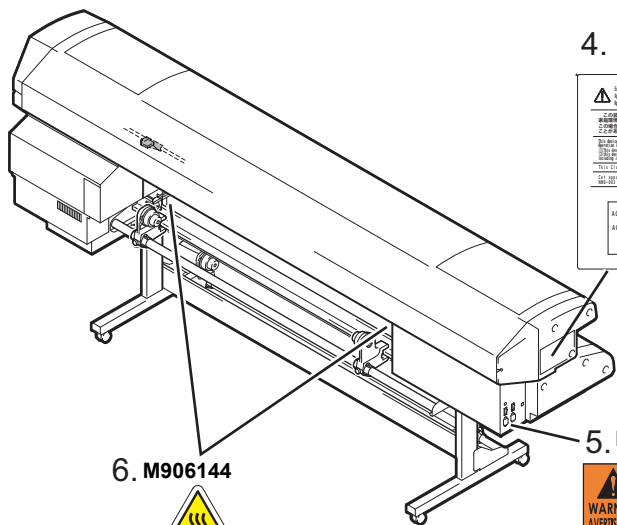
	WARNING Ultraviolet is radiated. If you touch UV, you may lose your sight and get burnt.
	PRÉVENIR Les ultraviolets sont irradiés. Par les ultraviolets, vous pouvez perdre votre et pouvez me brûler.
	WARNING 紫外線が照射されています。 紫外線を浴びると、失明や火傷の恐れがあります。
	ULTRAVIOLET RADIATION

3. M905982

	注意
	CAUTION
	VORSICHT
	ATTENTION

4. M906003


<p>Caution: To be connected to certified safety earth only, ensure the correct wiring color-coding.</p> <p>警告：この安全装置を安全に使用するには、安全な接地に接続する必要があります。配線の色を正しく確認してください。</p> <p>注意：この安全装置を安全に使用するには、安全な接地に接続する必要があります。配線の色を正しく確認してください。</p> <p>Caution: To be connected to certified safety earth only, ensure the correct wiring color-coding.</p> <p>警告：この安全装置を安全に使用するには、安全な接地に接続する必要があります。配線の色を正しく確認してください。</p> <p>注意：この安全装置を安全に使用するには、安全な接地に接続する必要があります。配線の色を正しく確認してください。</p>	<p>Model No. Modelnummer: M906003-01</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-02</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-03</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-04</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-05</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-06</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-07</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-08</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-09</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-10</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-11</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-12</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-13</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-14</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-15</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-16</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-17</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-18</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-19</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-20</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-21</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-22</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-23</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-24</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-25</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-26</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-27</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-28</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-29</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-30</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-31</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-32</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-33</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-34</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-35</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-36</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-37</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-38</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-39</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-40</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-41</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-42</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-43</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-44</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-45</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-46</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-47</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-48</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-49</p> <p>Model No. Modelnummer: M906003-50</p>
<p>AC Input 1: AC 100V-120V 15A</p> <p>AC Input 2: AC 200V-240V 15A</p> <p>50/60Hz</p>	<p>AC Input 1: AC 100V-120V 15A</p> <p>AC Input 2: AC 200V-240V 15A</p> <p>50/60Hz</p>
<p>CE</p> <p>3000219</p>	



6. M906144



5. M906031

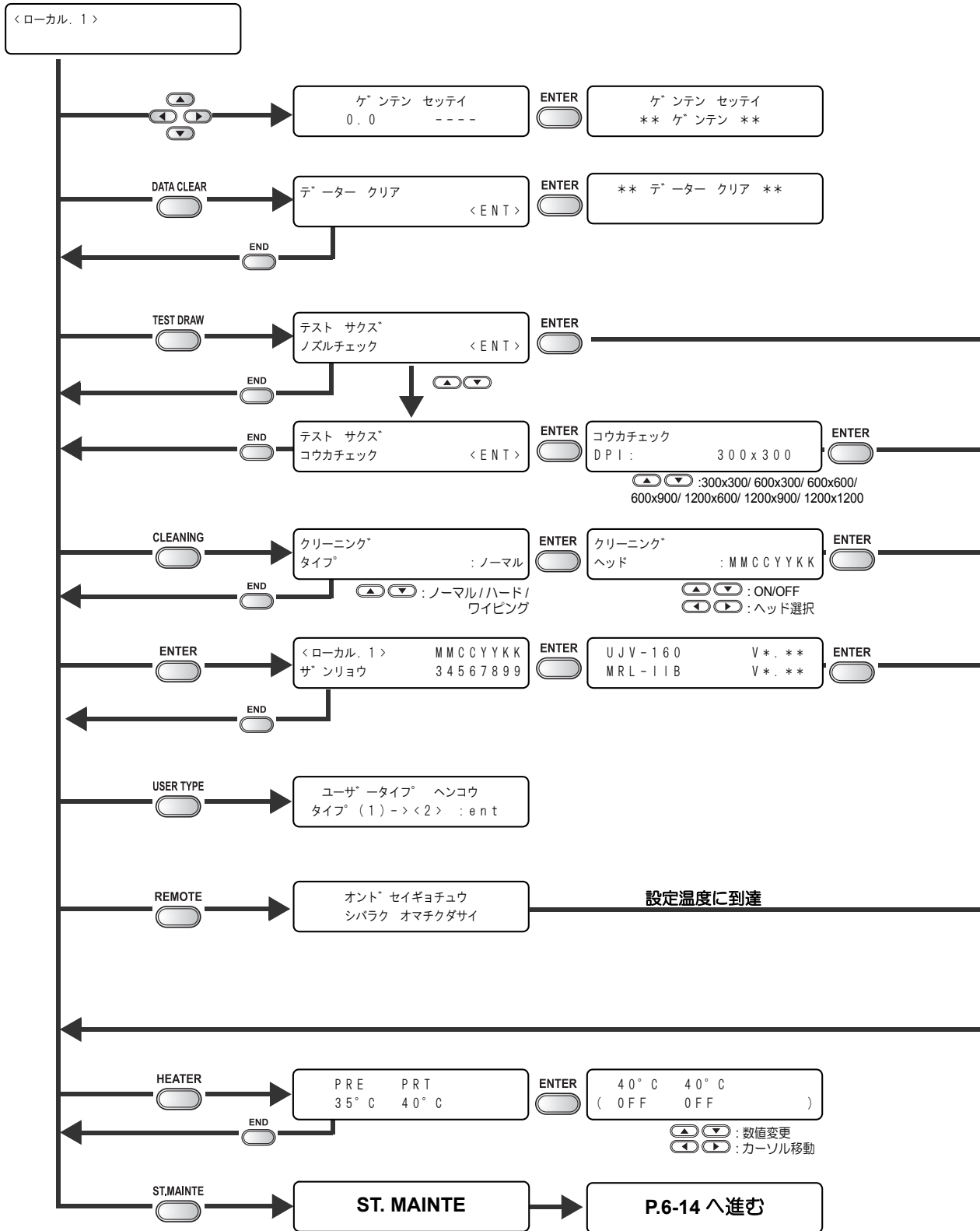
	<p>This unit has two power cords. For removal of all power, disconnects both cords.</p> <p>Cet appareil a deux cordons secteur. Pour le mettre hors tension, débranchez ces deux cordons secteur.</p> <p>本機は、2本の電源ケーブルがある。電源をオフする場合は、2本とも抜くこと。</p>
WARNING AVERTISSEMENT 警告	

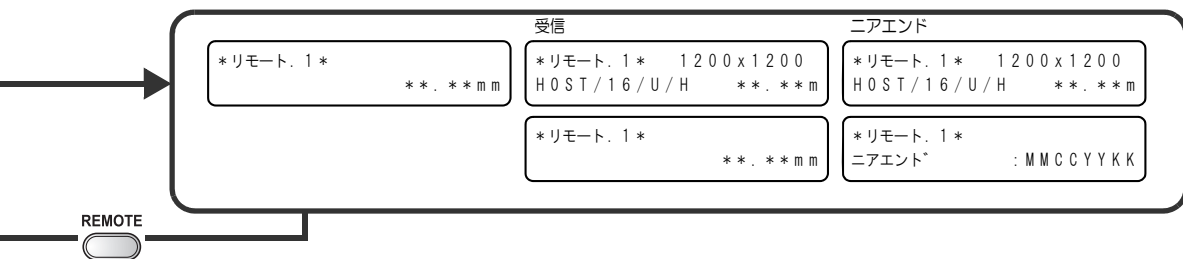
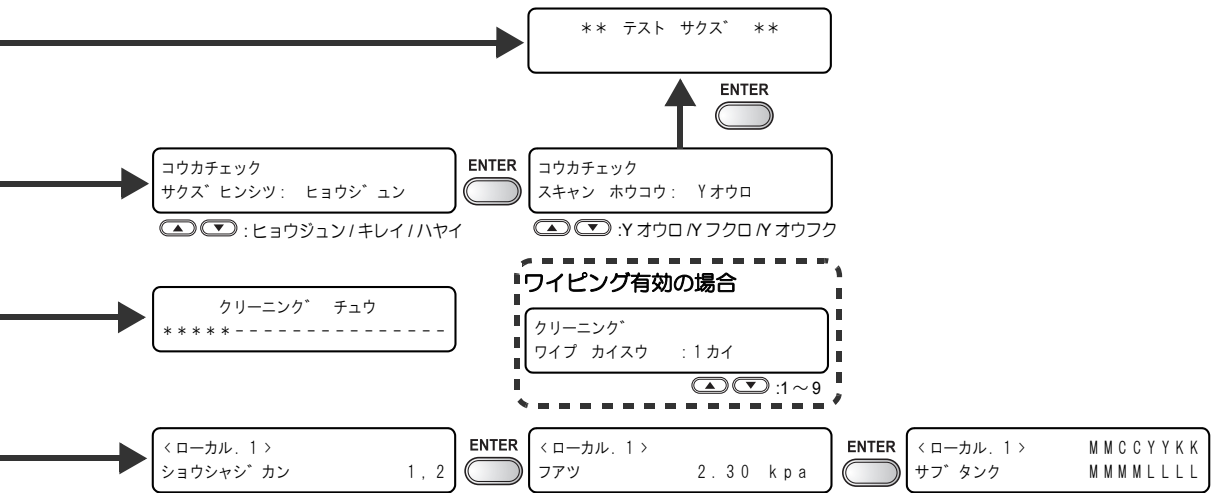
お問い合わせシート

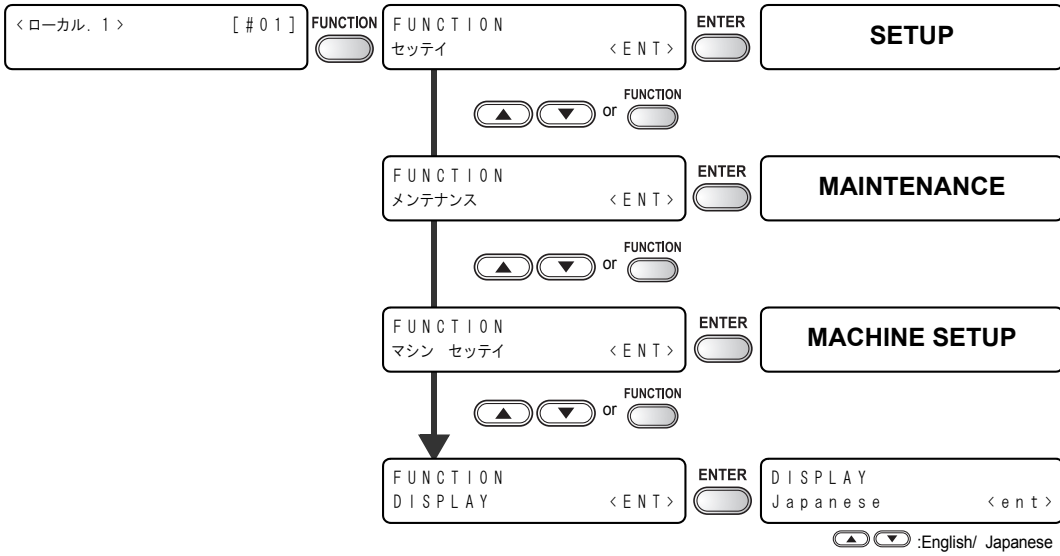
本機の故障、異常動作については、このシートをお使いください。
下記の必要事項をご記入の上、巻末の弊社営業所まで FAX でお送りください。

御社名	
ご担当者名	
お電話番号	
プリンター機種名	
お使いの OS	
マシン情報	
エラーメッセージ	
お問い合わせ内容	

機能フローチャート



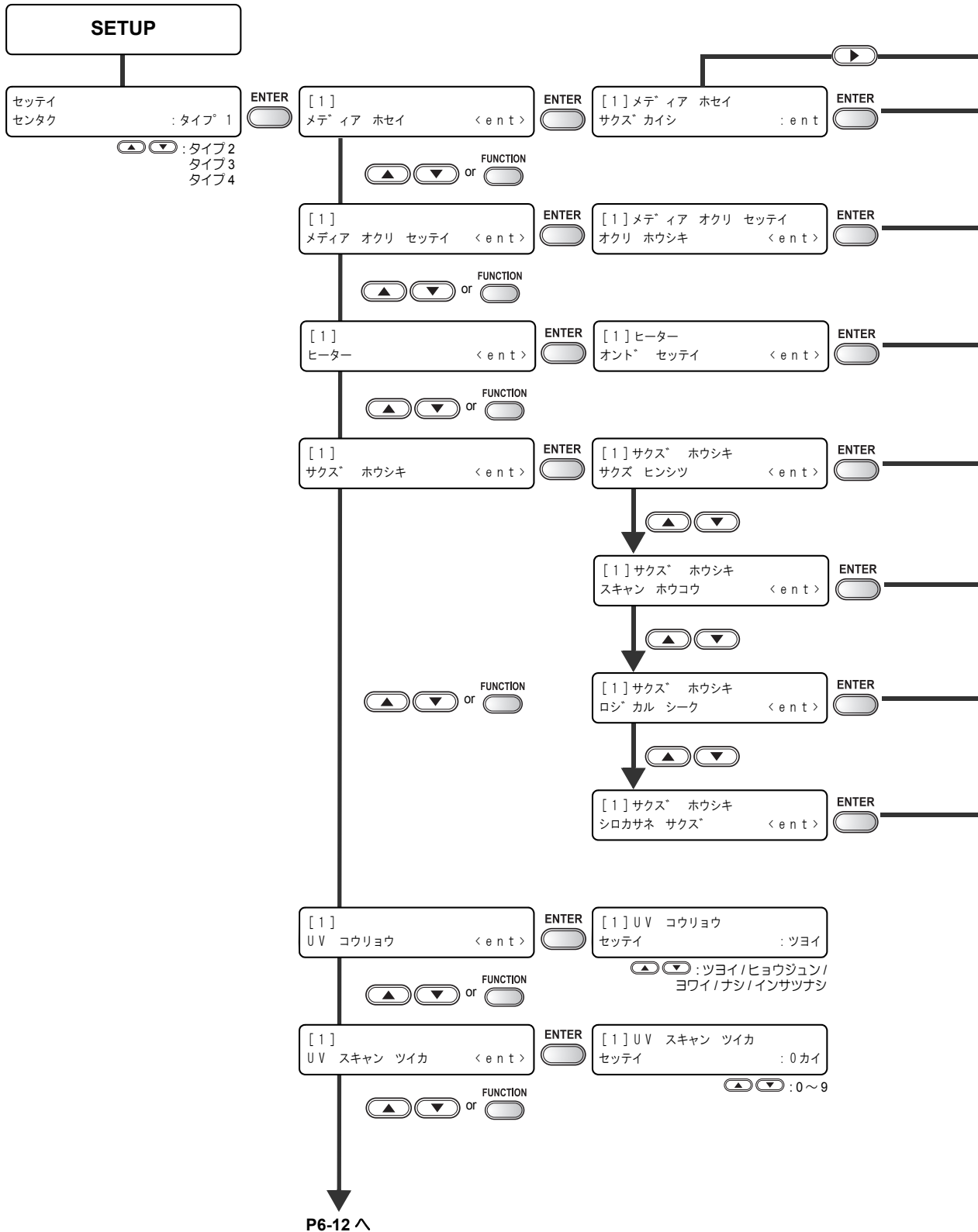


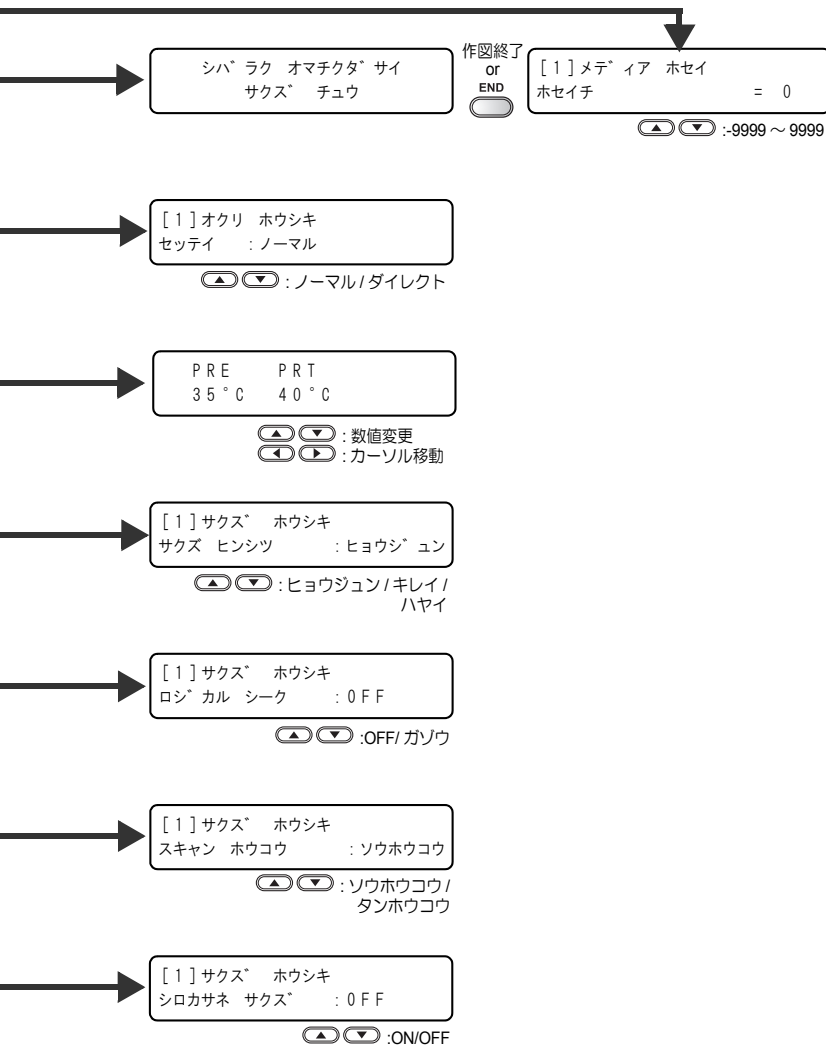


→ P.6-10へ進む

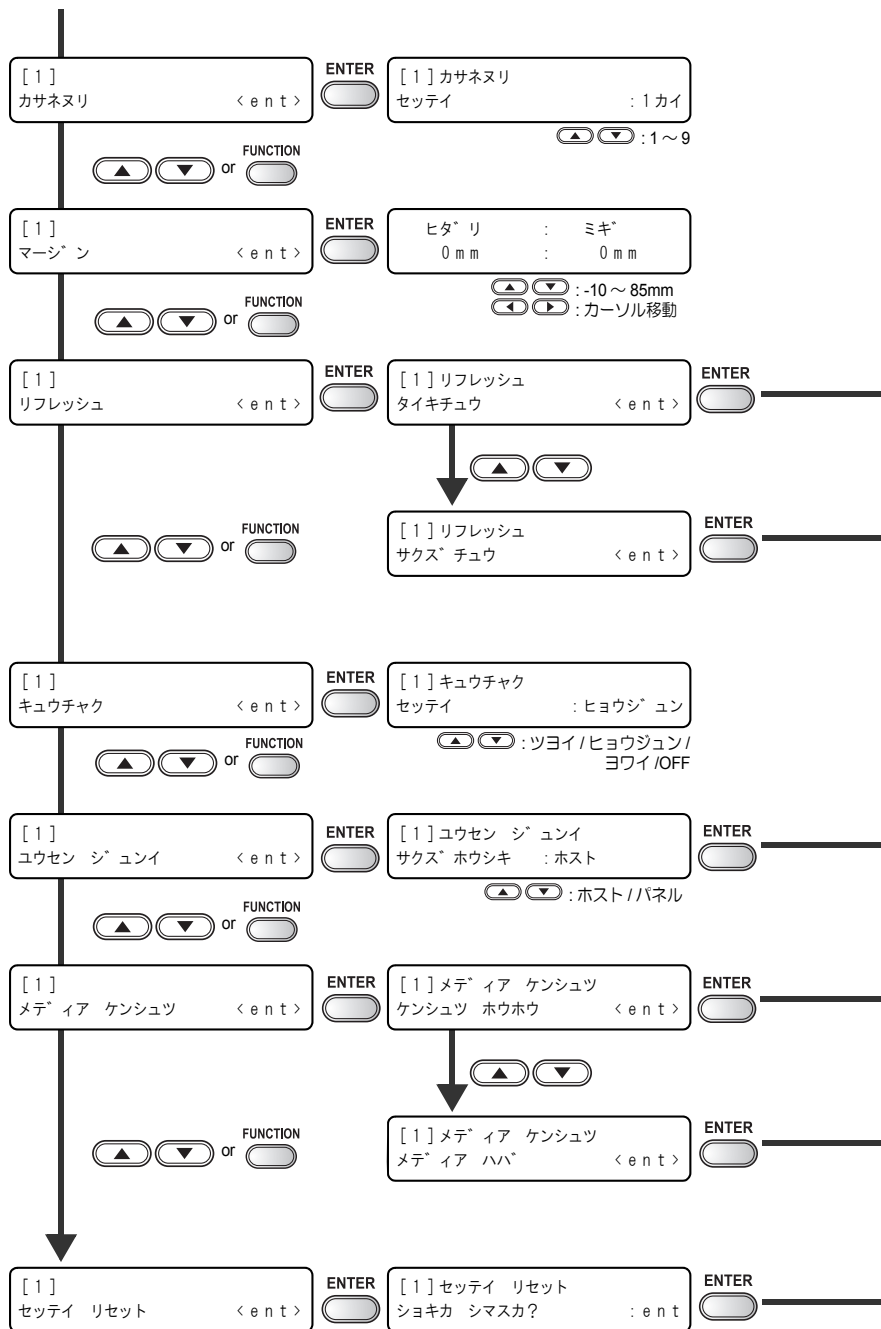
→ P.6-14へ進む

→ P.6-18へ進む





P6-10 から



→ [1] リフレッシュ
タイキチュウ : レベル1
▲ ▼ : レベル 0 ~ 3

→ [1] リフレッシュ
サクスチュウ : レベル1
▲ ▼ : レベル 0 ~ 3

→ [1] ユウセン シュンイ
カサネヌリ : ホスト
▲ ▼ : ホスト/パネル

→ [1] メディア ケンシュツ
ケンシュツ ホウホウ : セレクト
▲ ▼ : セレクト/ハバ

→ [1] メディア ケンシュツ
メディア ハバ : オート
▲ ▼ : オート/210 ~ 1620mm

→ **選択ユーザタイプの
設定パラメータの初期化**

MAINTENANCE

メンテナンス
ヘッド* ワイプ* <ent> ENTER

HEAD* WIP* : MMCCYYKK ENTER

HEAD* WIP* : 1カイ ENTER

FUNCTION
▲ ▼ or ○

▲ ▼ : ON/ OFF
◀ ▶ : ヘッド選択

▲ ▼ : 1~9

メンテナンス
ステーション メンテナンス <ent> ENTER

ステーション メンテナンス
キャリッジ* アウト <ent> ENTER

ステーション メンテナンス
ワイパ* セイソウ <ent> ENTER

ステーション メンテナンス
ワイパ* タンク コウカン <ent> ENTER

ステーション メンテナンス
ワイパ* セイソウ シュウリョウ : ent ENTER

ワイパ* タンク コウカン シュウリョウ : ent ENTER

FUNCTION
▲ ▼ or ○

▲ ▼

▲ ▼

メンテナンス
ドット イチ ホセイ <ent> ENTER

ドット イチ ホセイ
DPI : 600 ENTER

ドット イチ ホセイ
モード* : ノーマル ENTER

FUNCTION
▲ ▼ or ○

▲ ▼ : .300/ 600/ 1200

▲ ▼ : ノーマル/ コウソク

メンテナンス
インク ジュウテン <ent> ENTER

インク ジュウテン
ヘッド* : MMCCYYKK ENTER

インク ジュウテン
ジュウテン カイシ : ent ENTER

FUNCTION
▲ ▼ or ○

▲ ▼ : ON/ OFF
◀ ▶ : ヘッド選択

メンテナンス
インク コウカン <ent> ENTER

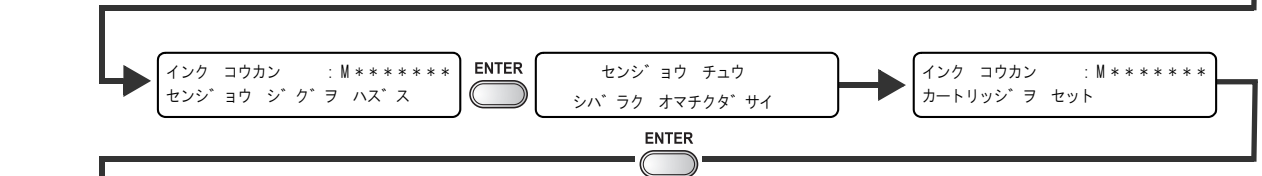
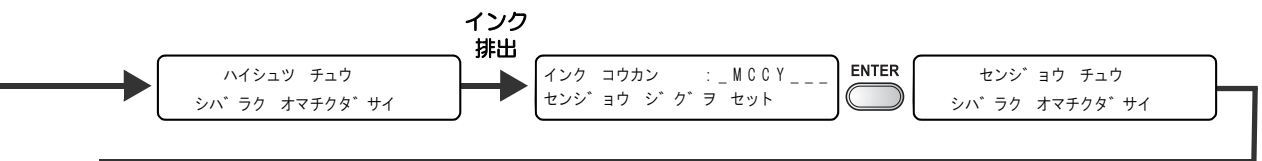
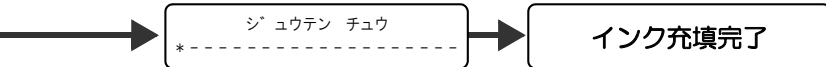
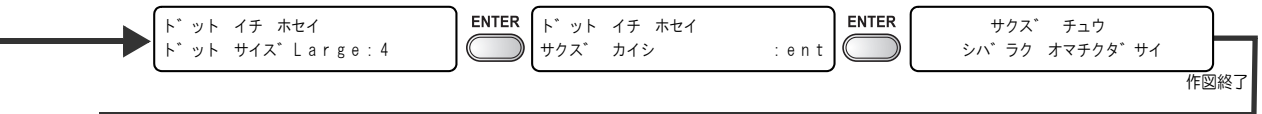
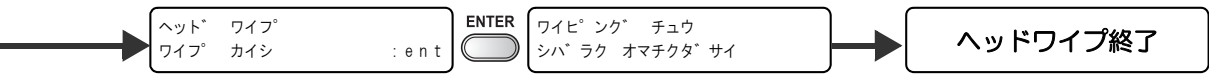
インク コウカン
ヘッド* : MMCCYYKK ENTER

インク コウカン : _MCCY_ _ _
カートリッジ* ラ ハズ* ス ENTER

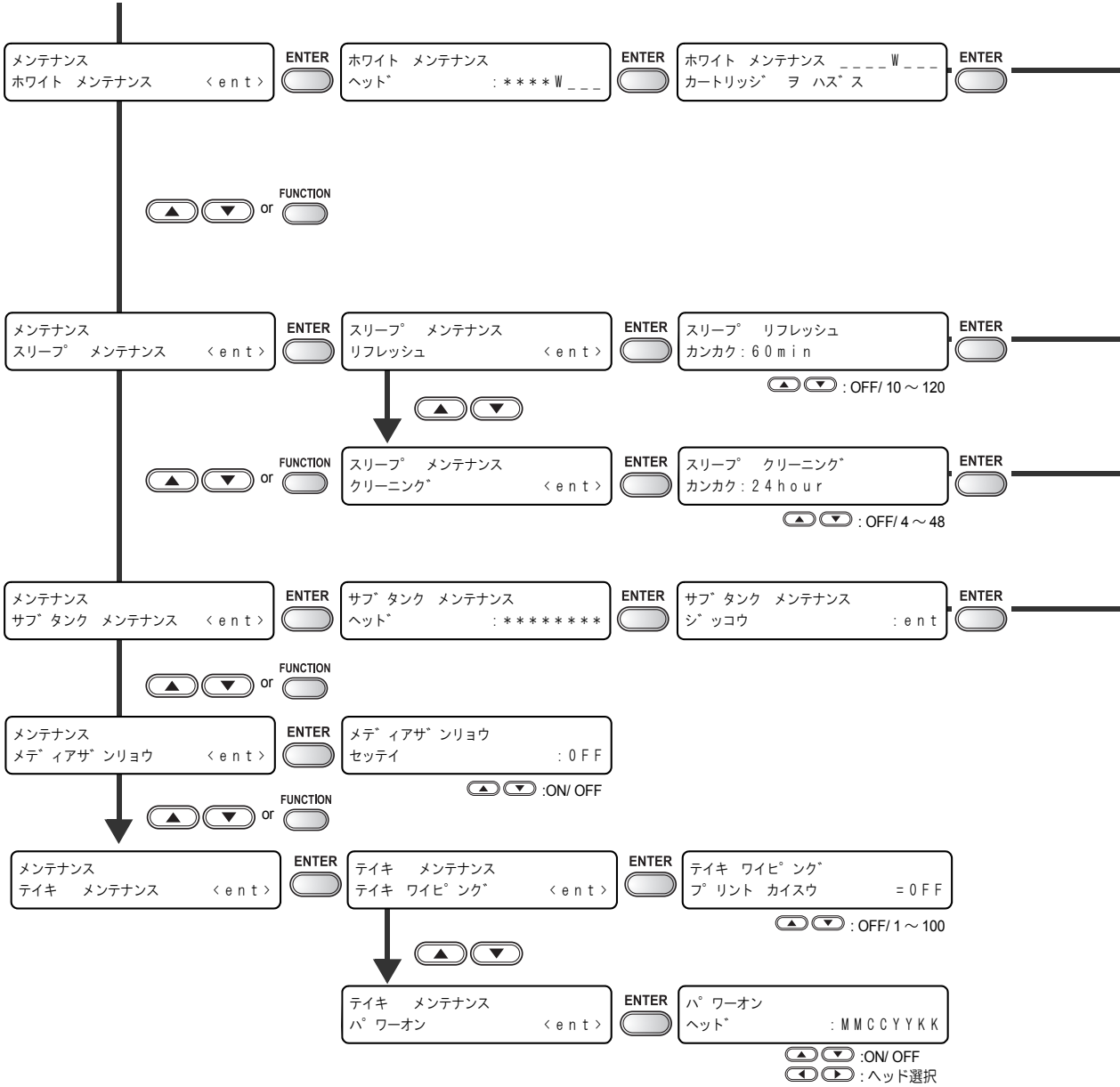
FUNCTION
▲ ▼ or ○

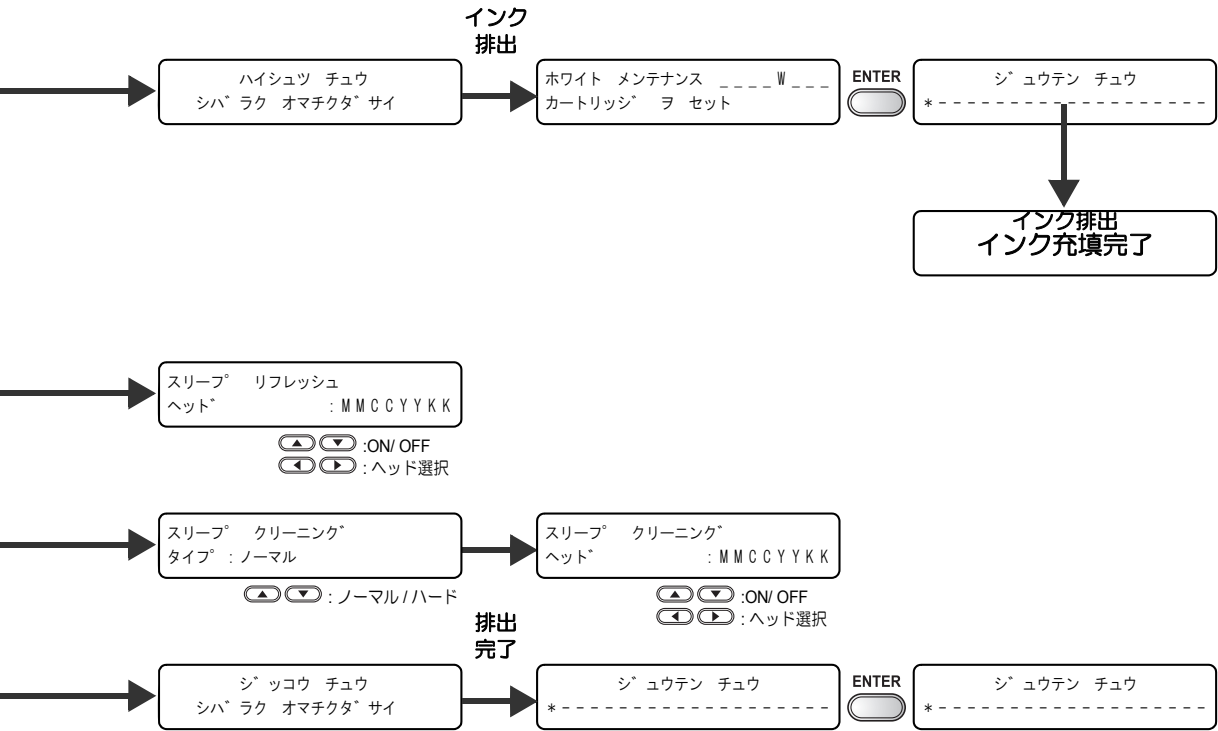
▲ ▼ : ON/ OFF
◀ ▶ : ヘッド選択

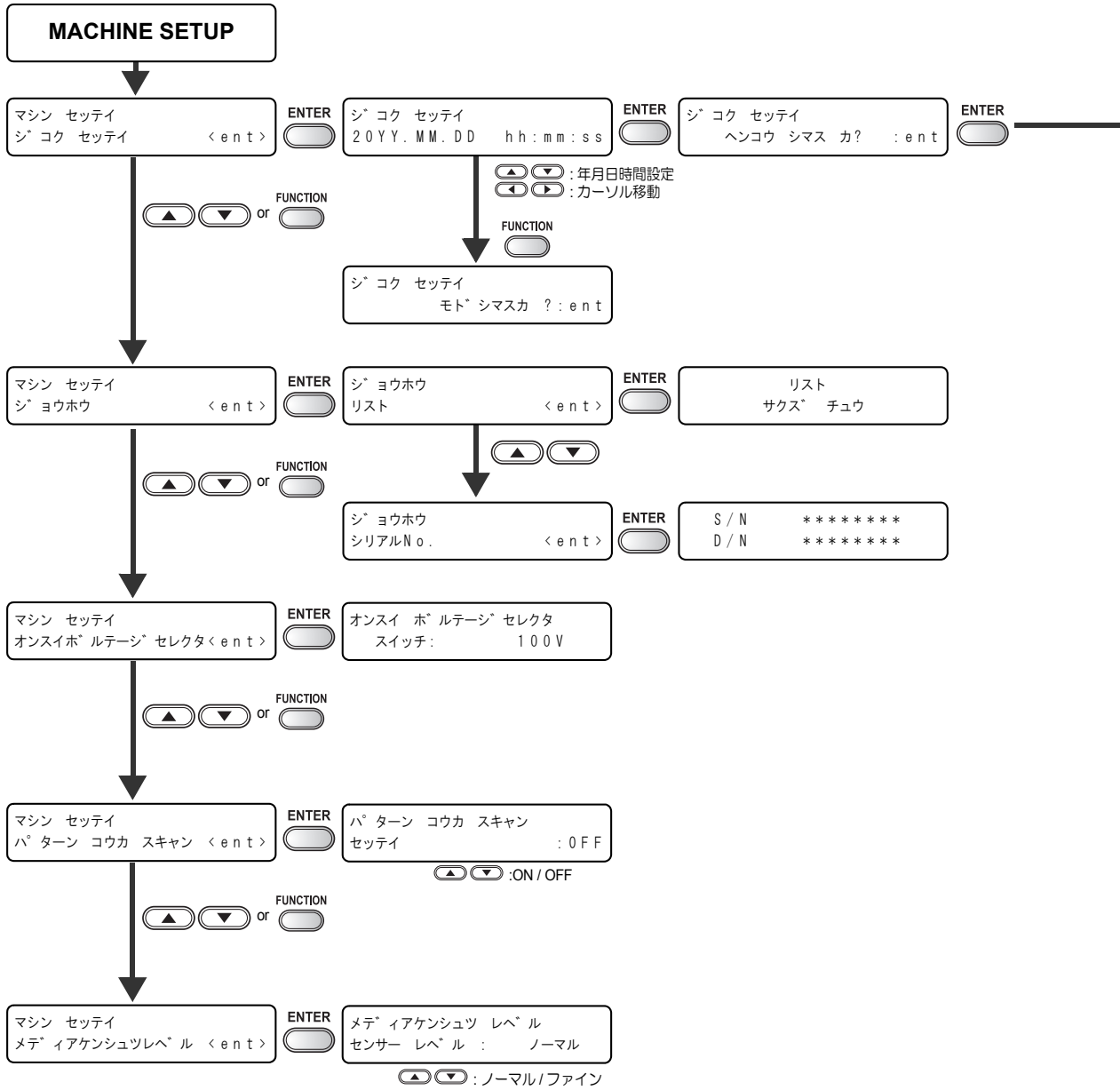
P6-16 へ



P6-14 から









時刻設定完了

索引

U

USB2.0	1-10
UV LED の光量	3-15
UV LED フィルタ	4-32
UV LED ユニット	1-8
UV 硬化	3-4
UV コウリョウ	
インサツナシ	3-15
ツヨイ	3-15
ナシ	3-15
ヒョウジュン	3-15
ヨワイ	3-15
UV スキャンツイカ	3-8

Y

Yバー上下ハンドル	2-26
-----------------	------

あ

新しいインクカートリッジに交換する ..	4-5
----------------------	-----

い

インク	1-11
インクカートリッジ	1-11, 4-5
インク仕様	6-3
インク滴	4-10
インクを処分する	4-12

え

エアー抜き	4-31
エコカートリッジ	6-3
エラーメッセージ	5-6

お

オクリハウシキ	3-12
お手入れ	4-2
お手入れ上のご注意	4-2
お問い合わせシート	6-5
オンスイポルテージセレクタ	3-22
温水ユニット	4-30

か

カートリッジ異常	4-7
外装のお手入れ	4-3
各部の名称とはたらきについて	1-4
キャリッジ	1-8, 1-9
ジョグキーのはたらき	1-7
操作パネル	1-7
装置前面	1-4
装置背面	1-5
ヒータ	1-9
フラッシングトレー	1-8
ワイパ	1-8
カサネヌリ	3-8
かすれ	4-24
紙幅センサの感度	3-24
紙幅センサの清掃	4-4

き

機能フローチャート	6-6
キャリッジ	1-8
キュウチャク	3-8
OFF	3-16
ツヨイ	3-16
ヒョウジュン	3-16
ヨワイ	3-16

け

ケーブルを接続する	1-10
警告ラベル	6-4
言語	3-25
原点	2-30
原点設定位置の目安	2-31

こ

コウカチェック	3-4
---------------	-----

さ

作図	2-38
作図開始位置	2-30

サクズヒンシツ	3-14
キレイ	3-14
ハイ	3-14
ヒョウジュン	3-14
作図方式	3-13
作図を中止する	2-39, 2-40
サブタンクメンテナンス	4-24
サポートテーブル	2-20

し

時刻設定	3-20
受信障害	vi
主電源スイッチ	2-4, 2-6, 2-8, 2-9
情報	3-21
初期状態に戻す	3-19
シリアル No.	3-21
白インク	4-21
白インクの定期メンテナンス	4-21
シロカサネサクズ	3-14
OFF	3-14
ON	3-14

す

水量計	4-31
スキャンハウコウ	3-14
ソウハウコウ	3-14
タンハウコウ	3-14
ステーションメンテナンス	4-10, 4-14
スリープクリーニング	4-19
スリープメンテナンス	4-18

せ

静電シート	1-14
設置	1-2
設置場所	1-2
セッテイリセット	3-19
洗浄カートリッジ	1-11

そ

操作パネル	1-7
-------------	-----

た

タイプ	3-6
高さ調整棒	2-26

ち

長期間使用しない場合	2-11, 4-2
------------------	-----------

て

データクリア	3-25
テキワイピング	4-16, 4-17
テスト作図	2-34
電源オフ中のリフレッシュ動作を 設定する	4-18
電源オフ時のメンテナンスを設定する	4-18
電源オフ中のクリーニング動作を 設定する	4-19
電源ケーブル	1-10
電源スイッチ	2-4, 2-5
電源電圧	3-22
電源を入れる	2-4, 2-6
電源を切る	2-5
電波障害自主規制	vi

と

ドットイチホセイ	3-2
ドットの位置がずれたら	3-2
トルクリミッタ	2-17

ぬ

抜け	2-35, 2-36, 4-24
----------	------------------

の

ノーマル	2-36
ノズル面の清掃頻度を設定	4-16

は

ハード	2-36
廃インク	4-12
パターン硬化スキャン	3-23

ひ

ヒーター	3-11
ヒータの温度を確認する	2-33
ヒータの設定値を変更する	3-11
ピンチローラ	2-15

い

不凍液	4-30
不凍液混合水を補充する	4-31
フラッシングトレイ	4-8
フラッシングトレイのクリーニング	4-8
プラテンの清掃	4-3

へ

ヘッドギャップを調整する	2-26
ヘッドクリーニング	2-36
ヘッドワイブ	4-26

ほ

ボードメディアをセットする	2-20
ホワイトメンテナンス	4-21
本機の移動	1-3
本体仕様	6-2

ま

マージン	3-8
巻取装置	2-16, 2-17
マシン設定	3-20

め

メディア	1-13
メディア送り	3-12
メディアオクリセット	3-12
メディア押さえ	2-15
メディアケンシュツ	3-8
メディアケンシュツレベル	3-24
メディア取り扱い上の注意	1-13
メディア幅の設定をする	3-18
メディア幅を検出する	2-28
幅自動検出	2-28
幅手動検出	2-29
メディア補正	3-9

ゆ

優先順位	3-17
------	------

り

リーフメディアをセットする	2-18
リジッドメディア押さえ	2-25
リジッドメディア押さえ受け	2-21
リスト	3-21
リフレッシュ	3-8
リモート	1-15

ろ

ローカル	1-15
ロールメディアをセットする	2-12
ロジカルシーク	3-14
OFF	3-14
ガソウ	3-14

わ

ワーニングメッセージ	5-4
ワイパタンク	4-14
ワイパのクリーニング	4-28
ワイピング	2-36

UJV-160 取扱説明書

2015 年 8 月

発行者 株式会社ミマキエンジニアリング
発行所 株式会社ミマキエンジニアリング
〒 389-0512
長野県東御市滋野乙 2182-3

